事系	务事為		ふれあい保	建福	祉事業	集 方	愛訪	問事業							事業期間	引 平原	戈 1 <mark>2</mark>	~		年度	整理番号	0402021
担	当部	署	健康福祉部			ī	齢者	• 保険	課		高齢者	福祉	:係		作成担当	当者名	伊	藤	浩	志	連絡先	337
計	おり	する	プランに 位置づけ 事業名		いあい		福祉等		事業 友 愛討	01 問事	• •	する は立生 ない保	祉 2 1 活支援 健福祖	ピーナ	い、そ <i>の</i> ·スプラン 引する。	/(地址		の推議	進		項 01 目	09 事業 (
画	現	状	と背景うして)	を作	ju.	孤独	死等(D問題	を防止	:する:	ことが	必要。						多い。	不安	解消を	図るとと	もに安否確
P	目的	対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける) 意図 (な状態にしたいか)	同上	=									以上の ¹ 解消を B	雪る。	世帯の	者					
L			・ 方 法 ・ かって)	訪問	ま者か 引者は うるも	、対	象者を	・訪問	き、申 して 安	■請者 9 そ全を研	官を定り 確認し、	朝的()	こ訪問・ レ相手(できる に こなるこ	が問者を ことによ	民生委り孤独	員通じ感を和	選出し Iらげ、	ン訪問 地域	を依頼 社会と	iする。 : の連帯感	を高めるよ
N	指標	活動指標	行政活動の第 一人暮らし							新規和	標 川用者	名	称	単 位 人		におり	۱T.	新たに		–	考え方なと るように	最終目標
	の作成	成果指標	成果新たなニー。高齢者の不			パでき			? より	指 利用者	標	名	称	単 位 人							考え方など <mark>数(実</mark>	最終目標

	項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	事業費等	(a)	円	20, 400	10, 800	58, 000		58, 000
E	オ 国 庫 支 出	金	円		·	•		·
	県支出	金	円					
"	地 方	債	円					
	その他特定財	源	円					
	尺 一般財	源	円	20, 400	10, 800	58, 000		58, 000
施耳	職 正規職	員	人					
	ᇍ│ 嘱 託 職	員	人					
	一日 日本	員	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 01	
状	为	計	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 01	
	対象 (者)	数	人	3				
		(b)						
		(b)	円	_	_	_	_	_
況	受益者負担	額	円			4 00		4 00
_	市民一人当たりのコス		円	0.00	0.00	1.00	_	1.00
	新規利用者数	目標実績	人	2	2	2	2 0	2
<u> </u>	***************************************	<u>夫</u> 根	%	50, 00	0, 00	0.00	0,00	100.00
7	舌	目標	90	50.00	0.00	0.00	0.00	100.00
重	助	実績	_					
ŧ	自	達成率	%	_	_	_	_	_
D	#	目標	/0					
	_	実績	_					
		達成率	%	_	_	_	_	_
0		目標		25	25	25	25	25
J.	利用者数	実績	人	3	1	0	0	3
5	₽	達成率	%	12. 00	4. 00	0.00	0.00	12.00
J	日 日	目標						
t t	—	実績	_					
"		達成率	%	_	_	-	_	_
ſ	_告 市民プラン政策体系番号	0101	0202 d	上の横断的な事業です	•		·	
	•••							
7	与							

		常名 ふれ		福祉事								事業	期間ュ	平成 1	2	~	年		理番号	0402	0212
担	当 部	署健康	福祉部		高	給者・保	険課	高數	含者福祉保	•		作成	担当者	名 f	p j	*	浩 志	ì	連絡先	33	37
	期			目;	堙				9	€ 絹	ŧ						謂	果 題			
四	第 1 期	民生児童 事業の有	委員に本 効利用を	事業に	ついて	単絡を行い	、て連絡	各を行う	 児童委員	役員会	_	で、本事	業につい	特に	無し。	•	DZ	K RE			
半期	第 2 期	年度の途し事業を決		利用を	希望する	人数を把	計構 新規(の利用	者は無し。					特に	無し。	•					
₩ :	第 3 期	年度の途し事業を対		利用を	希望する	人数を把	和玩		者は無し。					知を			進んでい たい。	ない相	兼子があ	り、再月	度、周
٤	第 4 期	民生児童 事業の有				車絡を行い	、 周知 ・2月	方法につ の民生! 変連絡 を		łする 役員st	èl:	て、本事		制度				ない権	兼子があ	り、再	度、周
Ø								事	中 中	ā	Ŧ	価									
0,							主じた問題	点や環	境の変化	今	成		充			2		5		7	
	制度	の理解が	進んでは	らず、	活用され	ていない。	•				果		幺任 +±			3		6	ل	9	
管										後	のナ		不任 1寸					•		9	
										の	方向	縮	小			4		8		10	
理					・予算要	要求事項	(改革・己	收善策》)	方	性		₹止	1							
_	予算	「規模は現	状とする	0						向		_		皆	減	縮	小	頭北	犬維持	拡	大
										性					ス					向(
									II					^		1X	<i>/</i> •	, ,,	1-7	1	
	Ī	评価年度		当年	度	1															
	裶	点	妥	3	当	性	有	交	为 性	Ė		効	2	率	性		総	合	評価	判	定
評	評価	師の観点	1 :	2 3	4	判定	1 2	2 3	判定	3	1 2	2 3	4	半	定						
ar	チ	エック			V	3		V		3			7			3			В		
		前年度か	らの、	続利用	者の割	合は、平	成23年度を	除き、	6割以上	/号!	き続き和	用して	いるこ	とか	6.	記 A		どおり事	業を進	めるこ	
/ac	-m	ひとり暑があった	らし高書	常者のイ 7 利用者	マが軽 数が減	蔵に繋が 少してお	っているこり、事業内	とと考り	すえれれる 知が不+	かしある	ノ、平成2	22年度1 他 ニ-	9人の オ - ズの#	引用性 P握か	₹録 べで		とがi : 事業(^{圓ヨ} の進め方	に改善	が必要	
11111	誄	きておら	ず、事業	が必要	な者に	対して、·	サービスか	提供で	きていな	ะเกิ	٤٤	考えれ	ha.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			の C 定		規模・内 直しが必		施主体
~																	美 義	: 事業(の統合、		止の検
	題																前任度	討が』	必要 評価判定	,	В
С																			·卜整理番·		
н		á	a	施	策	評	<u> </u>	f	前			細	施	i	策		評		<u> </u>	後	
	総	•	_				い、独居高			いる	5齢:				• • • •	変化に					してい
E	_	る。高齢	者の社会	的孤立	こかたの	孤独死な	ど、報道等 防止し、a	で取り	上げられ	てる	s i	高齢者の	社会的	孤立か	たの	孤独?	死など、	報道等	等で取り	上げり	られて
С	合					n加业で 考えられ		に /こ 地場	の又える			、ヨ ヲ 未 築する上							まに地場	(の又)	と言い
	評																				
K																					
J	価	前年	度改革	i · i	小羊 ^	乗の 実	施状炎	. l –	部実力	<u>.</u> -	新 左	F度細加	佐 竺 ≕	海 !-	七儿	- Z -	ンタル	七卢	h#		
⊒ <i>l</i> -										ies I f	יין דיין					٠ ٧ -				14	
改革	今	-	a	施	策	評			前			細	施	} 	策	-	評	11	西	後	
	後	成 果 ******	拡 充			2	5	V	7		成 果	拡	充						レ		
改善	の	の	現状維持	ŧ		3	6		9		かの	現状	維持								
善の	方	方	縮小	١		4	8		110		方	縮	小								
方		向 性	休廃业	(T)							向 性	休身	¥ j⊦								
方向性	向			- 皆	減	縮	小 現状	注維持	拡		_		_	皆	減	縮	小	±目 4	犬維持	拡	大
111	性				」 // <u>/</u> /		ひみの		向性	``	_			. –	<i>ル</i> 処 コーフ		-	:		加 性	
Α	改	民生児童	委員と連	携し、			の把握を行			5	生	児童委員	と連携						うってい		
С	革																				
T I	•																				
0	改																				
N	善																				
	策																				
最組	佟評	価年月日	平成	30年5月	月18日	最終	価年月日 平成30年5月18日 最終評価責任者											平	澤	精	_

事剂	务事等	Ě名	ふれあ	い保健	福	业事事	ŧ j	急通	報装	置等貸	与事業	ŧ				事業	期間	平成	12	~		年度	整整	理番号	0402021
担	当 部	署	健康福	祉部			7	与齢者	・保	検課		高齢	者福	祉係		作成	担当:	者名	伊	藤	浩	志	追	車絡先	337
計画	おり	する	プラン 位置: 事業 の 様 た がり やす	ガけ名	ひと		保健	福祉高齢	事務 事業 者等に	対し、	01 01 05 01 函報装 緊急備	ふれ 置等貨	節自立 あい を与す	福祉 2 生活支 保健福 集	祉事業	-スプ	ラン	会計	福祉) コート	の推済	1 款	03	項		09 事業 (不安を解
			と 背 うして	京		に急		する	危険性	を有し	し、緊	急の通	重報を	を必要と	:する65	歳以上	の上	記の者	まにお	いて、	介護	保険	ታー	ご スでは	対応が不
^ P	目	対象	受益 (誰のたと 対 (直接働きが	か ^に) 象		:きり					し、緊 は長時				:する65	。以上	ወひ	とり	16 L	高齢	当、家	族と同	司居し	している	が同居者
	的	(どん	意 図	こいか)											活の不										
L A			・ 方 やって	法											要性を										は 緊急通 。
			行政活	動の約	果	からこ	۱ > د	丿だす	ものに	は何?					単(最終目標
N	評価指	活動指標	緊急通	報装置	貸.	与事業	性が打	是供さ	れる		緊急:数	通報製	達置新	規設置	台			中に、 (実績		こ緊急	通報	装置が	(設置	tされ	-
~	標の作成	成果指	成 緊急時	果 の 通 報	夏手	効 没が 確	果健保	はれて	何 いる	?	指緊急			。 称 月者数		平月	戊234	法・計 年度以 (実績	降、				•		最終目標
		標														.07	***	\	,						

	J	頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	1	事業費等	(a)	円	84, 059	114, 874	225, 612	26, 746	213, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	84, 059	114, 874	225, 612	26, 746	213, 000
施	職	正規職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	
7/		対象 (者)	数		3	2	6	6	
		延利用(者)数	(b)		10	12	18	23	
			(b)	円	8, 406	9, 573	12, 534	1, 163	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	1.00	2. 00	4. 00	0.00	4. 00
		緊急通報装置新規設置	目標	台	5	5	5	6	
		数	実績		3	2	6	6	
	活	-	達成率	%	60. 00	40. 00	120. 00	100.00	_
	動		目標	_					
	動指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	-		_	_
	IN		目標						
		_	実績	0.4					
			達成率	%	-	-		_	_
0	成	取名字和针要和田本料	目標	人	15 10	15	15 18	20	20 23
	八田	緊急通報装置利用者数	実績	0/		12 80, 00		23	115, 00
	果指		達成率	%	66. 67	δU. UU	120. 00	115. 00	115.00
$\overline{}$	拍	_	目標実績	_					
	標	_	<u></u> 美領 達成率	%	_	_	_	_	_
-		ᆂᄝᆌᆖᄾᇏᆇᄷᅔᆓᄝ				_	_	_	_
	備	市民プラン政策体系番号	,01010	2U4 2 0	/関則的は争果じり。				
	耂								

				性手术	- 承心	地和我们	上等貸与事業	<u>F</u>					期間		2 ^	~	年度	E 整理番号	04020214
担:	当 部	署 健康	福祉部		高數	命者・保険	食課	高齢	者福祉係			作成	担当者	名 伊	藤		告 志	連絡先	337
	期		-	3 標					4		ŧ						課	題	
				」 信									- alta a				砵	炟	
	第	人士一切	****			- Jan Jan			を援専門員	連維	各会	にて本事	業につ						
四	1		専門員に本 「業の有効を			. 把握して			っ。 新規でのi	ひ# #≠	he I	我犯士	車1	特に	なし。				
	期	りい、本学	未の有別が	MWE	70°		9.	· C/3 . #	BINST CODE	汉胆心	みし。	物政工	→ 111700	'					
半			装置の利用																
			スセンターカ	水必要性	Łの検	討をし、貸	(与 ∙7月~	·9月:#	所規での記	设置1	件。	ı		特に	なし。				
	期	の決定を	すつ。																
期	/r/r						_												
			装置の利用						3 . dr. 18 -r		 .	DL.		Act I -	ės i				
_		他サービ		ル必安性	上の快	打をし、真	【与 •10月·	~ 125	引:初7兄で	の設	直る	1 10		特に	よし。				
ľί	州	W 20	170																
	笙	取名温和	装置の利用	基切 机	性如此	节 友况屋	神神												
ے	4	※心理報:	を回い付ける	パ必要や	*のれい。 ‡の棆!	八、日本世 計を1 貸	/面 /与 ·1~3	日·稔!	设工事1件	ŧ.				特に	t al				
_		の決定を					, ,	711124						14	J. O.				

Ø								事	中	ř		価							
			と、約6ヶ	月が経済	過し、	新たに生	Eじた問題点	点や環	境の変化	今	成	拡	充			2		⑤	7
	特に	無し。									果	TEUL	÷ 4/# +±						
管										後	の	現状	維持			3		⑥ レ	9
										の	方	縮	小			4		8	110
		新年	きの宝施!	+面・3	予 首要	少 重值	(改革・改	盖第)		+	向	<i>I</i> + 1		(1)					
理	平点		<u> </u>				(4×++ 4X	ロ <i>水</i> /		方	性	1/\	廃 止	1					
			- 1 77701 41							向			/	皆	減	縮	小	現状維持	拡大
										性				_	ス	١	投入	、の方	向 性
										-									
	1	評価年度	<u> </u>	当年度		1													
		見点	妥	当	,	性	有	効	1 性			効		<u> </u>	性		総	合評価	判定
			1 2	3	4	判定	1 2	3		判定	+		2 3			9	小心 口		刊に
評		面の観点	1 2	-3			1 2	<u> </u>	+		-			4	判			C	
	-	ェック			レ	3			レ	3	Д,		ν <u> </u>			2			*********
							手段を確保す		者も	増加し	ているこ	ことがう	測で	き		計画どおり事 とが適当	業を進めるこ		
		るか、天	家の利用者	一致は少	w. C.	争果の抗	問知の方法!	- 課題									に改善が必要		
100	課															の C :	事業規模・内	容・実施主体	
																		の見直しが必 事業の統合	要 休・廃止の検
	題																	サベン帆口、 討が必要	N. DETTONIX
С																	前年度紀	総合評価判定	C
																	前年度評価	エシート整理番	号 03010417
н									44			細			Arte		4 35		
		紛	丑 旅	<u> </u>	策	評	価		前			म्बर	施		策		評	価	後
Е	総							のた		業生	4居7)不3		-	
		独居高齢 の必要性	者の増加、 は高く、事	独り暮	らしの り多く	の不安の所 くの高齢	解消 (軽減) 者に利用して	ていた	め、本事	1= 0	必	高齢者の 要性は高)増加、	独り暮	らしの り多く	の	の解消	(軽減) のだ 利用していた	
		独居高齢 の必要性	者の増加、 は高く、事	独り暮	らしの り多く	の不安の所 くの高齢	解消 (軽減)	ていた	め、本事	1= 0	必	高齢者の 要性は高)増加、	独り暮	らしの り多く	の	の解消	(軽減)のだ	:め、本事業
С	合	独居高齢 の必要性	者の増加、 は高く、事	独り暮	らしの り多く	の不安の所 くの高齢	解消 (軽減) 者に利用して	ていた	め、本事	1= 0	必	高齢者の 要性は高)増加、	独り暮	らしの り多く	の	の解消	(軽減) のだ 利用していた	:め、本事業
		独居高齢 の必要性	者の増加、 は高く、事	独り暮	らしの り多く	の不安の所 くの高齢	解消 (軽減) 者に利用して	ていた	め、本事	1= 0	必	高齢者の 要性は高)増加、	独り暮	らしの り多く	の	の解消	(軽減) のだ 利用していた	:め、本事業
c K	合評	独居高齢 の必要性	者の増加、 は高く、事	独り暮	らしの り多く	の不安の所 くの高齢	解消 (軽減) 者に利用して	ていた	め、本事	1= 0	必	高齢者の 要性は高)増加、	独り暮	らしの り多く	の	の解消	(軽減) のだ 利用していた	:め、本事業
	合	独居高齢の必要性より、高	者の増加、 は高く、事 齢者の自立	独り暮 「業をよ 」 した生	らしの :り多く :活をす	の不安の くの高齢 支援するこ	解消(軽減) 者に利用して ことができる	ていた	め、本事 だくこと	ic o	O必 ³	高齢者 <i>の</i> 要性は高 。高齢者)増加、 すく、事 すの自立	独り暮 業をよ した生	らし <i>の</i> り多く 舌を支	、の で 接っ	で 解消	(軽減)のだ 利用していた ができる。	:め、本事業
κ 	合評	独居高齢の必り、高	者の増加、事は計画の自立を さいまた ままま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひ	独り暮 「業をよ 」 した生	らしの : り多く :活をす	の不安の解析である。	解消 (軽減) 者に利用して ことができる	ていた	め、本事だくこと 部実 加	ic o	O必 ³	高齢者の 要性は高 高齢者)増加、 場く、事 まの自立 施 策 評	独り暮 業をよ した生 価 に る	らし の り 多く 舌を支 け	、の で 接っ	で 解消 い 解	(軽減) のだ 利用していた ができる。	こめ、本事業
K) 改	合評価	独居高齢の必要性より、高	者の増加、事は計画の自立を さいまた ままま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひ	独り暮 「業をよ 」 した生	らしの :り多く :活をす	の不安の くの高齢 支援するこ	解消 (軽減) 者に利用して ことができる	ていた	め、本事 だくこと	ic o	O必 ³	高齢者 <i>の</i> 要性は高 。高齢者)増加、 すく、事 すの自立	独り暮 業をよ した生 価 に る	らし <i>の</i> り多く 舌を支	、の で 接っ	で 解消	(軽減)のだ 利用していた ができる。	:め、本事業
к Э	合評価	独居高齢性のより 前 年 月	者の増加、事は計画の自立を さいまた ままま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひまま ひ	独り暮 「業をよ 」 した生	らしの : り多く :活をす	の不安の所名の高齢名を援することを接することを接する。	解消(軽減) 者に利用して ことができる 施 状 況	ていた:	部実施	ic o	か必 ちり、 前 年	高齢者の 要性は高 高齢者)増加、 場く、事 まの自立 施 策 評	独り暮 業をよ した生 価 に る	らし の り 多く 舌を支 け	、の で 接っ	で 解消 い 解	(軽減) のだ 利用していた ができる。	こめ、本事業
ド) 改革・	合評価	独居のより 前 成里	者の増加、事は高くの増加を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	独り暮 「業をよ 」 した生	らしの : り多く :活をす	の不安の信くの高齢でも接ずる。	解消(軽減)指に利用してことができる。	ていた:る。	部実が	ic o	がり、	高野者の高齢者を高齢者を表現して、高齢者を表現して、高齢者を表現して、自動を表現りでは、自動を、ものものものものものものものものものものものものものものものものものものもの	地震を表現しています。	独り暮 業をよ した生 価 に る	らし の り 多く 舌を支 け	、の で 接っ	で 解消 い 解	(軽減) のだけ (軽減) のだいだいできる。	こめ、本事業
K) 改革・改	合評価	独居必り 高野、 前 成果の	者の増加、 はおうない はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいま	独り暮 「業をよ 」 した生	らしの : り多く :活をす	の不安の所名の高齢名を援することを接することを接する。	解消(軽減) 者に利用しことができる 施 状 況	ていた:る。	部実施	に の よ	が明られている。	高野者の高齢者を高齢者を表現して、高齢者を表現して、高齢者を表現して、自動を表現りでは、自動を、ものものものものものものものものものものものものものものものものものものもの	の増加、 ボイ、事 ボク、自立 施策評	独り暮 業をよ した生 価 に る	らし の り 多く 舌を支 け	、の で 接っ	で 解消 い 解	(軽減) のだけ (軽減) のだいだいできる。	こめ、本事業
K) 改革・改善の	合評価今後の	独のよ 前 成果の方	者の増加、事は高くの増加を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	独り暮 「業をよ 」 した生	らしの : り多く :活をす	の不安の信くの高齢でも接ずる。	解消(軽減)指に利用してことができる。	ていた。	部実が	を 前	が	高野者の高齢者を高齢者を表現して、高齢者を表現して、高齢者を表現して、自動を表現りでは、自動を、ものものものものものものものものものものものものものものものものものものもの	地震を表現しています。	独り暮 業をよ した生 価 に る	らし の り 多く 舌を支 け	、の で 接っ	で 解消 い 解	(軽減) のだけ (軽減) のだいだいできる。	こめ、本事業
K) 改革・改善の	合 評 価 今後の方	独のよ 前 成果の方向: (株)	者の増加、事は計画を表現である。 本本 おおまま おおまま おおまま おおまま かんりょう かんりょう おおまま かんりょう かんりょう はんしょう はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	独り暮 「業をよ 」 した生	らしの : り多く :活をす	D不安の例 (の高齢 を援する : 変 要 評 ② ② ③	解消(軽減) 者に利用してことができる 施 状 況 (5)	ていた。	が、本事 だくこと 部 実 所 ⑦ ③	下 「	が 前 成果の方向	高麗 音響 一次	が 単加 、 事 が 一	独り暮 業をよ した生 価 に る	らし の り 多く 舌を支 け	、の で 接っ	で 解消 い 解	(軽減) のだけ (軽減) のだいだいできる。	こめ、本事業
K) 改革・改善の	合評価今後の	独のよ 前 成果の方向: (株)	者の増加、事は高の増加、事は計画の場合の増加、事は計画のは、事は、事に、事に、事に、事に、事に、事に、事に、事に、事に、事に、事に、事に、事に、	独り暮 「業をよこした生 ・ 改 1	らり 多く ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	D不安の所 くの高齢 を援する。 実 評 ② ③	解消(軽減) 者に利用してことができる 施状況 価 ⑤ ⑥ ⑧	し し	が、本事 だくこと 部 実 が 前 ⑦ ③	ic of the state of	が	高麗 音響 一次	の増加、事立 施 策 評 施 兼 兼 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	独り暮まをよした生活	らりませた。	る 今	での解消にあることが	(軽減) のだけ (軽減) のだができる。	さめ、本事業 - だくことに 後
K) 改革・改善	合評価今後の方向	独のよ 前 成果の方向: (株)	者の増加、事は計画を表現である。 本本 おおまま おおまま おおまま おおまま かんりょう かんりょう おおまま かんりょう かんりょう はんしょう はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	独り暮 ・ 改 ・ 改 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「	ら り 多 さ 善 策 減	D不安の (の を接 を接 の 実 評 ② ③ ④	解消(軽減) 格 状 価 ⑤ ⑥ ⑧	ていた。	が、本本と 部 前 ⑦ ⑨	ic of the state of	が 前 成果の方向	高麗 音響 一次	が 単加 、 事 が 一	独り暮ました生活	らり お 策 減	ので で援う る	での解消にあることが	(軽減) のだり 利用していたができる。 す 向 性	- め、本事業 - だくことに 後
K) 改革・改善の方向性(合評価今後の方向性	独のよ 前 成果の方向: (株)	者の増加、事は計画を表現である。 本本 おおまま おおまま おおまま おおまま かんりょう かんりょう おおまま かんりょう かんりょう はんしょう はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	独り暮 ・ 改 ・ 改 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「	らり 多さ3 善 策	の 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	旅 状況 (6) (8) 小及の 人の	ていた。	め、本本と 部 前 ⑦ ⑨ ⑩		のより 前 成果の方向性 人	高麗性高齢 細 拡 現 縮 休 」	が 単加 、 事 が 一	独り暮ました生活	らし の多さ お 策 減 ス	のでで で援う る 全	での解消におけることが、	(軽減) のだり 利用していたができる。 すう 価 レ 現状維持 、の方	後 拡 大向 性
K) 改革・改善の方向性(A	合評価今後の方向性改	独のよ 前 成果の方向性 野 市介	者高者の増えの増えるのでは、自の単元の単元の単元のの単元のの単元のの単元の単元の単元の単元の単元の単元の単元の	独り暮よと生 改	らり 一 	の 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	解消(軽減) 施 版 (5) (6) (8) 小人 本の説 で事業の説	ていた。 	が、本本と 部 前 ⑦ ⑨ 10 拡 性 独居	高	のより 前 成果の方向性 野	高要 高要 高要 相	が (本)	独業した生活	らり舌 お 策 i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	の で援っ る 名 格 ト	での解消におけることが、 なのが、 での解消になった。 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	(軽減) のだり 利用していた。 で 向 性 レ 現状 の 説明を 作 、	を 本事業
K) 改革・改善の方向性(A C	合評価今後の方向性	A	者は齢者 度 加 現	独り暮よ生 ・ 改	らり多を策策を対している。	の不要の な技術を の 実 一型 の の の の の の の の の の の の の	解消(軽減) 店とができる 施状況 (6) (8) 小及でする ・とと連携	ていた。 	が、本本と 部 前 ⑦ ⑨ 10 拡 性 独居	にのよう	のより 前 成果の方向性 野者	高要、	施 施 素 素 素 素 内 表 要 表 要 要	独り暮また生活	らり舌 は 策 減 ス 議 支 技	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	での解消になった。	(軽減) のだけ (軽減) のだいだい (軽減) のだいだい (できる。 です) (できる。 です) (できる。 です) (できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	後 拡 大向 性
K) 改革・改善の方向性(ACT	合評価今後の方向性改革・	A	者高者の増えの増えるのでは、自の単元の単元の単元のの単元のの単元のの単元の単元の単元の単元の単元の単元の単元の	独り暮よ生 ・ 改	らり多を策策を対している。	の不要の な技術を の 実 一型 の の の の の の の の の の の の の	解消(軽減) 店とができる 施状況 (6) (8) 小及でする ・とと連携	ていた。 	が、本本と 部 前 ⑦ ⑨ 10 拡 性 独居	にのよう	のより 前 成果の方向性 野者	高要、	施 施 素 素 素 素 内 表 要 表 要 要	独り暮また生活	らり舌 は 策 減 ス 議 支 技	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	での解消におけることが、 なのが、 での解消になった。 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	(軽減) のだけ (軽減) のだいだい (軽減) のだいだい (できる。 です) (できる。 です) (できる。 です) (できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	を 本事業
K) 改革・改善の方向性(ACTI	合評価今後の方向性改革・改	A	者は齢者 度 加 現	独り暮よ生 ・ 改	らり多を策策を対している。	の不要の な技術を の 実 一型 の の の の の の の の の の の の の	解消(軽減) 店とができる 施状況 (6) (8) 小及でする ・とと連携	ていた。 	が、本本と 部 前 ⑦ ⑨ 10 拡 性 独居	にのよう	のより 前 成果の方向性 野者	高要、	施 施 素 素 素 素 内 表 要 表 要 要	独り暮また生活	らり舌 は 策 減 ス 議 支 技	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	での解消になった。	(軽減) のだけ (軽減) のだいだい (軽減) のだいだい (できる。 です) (できる。 です) (できる。 です) (できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	を 本事業
K) 改革・改善の方向性(ACTIO	合評価今後の方向性改革・改善	A	者は齢者 度 加 現	独り暮よ生 ・ 改	らり多を策策を対している。	の不安の齢のでは、 な技術をある。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	解消(軽減) 店とができる 施状況 (6) (8) 小及でする ・とと連携	ていた。 	が、本本と 部 前 ⑦ ⑨ 10 拡 性 独居	にのよう	のより 前 成果の方向性 野者	高要、	施 施 素 素 素 素 内 表 要 表 要 要	独り暮また生活	らり舌 は 策 減 ス 議 支 技	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	での解消になった。	(軽減) のだけ (軽減) のだいだい (軽減) のだいだい (できる。 です) (できる。 です) (できる。 です) (できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	を 本事業
K) 改革・改善の方向性(ACTI	合評価今後の方向性改革・改	A	者は齢者 度 加 現	独り暮よ生 ・ 改	らり多を策策を対している。	の不安の齢のでは、 な技術をある。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	解消(軽減) 店とができる 施状況 (6) (8) 小及でする ・とと連携	ていた。 	が、本本と 部 前 ⑦ ⑨ 10 拡 性 独居	にのよう	のより 前 成果の方向性 野者	高要、	施 施 素 素 素 素 内 表 要 表 要 要	独り暮また生活	らり舌 は 策 減 ス 議 支 技	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	での解消になった。	(軽減) のだけ (軽減) のだいだい (軽減) のだいだい (できる。 です) (できる。 です) (できる。 です) (できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	を 本事業
K) 改革・改善の方向性(ACTION)	合 評 価 今後の方向性 改革・改善策	A	者は お高者 改	独り暮よ生 ・ 改	らり S S S S S S S S S S S S S	かく で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	解消(軽減) 店とができる 施状況 (6) (8) 小及でする ・とと連携	てい。	が、本本と 部 前 ⑦ ⑨ 10 拡 性 独居	にのよう	のより 前 成果の方向性 野者	高要、	施 施 素 素 素 素 内 表 要 表 要 要	独業し価質を生産を生産を生産を生産を生産を生産を生産を生産を生産を生産を生産を生産を生産を	らり舌 は 策 減 ス 議 支 技	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	での解者にとかが、 後 評 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(軽減) のがいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいか	を 本事業

			社会福祉		(小)				生争来)					事 莱 期 間	1 平脉		~		牛皮	整埋番号	04	010112
担:	当 部	署	健康福祉	部		地	域福	祉課			福祉	総務保	Ŕ	•	作成担当	者名	竹	村	紀	彦	連絡先		302
								政	策	01	第1:	章をお	う互いに	こ支えあし	ヽ、その	人らし	く暮り	oせる:	まちこ	づくり			
			プラン		形台	策体	玄	施	策	01	第11			1 ビーナス	スプラン	(地垣	福祉)	の推進					
	おし	ナる	位置づ	(t)	LX .	AC 17		細方		05			E活支护										
-1								事務	事業	03	小地:	域福祉	L活動 i	推支援	業								
計	予	算	事業名	_	***	101								* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	- 46		コート				頁 01 目		事業 07
				地名	東任氏 S.什組	かお	生い作く ロオ	東の心	で文ス	ためつ	ことか 玄坐け	でき	も地域 垣址位	つくりを 議会が宝	日指して	、備れ	北恵職	の職队内々か	と任	氏か地 保健垣	域活動に 祉サービ	気軽(グターの
	事	务 事	業の概	要	とし	て、	行政と	∶連携	・協働	めし推	進して	いま	す。	展 五 // 天		- 6- 7 /	3°C 113	F 3 - T 70	171 02	W 100 100	ш У С.	~ L.	, 0,
画	(101	深 1~ 7	わかりやすく	一市(は、補	助金	を交付	すし本	事業を	を支援	してい	ます	•										
				H- 2		+ 45	= +.	4814	 	5.8.1	- + -	1 4=	14.5.4	7 6 2	金工品数 4	N 100 HB 4		14-72-45		白いによっ	地域の住		C B4 (4-75
			と背景	元 📥 🧵						でいる。			けられ	るよう、	竹吹寺の	ノ寺 [7] [茂 美 /こ	17 64		タエ ひ	地域の仕	氏がっ	F助けで
	(٠ ع	うして))								•											
`			受 益 1		灵																		
	目	対	(誰のため)		野市社	全垣	計校業	* -															
		象	対 象		ek ila 471	. ZX 1881		3 2 3															
Р			(直接働きかけ																				
	的		意 図	市具	吴二一	ズに	対応し	,た幅	広い権	冨祉活	動を展	開で	きるよ	うにする	•								
	нэ	(どん	な状態にしたい	か)																			
L				茅里	野市社	会福	业協調	会															
			・方法																				
	((とつ	やって)																			
Α																							
			行政活動	の結果	からつ	o くり	だす	もの に	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・言	十算式	• 月標	値設	定の考	え方なと	一最終	8月標値
			社会福祉		-		•		•					+ -							リよい事		
N	埀	動	1 ((機	D30 1254 324						会議	回 数				業を実						, 0, 0		6
	価	指																					
	10	標																					
)	標の																						
	作	成	成り	₽ •	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・言	算式	・目標	値設	定の考	え方なと	最終	冬目標値
	成	果	対象人件	豊の色	担割4	<u> </u>				負担	비슨			%	負担額	✓₩≇	人件	•					70
		指	A) SP/IT	見い見	144 PM					人口	17 🖂				火 油	/ /3 S	·/\m'					-	,,,
		標																					
	_													-									

	Į	頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	-		(a)	円	2, 311, 000	26, 025, 000	19, 482, 000	20, 660, 000	22, 684, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一般財	源	円	2, 311, 000	26, 025, 000	19, 482, 000	20, 660, 000	22, 684, 000
施	職	正規職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 15	
	員	嘱 託 職	員						
	数	臨 時 職	員	人					
状		合 , **	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 15	
		村 象 (者)	数						
-			(b)						
			(b) 額	円田	_	_	_	-	
況		受 益 者 負 担 市民一人当たりのコス		円円	41, 00	465, 00	349.00	372.00	409, 00
-		『氏一人ョたりのコス		H	41.00	400.00	349.00	6	409.00
		会護回数	目標 実績					6	
\sim		工碗 凹 双	達成率	%	_	_		100, 00	100, 00
	活		目標	70				100.00	100.00
	動指	_	実績	_					
	指		達成率	%	_	_	_	_	_
D	標		目標	70					
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
o			目標	%				70	75
	成	負担割合	実績	90				75	75
	成果		達成率	%	_	_	_	107. 14	100.00
	指		目標						
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_		_	_
	備	平成26年度までは人件費	分の神	助と	子事業に対する補助と	けていましたが、平	成27年度からは法人	運営事業と当事業の丿	人件費を含めた事業
	考	費補助としたため、補助]観が洞	な少しま	Fした。				
	石								

	当 部	表名 <u>任芸</u>	福祉部				福祉			福祉網	公路 伍			_	事表期 作成担:	_		村	4	意 5		理番亏 基絡先		302
7년		一日 健康	(四江)			<u> 서</u> 발사	- 1曲1年	P.T.		四工工作				Į T	r /久7旦:	⊐11 11	ı TJ	ניד	1			ニハロノし		JUZ
	期			E	標						実	彩	Į							課	題			
四	第 1 期	平成29年 人件費支					ヒアリ	ング	ヒアリン	ゲを実	施。						詳細。	。今後	検討					
半期	第 2 期	社会福祉 ング 補助対象						:ア リ	実施計画 を把握し 補助対象	た。														
# : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	第 3 期	積立金の 助成事業				検討			助成事業	きの予!	定額が大	(筋決	まっ	た。			積立なかっ		要額	につい	て、詳	細検討	に踏	み込め
٤	第 4 期	平成29年 アリング	度の人	件費	決算見	,込額(こつい	てのヒ	予算編成 の確定と					助成	事業の	基準								
O										Ē	Ŧ	価	İ											
0,7	当年	年度開始後	後、約	6ヶ月	月が経済	過し、	新たり	こ生じ	た問題点	気の変化	今	成	拉		充			2		⑤		7		
管										後の	果の方		見状維	持小			3 4		6	V	9 10			
理		新年	度の実	尾施計	画・₹	予算要	求事」	項(改	革・改善	方	向性		ト 廃		1		•		•		w			
-									向			/		皆一	減っ	縮	-		大維持 * <i>+</i>	拡	大			
		* T = +		N.	t des etc			性	/					ス	٢	投 力	0.) Д	向	任				
	_	評価年度 □ 点		重 妥	年度 当	,	<u> </u> 性		有	効	性				効	率		性		総	合 i	评 価	判	定
		の観点	1	女 2	3	1年 判定	2 1	1 2 1	判定	,	1	жл 2	3	1 4	判別	ŧ l	心		i T 1W	+1	止			
評		エック	-		0	4	4	- '		4 4	+	_		-	+ -	4				Α				
価(C	課題	社会福祉 の人件費 をし、効	拡大	したた	祉協	議会	への	した。)事業3	- 平成 を援の	29年度 あり方	は事 iの検	N .	記号の BC D:	と事事の事討総事業の事計総	箇当 り進め方見 見模・が合 り統要 平価判定	に改き容・3	售めるこ 善が必要 実施主体 廃止の検							
н		希	A	施		策		評	価		前			紐	1	施		策		評	ſ	<u> </u>	後	
E C K	総合評価		考えた									がり	確(金のま			いては		残っ	たが、				基準が
\cup		前年	度 改	革	· 改	善策	きの	実 施	状 況			Ē	前 年	度	細施	策 評	価にも	おける	5今	後のフ	5 向	性	_	
改	今	希	Ħ	施		策		評	価		前			紐	1	施		策		評	Ø	5	後	
革・	, 後	770	拡	充			2		⑤	(D		成	打	広 :	充								
改	仮の	果	現状維	持			3		⑥ ₺	•	9		果 の	IJ	見状維	持						レ		
善の	方	+	縮	小			4		8	(1	D		方向	斜	宿 .	小								
の方向	カ		休廃	止	1								性	f	木廃.	止								
性(性					減 コ ス		小 投 之		方 向	性	ξ _	_				皆 =		縮ト	小 投 <i>フ</i>	(の		拡 向 '	
A C T	改 革	社会福祉 きるよう を踏まえ	協議会 、効率 て、补	kが必 MAN MAN MAN MAN MAN MAN MAN MAN MAN MAN	要な積 つ効果 祉協難	立金を	を維持 を援方 組織機	しつつ 法の検 成や人	継続して 討を進め 員配置の	健全なる。精査を	は運営が また、基 を行って	で準い	: ŧ	るよう	う、効	率的	いつ効	果的な	支援	持しつ 方法の 織構成・	検討る	を進める	ع ت ک	『運営が ∶が必要 Eを行っ
- I O Z)	· 改善策	ζ.	- 4 (4		was if B	. — - 	· •• ITF				•	7	補具	く。 助事す	業も含	め、ネ	土会福	业協議	会の		歩につ	ついて気		な把握
最紀	終評	価年月日	7	7成30	年5月9) E	最 終	· 評(西 責 任	者		-		地	域福祉	課長					井	出		弘

事	務事 ӭ		社会福祉協調	養会	助成事	業(法人	運営	事業)						事業期間	甲成		~		年度	整理番	号 0	4010111
担	当部	署	健康福祉部			地	域福	祉課			福祉総	総務係			作成担当	者名	竹	村	紀	彦	連絡先	;	302
<u>担</u>	市おり事の無の規	日 日 第 第 状と 対象	健康福祉部 プランづけ 事業名 (世界 本の できなが、 また) を し	協議事件を指する。	福祉・一社・一	また 本本 ない で ない で ない で は で は で は で が は で が は で が は で が は で が は で が は で が は で が は か い か い か い か い か い か い か い か い か い か	系列建筑、山麓、山麓、山麓、山麓、山麓、山麓、山麓、山麓、山麓、山麓、山麓、山麓、山麓、	政施細事なする会会し会を報	地域福 協議会 祉協調 いる市	01 08 01 七会福社 大会福祉 で を 変の 行 民	第1章第2次第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	章 お福祉 おれて おれて おれて おれて おれて おれて で を 終されて おいまま かいまま かいまま かいまま かいまま かいまま かいまま かいまま	近 2 1 比 2 1 比 2 1 比 2 1 比 2 1 比 2 1 比 2 1 比 2 1 比 2 1 比 2 2 1 比 2 2 2 2	こ支えあ! ビーナス・ゴーナス・ 地き に乏しく	い、その スプランの プラン推 域福よう 、民参加に	人(推進事会推進事会を建せて、	「本本 一 一 である。	らせる) の推議 ド 000 に と を	まち、計画を表現しています。	づくり 03 に設立	項 01 Z されたま	3 01 季野市	事業 04 社会福祉
L A			・ 方 法 やって)	茅野	市社	会福祉	业協調	会															
		活	行政活動の組 社会福祉協		-					指会議回		名	称	単位	社会福	祉協議	会と			–	考え方な りよい <mark>事</mark>		終目標値
N	評価指標	動指標	融												業を実	旭9	0						
<u> </u>	標の作成	成果	成果		効	714	は	何	?	指		名	称	単位	71				票値設	定のを	考え方な	ど最	終目標値
	,,,	未 指 標	対象人件費(の負:	世割合	1				負担書	州合			%	負担額	/対象	人件	T					70

	Į	頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	-		(a)	円	59, 136, 000	35, 850, 000	31, 168, 000	41, 290, 000	39, 249, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
		地 方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	59, 136, 000	35, 850, 000	31, 168, 000	41, 290, 000	39, 249, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 15	
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 15	
11		対 象 (者)	数						
			(b)						
	<u>į</u>	単位 コスト (a)/	(b)	円	-	_	_	_	-
況	7.54	受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	1, 053. 00	640. 00	559. 00	744. 00	709. 00
			目標	ı.	6	2	2	6	4
		会議回数	実績		6	2	2	6	4
	活		達成率	%	100.00	100.00	100. 00	100.00	100.00
	乱		目標						
	動指	-	実績						
D	押標		達成率	%	_	_	-	_	_
	慓		目標						
		-	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	%	70	70	70	70	70
	成	負担割合	実績		70	70	70	70	70
	果		達成率	%	100. 00	100. 00	100. 00	100.00	100.00
\cup	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%		_		_	_
	備老	平成26年度までは人件費 平成29年度は補助対象事	分の神	助、	F成27年度からは法人 ‡費の対象を拡大した	、運営事業への補助と :ため補助額が増加し	したため補助額が大 ている。	幅に減少している。	

_	当部	乗名 社会 選 健康	福祉部		*3194 T		福祉			福祉網	海係				表期间	_		村	紅	_	_	理番写 [絡先		302
JE			IM IT HP			757	* IM III.			I bed Tarre day				IFA	×1= -1	<u>п</u> -п	,	13	446			ニホロンし		002
	期			E	標						美	績	İ							課	題			
四	第 1 期	平成29年 人件費支					ヒアリ	ング	ヒアリング	を実	施。						詳細。	今後相	食討					
*	第 2 期	社会福祉 ング 補助対象						: アリ	実施計画 を把握し 補助対象	た。														
期ご	第 3 期	積立金の 助成事業				検討			助成事業	の予算	定額が大	筋決	まった	Ξ.			積立会なかっ		要額	について	て、詳	細検討	に踏	み込め
٤	第 4 期	平成29年 アリング	度の人	、件費 :	決算見	.込額(こつい	てのヒ	予算編成 の確定と					成事	業の基	基準		事業の:		状況の う。	把握と	≤、次年	度に	向けた
Ø										中	ř	ī	価											
	当年	年度開始後	後、約	6ヶ月	月が経済	過し、	新たり	こ生じ	た問題点を	の変化	今	成	拡	充			(2		⑤		7		
管											後の	果の方	現物	犬維持				3 4		6	V	9		
理		新年	度の実	[施計	画•-	予算要	求事」	項(改	革・改善	方	向 性 _		廃止		D	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	•)		•		w			
										向性		/	/		皆 コ	減 ス	縮 ト	小 投 入		維持方	拡 向	大 性		
	Ī	評価年度		71/	年度																			
	裑	見点	3	妥	当	1	生		有	効	性			交	ነ	率	1	生		総合		平 価	判	定
評	評価	面の観点	1	2	3	4	判定	₹ 1	2	3	4	判定	1		2	3	4	判定	2			Α		
**		ェック					4					4						4						
価(C	課題	社会福祉の人件費をし、効	対象を	拡大	したた	め助用	な額が:	増加と	平成26 なった。 と協議を	今後も	社会福	祉協	養会へ	〜の事	大。	半成	29年度あり方	は暴蕩の検討	「「「「「「「」」「「」「「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「	B B C C E E E E E E E E E E E E E E E E	と事事の事討念	5当 3進め方見 見模・内 で で い統要 平価判算	に改物を要体・原	性めるこ 善が必要 実施主体 廃止の検
н		弁	A	施		策		評	価		前			細		施		策		評	徝	6	後	
EC	総合評		考え方									がり	立金(の考	え方に					とが、⁴				基準が
к _	価	前年	度改	革	• 改	- 基 符	ε	実 施	状 況			i	f 在 F	车 細	施策	評値	新にま	: H Z	、 今 ;	後の方	5 向 7	性 【		
改		*		施		策		評	価	,	前			細		施		策		評	, _{1~3}		後	
革	今			. 1		ж	:	ат		(7			-					ж		pT .	1/4	ч	仪	
-	後	単		充			2		⑤				成 果	拡	充									
改善	の	の	現状維	持			3		⑥ L	• ()		の	現	犬維持							レ		
	方	方 向	縮	小			4		8	1	0		方 向	縮	小									
の方向	向		休 廃	止	1								性	休	廃止		••••••							
性	性	_			皆	減 コ ス	縮ト	小投	現状維えのプ		拡 オ	ξ.	_	_		7	皆コ		縮ト	小 投 入		、維持 方	拡向	大性
AC	改革	社会福祉きるようを踏まえ	協議会、効率	が必	要な種	立金を	·維持	しつつ	継続して	健全な	運営が	で 準 で	きる	よう.	、効率	的カ	要な利	立金 的な	を維持支援に	寺しつ ^つ 方法の	の継続	もして仮 を進める	全な	運営が : が必要
TIOZ)	· 改	を 踏 まえ く。	て、社	会福	祉協議	会の新	且職構	成や人	貞配置の	精査を	行って	7	いく。 補助	事業	も含め	、社	会福祉	上協議:	会の基		歩につ	いて気		を行っな把握
最終	策 終評	価年月日	ų ų	成30	年5月9	日	最 終	※ 評(西 責 任	者		<u> </u>		地域	福祉部	長					井	出		弘

事系	务事等	Ě名	社会福祉協調	養会	助成事	業(交	付金)							事業期間	平成		~		年度	整理番号	04010113
担:	当 部	署	健康福祉部			地域	福祉課			福祉総	総務係			作成担当	者名	竹	村	紀	彦	連絡先	302
計	おり	ナる	プランに 位置づけ 事業名 :業の概要 ¬ゕ りゃţ〈)	有各種		を 体 系の自立る	事務	策 策 施 策 務事業	01 05 02	地域生	市 福 自立生 上活支	祉 2 1 活支援 援事業	ピーナ 長 実	い、その. スプラン の推進を	会計:	福祉)	の推済	1 款	03	項 01 目 で付する事	01 事業 07
	現(状ど	と 背 景 うして)			を推進す のです。		本を対象	東に交付	すすべ	⟨ , †	土会福	祉協議会	に交付し	、社会	福祉	協議会	まから	社会福	晶祉に貢献す	する団体の交
(目	対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)			会福祉法	舌動団体	*													
P	的	(どん		社会	幸福祉	活動団体	本が連携	携し地域	域福祉 流	舌動の	推進る	きする	伏態 。								
LA			・ 方 法 やって)																		
			行政活動の約	結果:	からつ	くりだ	すもの	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	目標	票値設	定の	考え方など	最終目標値
Ν		活動投	交付金交付	Ą					交付金	額			Ħ	地域の	社会福	祉団(4	\$ ~σ	交付:	金額		320, 000
)	指標の	指標			-11				11-			74				Andre In		I-L			
	作成	成果指	成 果 社会福祉団(・ 本の:	効 会員数		は 何	?	指 会員数	大	名	称	単 位 人	算出方 交付団				-			最終目標値 750
		標								•		•							_		

	J	頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	1		(a)	円	320, 000	320, 000	130, 000	130, 000	130, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
444	訳	一 般 財	源	円	320, 000	320, 000	130, 000	130, 000	130, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	
-		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	-	_	_	-
況		受益者負担	額	円	6.00	6.00	2.00	2.00	0.00
		市民一人当たりのコス		円	6. 00 320, 000	6. 00 320, 000	2. 00 130, 000	2. 00 130, 000	2. 00 130, 000
		交付金額	目標 実績	円	320, 000	320, 000	130, 000	130, 000	130, 000
\sim			達成率	%	100, 00	100.00	100,000	100.00	100, 00
	活		目標	70	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	動指	_	実績	_					
	指		達成率	%	_	_	_	_	_
D	標		目標	70					
		_	実績	_					
			達成率	%	_	-	_	_	_
0			目標		750	750	750	750	750
	成	会員数	実績	人	608	608	568	558	600
	果		達成率	%	81. 07	81. 07	75. 73	74. 40	80. 00
$\overline{}$	指		目標	_	-		·		
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
	考								

事務 担 🕯			社会福祉 健康福祉		助成事		を付金) 或福祉			福祉	L総務係				朝間 平 旦当者名		~ r 村		年	度 整理番 連絡分		0113 02
	期				目標							:	i						誹			
四四	第 1 期	交付	金交付署						交付交	そ付を行	テいました。					次年	度予算	F (=		討準備。		
·	第 2 期	次年	度予算に	こ向けて	検討準	⊈備。					頃について 対を進めま			定のた	めの負	次年	度予算	F ICI	句けて準	備 。		
	第 3 期	次年	度予算に	こ向けて	予算額	算定の)検討。	•			団体の状況 よした。	?調査	を行い	い、前年	同様の	次年	度予算	F IC	句けて準	備 。		
بر	第 4 期	次年. 討。	度予算額	質計上に	向けて	、予算	額算定	⋛の検	前年と	:同様の)予算額と					次年ア団	度予算 体につ	単に同	向けて、 精査を :	補助金交付 進める。	対象ボラ	ンティ
၈	14.7	左击即	B # 1/ 546	45 O .	D 1867	\G	→ r⊥ 1	- 4- 1° .	L 88.83	事		1		価	. 1							
	33	平	ff好俊、	利りケ.	月か経	迎し、	₹だし	-生し	に问題	はで境	境の変化	今	成 果	拡	充			2		5	7	
管												後	の	現状網	維持			3		⑥ レ	9	
												の	方向	縮	小			4		8	10	
理		Ŕ	新年度0	り実施記	†画 • ·	予算要	求事	項(改	革・改	(善策))	方	性	休廃	止	1						
												向				皆	減	縮	小	現状維持	寺 拡	大
											性				⊐	ス	۲	投 .	入のブ	5 向	性	
		評価名	F FÉF	2	当年度		1			_												
	_	見点		妥	当十八		性		有		効		ξ.	性		総	合 評	価 判	定			
		五の街		2	3	4	判员	Ē 1	1 2	· 交	:	2	•	4	判	定	1110		μμ 13	~_		
評	チ	エツ	ク				4				4					4	ŀ		A			
		団体る。	への補助	协金交付	につい	۱ ۲ 、 آ	市と社	会福祉	協議会	どちら	とがi	切かに	は、今後	検討を	要す		記	: 計画どおり とが適当	事業を進	めるこ		
価	課	•																事業の進 <i>を</i> 事業規模・				
																	定	の見直しか	必要			
	題															72	: 事業の統合 討が必要		正の快			
С																	総合評価半価シート整理		Α			
н			細	抗	ħ	策		評	価				細	施		策		評	価	後		
	総		金交付に								前 直しを行							祉協		担う業務の		を行
E	合	う。										7	•									
С																						
ĸ	評																					
	価																					
		刖	年 度						状 況			F	リ 年 ,			曲にる		る ~		方向性		
改革	今		細	抗	Ē	策		評	価		前			細	施		策		評	価	後	
									⑤		7		成 果	拡	充					1		
	· 後	成里	拡	充			2		ļ				_				i			· <u></u>		
改善		果の		充			(2) (3)		6	レ	9		の	現状網	維持					レ		
改善の	後 の	果					į			レ	9 10		方向	現状紀 縮	維持 小					V		
改善の	後の方	果の方	現物	犬維持	1		3		6	V			方		小					V		
改善の方向は	後の方向	果の方向	現物	大維持 小	① 皆	減	③ ④ 縮	Д	⑥ ⑧ 現状	維持	伽 拡 ガ		方向	縮	小	皆	減	縮	小	現状維持		大
改善の方向性(後の方向性	果の方向性	縮体	大維持 小 廃 止	皆	コス	3 4	投	⑥ ⑧ 現状 への	維持方	① 拡 ブ 向 性	 	方 向性 —	縮 休 廃	小	=	コス	۲	投.	現状維持入 の 方	向 性	
改善の方向性(A	後の方向性改	果の方向性	縮体	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	皆ついて	コ ス 、 対	3 4 縮 ト	投	⑥ ⑧ 現状 への	維持方	伽 拡 ガ	·····································	方向性	縮 休 廃 助成金	小	: ついて.	コース 、対象	ト を団体	投.	現状維持	向 性	
改善の方向性(ACT	後の方向性	果の方向性	現状 縮 休 、助成会	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	皆ついて	コ ス 、 対	3 4 縮 ト	投	⑥ ⑧ 現状 への	維持方	① 拡 ブ 向 性	·····································	方向性	縮 休 廃 助成金	小・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	: ついて.	コース 、対象	ト を団体	投.	現状維持入 の 方	向 性	
改善の方向性(ACTIO	後の方向性改革・改	果の方向性	現状 縮 休 、助成会	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	皆ついて	コ ス 、 対	3 4 縮 ト	投	⑥ ⑧ 現状 への	維持方	① 拡 ブ 向 性	·····································	方向性	縮 休 廃 助成金	小・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	: ついて.	コース 、対象	ト を団体	投.	現状維持入 の 方	向 性	
改善の方向性(ACTION	後の方向性 改革・改善	果の方向性	現状 縮 休 、助成会	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	皆ついて	コ ス 、 対	3 4 縮 ト	投	⑥ ⑧ 現状 への	維持方	① 拡 ブ 向 性	·····································	方向性	縮 休 廃 助成金	小・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	: ついて.	コース 、対象	ト を団体	投.	現状維持入 の 方	向 性	
改善の方向性(ACTION	後の方向性改革・改	果の方向性	現状 縮 休 、助成会	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	皆ついて	コ ス 対 対す	③ 縮 ト な る。	投 への補	⑥ ⑧ 現状 への	維持 方 と社会	⑪ 拡 ブ 向 性 幸福祉協議	·····································	方向性	縮 休 廃 助成金	小・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	: ついて.	コース 、対象	ト を団体	投.	現状維持入 の 方	向 性	

事務	事業	(名	福祉電話貸-	与者	助成事	業									事業期	間平月	戉	~		年度	整理番号	04020202
担:	当部	署	健康福祉部			高	齢者	・保険	課		高齢者	福祉	:係		作成担:	当者名	西	角	卓	其	連絡先	335
計	おり	ナる	プランに位置づけ	有	政贸	策体	系 -	政 施 細 施 事務事		01	第 1 章 第 1 質 地域自 一	有福		こ支えあ 1 ピーナ 爱		ン(地	域福祉)	の推議	進		A1 D	
AI	予	算	事業名	M U	1400	井井 ナン 田	- atc (4		A X44 1 1	# 5 T		de det		得世帯の	(#K) I=		+ +				項 01 目	04 事業 01
画	事績	务事	· 業の概要 ph かりゃすく)																			
			と背景うして)	てし	まう	可能性	とが福	くな・	ってし	まうた	:め。						が確保	された	まいこ	とから	、社会的	狐立に繋がっ
	目	女	受益者			難な重	度阻	害者	や独り	暮らし	高齢:	者でも	あって	低所得世	帯の者							
P		象	対象 (直接働きかける)	同上																		
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	を研	保す	ること	がて	きる。														格手段の方法
LA			・ 方 法 やって)					基づる		査し、	適当	(所名	导要件	, ===	.ニケー	ション	· 緊急	連絡	手段が	福祉電	話以外な	ハ) と認めた
			行政活動の	結果	からこ	こくり	だす	ものは	何?	指	標	名	称	単 位	算出	方法・	計算式	・目标	摽値設	定のを	考え方なと	最終目標値
N	評	活動指	福祉電話が	设置	される	5			;	福祉電	話新規	見設置	数	件	当年月	隻中に	福祉電	話が設	置さ	れた件	数	1
~	価指標の	標																				
	作	成	成果						?	指	標	名	称	単位	算出	方法・	計算式	・目	標値設	定の	考え方など	最終目標値
	成	指	コミュニケ· される	ーシ	ョン・	緊急:	通報	手段が	確保	福祉電	話利用	用者费	<u> </u>	人	継続	して福	业電話:	を使用	して	ハる者	の数	2
		標																				

		Ą	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
		<u>事業費等</u> 国庫支出	(a) 金	田田	45, 570	25, 620	29, 091	23, 224	34, 000
ъ	財		金	円					
実	源	地方	債	<u>'''</u>					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	45, 570	25, 620	29, 091	23, 224	34, 000
施	職	正規職	員	人					
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0.01
状	数	合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
•		对象(者)	数						
			(b)	m					
		単 位 コ ス ト (a)/ 受 益 者 負 担	(b) 額	円円	_	_	_	_	
況		ヹ <u>゚゙</u> 毎 月 担 市民一人当たりのコス		円	1, 00	0.00	1, 00	0.00	1, 00
		IL NALTOIN	目標		1.00	1	1.00	1	1.00
		福祉電話新規設置数	実績	件	0	0	0	0	1
(活		達成率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00
	和		目標						
	動指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
	ीरार		目標	_					
		-	実績達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	%0	2	2	2	2	2
	成	福祉電話利用者数	実績	人	2	2	1	1	2
	果		達成率	%	100.00	100.00	50, 00	50, 00	100.00
	指		目標				23100	33100	
	標	_	実績	_					
			達成率	%	_	_	-	_	_
	備								
	考								

		著名 福祉			即风争	_	1 de 100 de	A 800		** ** **					業期間	_		~	ь.	年月	_	理番号		20202
担	当 部	者に健康	福祉	部		局	きょう 保険 かんりょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	採	局	齢者福	祉係			11	成担	当者名	両	角		Į Į	į	連絡先		335
	期			E	標						実	績								課	題			
				_									_											
	第	継続して	利用し	している	者が引	き続き	利用でき	る ***	79 da (- C	1 6 A A D	*N 45	++		+4=-	4.									
四	1 期	よう、期						捌	限内に回	柳便用	料の:	文払	しい	を打つ	7=									
	州																							
半	第							_																
	2						利用でき	る 期	限内に回	線使用	料の:	支払	いる	を行っ	た						_			
	期	よう、期間	及内に	. 凹線性	thirte	又松、	,																	
期																								
	第	継続して	利用	ている	者が引	き締ま	利用でき	حادة ا																
	3 期	よう、期間						期	限内に回	線使用	料の	支払	いる	を打つ	<i>T</i> =									
1	刔																							
	第																							
ع	4						利用でき	る 期	限内に回	線使用	料の	支払	いる	を行っ	<i>t</i> =		回線位	用料	を支	払うのみ	ケの耳	業とな	ってま	り、事
٦	期	よう、期間	投内に	. 凹線性	用料包	文払:)										来の名	刀果の	使副	Eが困難				
										#	_	==		/DE										
の	N/ A		111 11	50. 1	□ 184 2	\B	*** L ! _ L	- 10 L DI		•	中	R	•	価										
							新たに生 払うのみ(変化	今	成			充		1	2		(5)		7	
	現石	利用して	. เงอา	百の四:	隊使用	科で又	払つのみの	の争果の	となってい	`` o.		後	果の		! 状維:	诗		(3		6	V	9	
管										方														
							の	向		1	<u>ال</u>			4		8		10						
理	400		実施計		方	性		· 廃 」	止 ($\mathfrak D$														
		での設置					頃向にある	6が、 瑪	向					뱜	減	縮	/ \	担外	犬維持	拡	大			
	49E C	MIM CC	(A ()	· P#	1401 —		\ 0					/												
												性	_	_				ス	٢	投 力	\ 0) 方	向	性
	•	评価年度	•	2	当年度																			
	_		•				生		<u></u>	사	性		1		사	47		生		4/1	^	=17 /312	यव	-
	初	•	4	妥	当			4 1		効 3 4		l/11	4	4 1	効	率		_	_	総	合	評価	判	定
評		の観点		2	3	4	判定	ı	2	判定	+	- 1	2	3	4	判別	E			С				
	チ	エック			レ	レ	2					4	Ц					4			=1			4 11 7 =
		_)設置	は数年	来なく	· 、 こ #	1までの種	引用者	も死亡等	に伴い	、利用	月中.	Œδ	となり	、利用	者は	減少し	てい		記 A:	計画のとが	どおり事 _{商当}	業を1	匪めるこ
価	課	る。 平成27	7年4	月以隆	は、1	名の種	利用のみと	となり	事業の継	続につ	いてホ	金計:	ተፈ	る必要	が生じ	てい	る。				事業(の進め方		
ТШ	砞						.,,,,,,,,,	_ 0, , ,		1901		~		~~			•					規模・内 直しが必		実施主体
																						旦しか必 の統合、		廃止の検
	題																		-		討が』			
С																			-			評価判定		C
			A-m		_		==				<u> </u>		-		_		前年度評価				8010454			
Н	総		細	施		策	評	1. 5	価			細		施		策		評		西	後	1 4 FT 44		
Е	小心	局節石質	変え				ていること Monate and the company of th							有数へ きゅうしゅう						ことか 垣址書:				
_	合	のと思え					こ電話回線				の普及									回線が			・電記	の普及
С		に伴い、	⊐₹	ュニケ	ーショ	ン手具	とがない中	中生活さ	されてい	る重度		当に	伴	い、=	181	ニケー	-ション	/手段	がな	い中生	活され	れている		
	評	や独りる			は少な	くなっ	っており、	今後	も新規で	の設置	見込に				し高い		ゆなく	なっ	てお	り、今	後も	新規で0)設置	見込は
K		y 13.6°C	- 心イン	10000								1"	'Ժ	v · ⊂ Æ	かりとりし	o								
J	価		r+	L ++-	_,				,_ ·			1.	_ ,	 ·	m ++	+ = - -	т	. ,	, ,	14 -		Jul 1		
												月	ıj î						7	後のフ			=	-
改	女 無 施 策 評 価 前															施		策		評	ſ	T	後	
革	· 後	成	拡	充			2	(5))	7			成	拉	5 3	乞								
改		果 """	現状	維持			3	6)	9			果	ŢĒ	!状維!	‡								
改善	の	の 						i					の 方											
Ø	方	ク 向	縮	小			4 L	' 8)	10			向	紑	i /	J\				レ				
の方向	向	性	休	上	1	•••••							性	付	廃」	E	******							
回性		_		_	皆	減	縮	小 玎	見状維持	拡	大			_			皆	減	縮	小	現場	犬維持	拡	大
=	性 コスト投入の方向性															I				投 <i>力</i>				-
Α	改 地域に訪問することが多い、保健福祉サービスセンターや民生委員に																多い、	保健	福祉	サービ				
C	革																ーズの							
Ţ	•																							
I 0	改																							
	善善																							
N)	策																							
		m /= = =		T -1-00		۰	B 1/2 -	T. /	+ 1	×.		_			<u> </u>	W-27 -	•					•	dele	
	終評価年月日 平成30年5月18日 最終評価責任者												耳黔	者·保	金理!	-			1	平	澤	精		

事系	务事業	業名	地域福	祉行!	助計	画推进	進の支	援事	業							事業期間	引 平原	t 2	5 1	~		年度	整理	番号	0404	0103
担	当 部	署	健康福	祉部			東	部保優	福祉サ	ーピスセ	ソター:	地域福	基祉推	進係		作成担当	省名	金	井	美	代	子	連	絡先	82-0	026
			プラン 位置		有	政:	策体	系	1 10	策 策 施 策 海 業	01 : 09 :	第1貿	有	祉21	:支えあ) ピーナ: I推進の:	スプラン					ちづ	〈り				
計	予	算	事 業	名	東音	『保健	福祉	サー	ビスセ	ンター	-事業費	ł .					会計	 	ド	001	款	03 1	項 0	1 目	08 事	業 02
画	事	務事	業の _{わかりや}	概 要	位置平	tづけ	、地 2年	域で(の地域	福祉の)推進を	図る	ためし	こ、それ)におい れぞれの 図)での	地区に	「地域	福祉作	丁動語	十画」	を第	定し	てい	ただき	ました	= 0
			と 背うしつ												り身近な が必要で			福祉の)展	州を 図	図るた	めに	は、	地区や	行政区	・自
(в	的 意 図 (どんな状態にしたいか) くみができること。															.										
	的	対 象 対 象 (国接側きかける)																								
L A	(画接触きかける) 地域の中で展開されている福祉活動が、計画的かつ主体的に推進されるようになり、身近な地域での見守り・支えあいの。																									
			行政活	動の	結果:	からつ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出力	法・記	計算回	t · F	目標信	直設に	この考	きえた	すなど	最終目	標値
N	評価指	活動指標	地区で	の実	践に	係る会	会議の	開催			年地区	開催	回数		<u> </u>											10
J	担標の作	成	成	果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	5法・1	計算記	t · [目標値	直設定	定の考	きえ方	うなど	最終目	標値
	成	从 果 指	区・自	治会	での	地域神	富祉の	推進	体制の	の構築	構築数				%	構築数	t÷市内	内区 ·	自治	会数	×10	0				100
		標																								

		Į	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
			(a)	円					
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財 般 財	源	円円					
施			源員		0, 30	0, 30	0. 30	0, 30	0.30
ЛE	職		員員	ᄉ	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30	0.30
	員	<u> 照 託 </u>	員	人					
	数	<u></u>	計	Ţ	0, 30	0, 30	0. 30	0. 30	0, 30
状	7		数		0. 00	0. 30	0.00	0.00	0. 00
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		上 	額	円					
200		<u> </u>		円	_	_	_	_	41.00
			目標		60	10	10	10	10
		年地区開催回数	実績		47	10	10	12	10
$\widehat{}$	活		達成率	%	78. 33	100.00	100.00	120.00	100.00
	插		目標	_					
	動指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
	尓		目標						
		_	実績						
			達成率	%			_	_	_
0	- +	Labb Ardry stat.	目標	%	45	45	100	100	100
	成	構築数	実績		50	51	100	100	100
	果指		達成率	%	111, 11	113. 33	100. 00	100.00	100. 00
$\overline{}$	扫栅		目標実績						
	標	_	<u>夫</u> 根	%	_	_	_	_	_
			进队平	70	_	_	_	_	_
	備								
	考								
	- 5								

	当部	系名 地域		一門推理	_	女争 未 保健福祉サ	ーピスセ	ンター 甘	1 域 複	祉推進	伾			朋间 平 3 当 者 名		,	*	代子		理番亏 連絡先		2-0026
15					- A-MP	体性関征 /		- 1	5-96 (1981				TFIXIL			7 T	_				02	. 0020
	期			目 標						実	積							課	題			
四	第 1 期	地区での	実践に係る	会議等	への出	席	豐	川地区 平地区 野地区	10 10 10						地域	富祉行	動計	画推進	<u>への</u>	支援の	充実	
半期	第 2 期	地区での	実践に係る	会議等	への出	席	豐	川地区 平地区 野地区	2 <u>0</u> 1 <u>0</u> 0 <u>0</u>	ĺ					地域	富祉行	動計	画推進	<u>への</u>	支援の	充実	
期ご	第 3 期	地区での	実践に係る	会議等	への出	塘	豐	川地区 平地区 野地区	2回 0回 1回						地域	富祉行	動計	画推進	<u>への</u>	支援の	充実	
۲	第 4 期	地区での	実践に係る	会議等	への 出	席	豐	川地区 平地区 野地区	1 <u>0</u> 1 <u>0</u> 1 <u>0</u>	ĺ					地域	富祉行	動計	画推進	<u>へ</u> の	支援の	充実	
Ø									事	中	ř	i (西									
		年度開始後	、約6ヶ	月が経	過し、	新たに生	生じた問	問題点や	環境の	の変化	今	成	拡	充			2		5		7	
	特に	なし									後	果 ^{·····}	現状約	#持			3		6	レ	9	
管								方									ļ					
		並左	生の中状況	上面	マケボ	一十十五百	/34 芝	35 羊	'r/- \		の	向	縮	小			4		8		10	
理		新 年 月	隻の実施語	計画 •		* 水争坦	(以中	* 以書	束)		方	性	休廃	止	①							
											向				皆	減	縮	小	現	犬維持	拡	大
											性				⊐	ス	۲	投	٨ (の 方	向	性
		評価年度		当年度																		
	_		妥	コー反 当		<u> </u>		有	効	性			効	率		性		総	合	評価	判	定
			1 2	3	4		1	2	3		1	1 2	3	4	-	定	1110			13	~_	
評						4					4					1				Α		
価 (C	評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##															善が必要 実施主体 廃止の検						
н		幺	9 \$	新	笨	1 11	E	푦			細	旃		笛					- 1 -			
	総							発推						区で								
Е		化してき [*] この支援 [*]	ている。								(f Ł	してき	きている	5.								
С		必要であ		r.610.	-6-96	CONFRE	4024561	MD C 73 //		`		要でも		- ሬ ተባ	JIC. 4	5-94 (· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	, <u>je</u> 407	TOPPE	277.		
ĸ	評価																			1		
		前年月				きの実		価	実前	施済	F						も 分	後のこ			_	
改革	今	和		包	策	評				細	施		策		評	1	西	後				
•	後	成 基 果	広 充			2	(5	5)	7			成 果	拡	充					ļ			
改善	の	の [‡]	見状維持			3	6)レ	9			* の	現状絲	掛						レ		
_o	方	方和	宿 小			4	(8	3)	110			方 向	縮	小								
の方向	向		木 廃 止	1								h 性	休 廃	止								
性	性			皆	減	縮	小	現状維持	扩拉	ر ک	₹	_			皆	減	縮	小	現	犬維持	拡	大
(A C	改	区・自治:福祉推進:	会の推進体 委員を由ば	プな				コ 別の整備 トした。	i.		投 ジ への取			向があい	性 \マップ							
ZOILO	革・改善	の作成と		01.	-, -	er privilegi	nn 7 1	, Y	w	,	ָר װ ּ	作成と	更新。	_ , -0-0			- IOTO PGE		, 48L		_ 550	
	策									× ×												
	◎ ● 本 「																					

行政活動の結果からつくりだすものは何?

地区での実践に係る会議の開催

活動指標

評価指標の作成

単 位 算出方法・計算式・目標値設定の考え方など 最終目標値

							• • •					•		•		• • •		•															
事	务事簿		地域福祉行	助計	画	推進	≛の	支援	事	業											事	業期	間	平成	23	3	~		年度	整理	理番号	04	050103
担	当 部	署	健康福祉部					西部	保健	福祉	サー	ピス1	センタ	·- :	地域	福祉	上推進	係			作	戓担	当者	名	小	J	1	明	子	連	絡先	82	-0073
計画	おり	する	プランに 位置づけ 事業名 **の概要	第位	部220年	健福け	福祖 祉 2 、 ^共 2 年	2 1 b域	ーヒ	事った。	施事ンプ福	業 ター プラン	・ ン(の推	1 9 1 業 茅進	地域	福祉	福祉 上行動 上行動 富祉記	2 計 計 計 計画 そ	1世画推 ()に	進の進の	大力を扱うで	プラー製事	ン (業 ::「b	会計 地域	温ーニティ)の ド 「動	性道 001 よる計画	款地域	福祉の	項 ()増進 してい	を重要	課題まし	事業 03 として いた。 追んでき
(状どう	うして)	治:	会で	30	福祉	L活:	動を	·活	性化	ا خ:	±, ∃	継続			ある、								畐祉σ	展	開を	図る	ために	には、	地区や	行政	区・自
P	目	対 象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)	地址	或0)中					行っ				組織	及び	び個ノ	, ((地区	<u></u>	12	ニテ	イゴ	建営は	協議会	健	表福	祉部	会、地	也区社	会福祉	上協調	会、
	的	(どん	意図な状態にしたいか)					異開			いる	福神	业活	動が	、計	画的	わかつ	Þ	体的	1(=)	推進	され	る 。	ようし	こなり	J. <u>.</u>	身近	な地	域での	見守	きり・ま	ええま	らいのし
L			・ 方 法 やって)	動	ΗŒ	推	進る	支	援す	る	チー	-4	を構	成し	た。	今往		呆健	福祉														桟福祉行 ∤画の実

指標名

年地区開催回数

)	の															
	作	成	成	果	• 🔅	カ 果	は	何 ?	指	標 名	称	単 位	算出方法・計算式	・目標値設定の考え	方など	最終目標値
	成	果	▼ • Ė	·44-	での#bt	ま担か) 推准(本制の構築	港			%	構築数÷市内区・	白治会数 x 100		100
		指	1	1/11/2	C 07754	* IB II. v.) JEAE I		117×3×			,,,	107 ASA 1 107 112	пиджто		
		標														
	1	頂				B	単位	立立る	6年度	314	成27年	度	平成28年度	平成29年度(予算		30年度
	,	只					+12	1 1% 2	0 干皮	'	从 2	-12	十八 2 0 千尺	又は決算額)	事業計	画(予算)
	1	事	業	費	等	(a)	円									
	財	[国庫	支	出	金 金	円									
実	源	إ	杲	支	出	金	円									
	内	ţ	也	方		債	円									
		,	その	他特	定則	源	円									
44	訳	-		般	財	源	円									
施	職		E	規	職	員	人		0. 25			0. 25	0. 25	0. 30		0. 30
	員	Ŋ	属	託	職	員	人									
	数			時	職	員	人									
状			<u></u>	, .		計	人		0. 25			0. 25	0. 25	0. 30		0. 30
		讨	象	(才		数										
		延利	引 用	(者)数	(b)										
			<u>立 コ</u>	ス	Ь (a)	/ (b)	円		_			_	_	_		_
況		受	益す	5 負		額	円									41.00
	_	17 氏	一人	ヨにり	のコ		円			-		2				41.00
		在4	也区開催	2 同 米		目標 実績			<u>2</u>			2	2	5		<u>5</u>
_		44		EISIXX		達成率	%		100, 00		10	0.00	100, 00	120.00		100, 00
	活					目標	70		100.00		- 10	0.00	100.00	120.00		100.00
	動指	_				実績	-			-		-				
	指					達成率	%		_			_	_	_		_
D	標					目標										
		_				実績	-									
						達成率	%		_			_	_	_		_
0						目標	07		100			100	100	100		100
	成	構翁	数			実績	%		100			100	100	100		100
	果指					達成率	%		100.00		10	0.00	100.00	100.00		100.00
	指					目標										
	標	_				実績										
						達成率	%		_			_	_	_		_
	備								·			·				
	1/H3															

	多事 美 当 部	業名 地域 選 健康	福祉		画推進	_		ヒサービン	スセンター	地域	福祉推	准係					間 平月 当者名	或 23 小	~ JII	明 子	度	整理番号		50103 ·0073
,	期				目標	1						実				.,				ii ii		題		
四	第 1 期	地区での	実践			への出	席		宮川地區金沢地區		1 <u>0</u> 1 <u>0</u>		小块					地域福	祉行動		•	の支援のす	実	
半期	第 2 期	地区での	実践	に係る	会議等	<u>への</u> 出	席		宮川地區金沢地區		1 <u>0</u> 0 <u>0</u>							地域福	祉行動	計画推進	進へ	の支援のす	実	
: :	第 3 期	地区での	実践	に係る	会議等	への 出	席		宮川地區金沢地區	X X	1 回 0 回							地域福	祉行動	計画推進	進へ	の支援の多	连	
٤	第 4 期	地区での	実践	に係る:	会議等	<u>への</u> 出	席		宮川地 金沢地		1 <u>0</u> 1 <u>0</u>	-		•	inc.			地域福	祉行動	計画推進	進へ	の支援のす	连	
の	当年	F度開始	後. #	516ヶ	月が経	過し.	新たし	こ生じ	た問題点	_	中 章の変	11.	悟。	-	拡	-	充		2	\	Œ	<u> </u>	7	
		なし	1		, n <u>.</u>							- 1	今	成 果		状維:								
管													後	の方					3		(9	
		☆ ヒ <i>ト</i> ℸ	- # A	+ ++=	I 1257 -	マ 佐 田		· * / ¬ ! -	革・改善	¥ ^/- \			の	向	縮		小		4		Œ	3)	10	
理		<u></u> 利円	-	夫他記	「凹・	了异多	《水争》	垻(攻	平 " 以 ?	苦東)			方,	性	休	廃」		D			-			
													白			/			咸 統			現状維持	拡	大
											1	生	_	_				スト	`投	入	の方	向	性	
	Ī	評価年度 当年度 視点 妥当性 有効性 平価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定																						
		•					_					\downarrow			率			総	合	評価	判	定		
評			1	2	3	4	1	<u> </u>	2	3	4	1		+	1	2	3	4				A		
価(C	視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判定 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定															が必要施主体 施主体 止の検								
н	6/3					策		н			前						施			評				
E		化してき	・てい	る。									化	して	てきて	いる。						祉に関する		
С	合	この支援必要であ	チー	ムを中	心に、	地域"	での推	進への	戦略を考	えて	いくこ	とが	Ξ	のま	を援う	L	を中心	に、地	域での	推進への	戦	略を考えて	いく	ことが
K U	評価	前年		数 革	• 247	盖領	- π	宝 施	状 況	宝	施	済					各証が	ゕ に お	tt る	今後の	方	向性		
改	_		細	施		策		評	価		前		1.5		細		施		ŧ	評		価	後	
革	今继	成	拡拡	充			2		5		<u>7</u>			成	拡	: 3	· 元				Ī			
改	後の	采 果 の	現状	維持	ļ		3				9		1	え 果 の	現	!状維!	寺					レ		
善の	の +	方	縮	小			4		8		10		1:	方	縮		ار							
の方向	方向	向 性	休房	₹ 止	1		_		-					向 性		廃」	 Ь							
向性	向性	_		_	皆	減	縮	/ /\	現状維	持	拡	大						皆 ;	或 糸	富 小		現状維持	拡	大
(ACTIO	は 改革・改	区・自治 福祉推進 の作成と	[委員	を中心	制の豊	備。			り組みや		i 性 あいマ	゚ップ	福	祉推		員を		の整備	,			の 方 組みや支 え	向 性 あい	
) Z)	善策																							
最組	佟評	価年月日	3	平成30	年5月1	8日	最 終	· 評(西 責 任	者		ē	西部	保保	建福祉	Ŀサー	ビスセ	ンター長			斎	藤	明	美

事	務事業名	地域福祉行	動計	画推進の	支援事	業					事業期間	平成	25	~		年度	整理番号	04060103
担	1 当部署	健康福祉部			中部保健	き福祉サー	-ビスセ	ンター	地域福祉	止推進係	作成担当	者名	寺	鳥	範	和	連絡先	82-0107
						政	策	01	第1章	お互いに支えあ	い、その。	166	く暮ら	せる	まち	づくり		
	市民	プランに	۱.	Th 1/1	4 5	施	策	01	第1節	福祉21ビーナ	スプラン	(地域社	冨祉) 0	り推済	隹			

JE -	<u> П</u>	ъ	医冰油证印				MP PINE	E181E.7			-	田江山			IF风担日	П.П	- 1	0	4 6	TH	~	とかけっし	02	0107
								政	策	01	第11	章 ま	3互いに	支えあい	ハ、その。	人らし	く暮り	せる	まちご	さくり				
	市	民 :	プランに	有	πh	策 体		施	策	01	第11	市 福	祉21	ピーナ	スプラン	(地域	福祉)	の推進						
	おり	ナる	位置づけ	17	以	東 14	・木	細力	拖 策	09	地域	富祉行	動計画	推進の	支援									
								事務	事業	03	_													
計	予	算	事 業 名													会計	コート	001	款	03	項	01 目	08 事	業 04
															地域コミ		ティで	の地域	福祉の	の取締	且みる	重要	課題と	して位
	事系	务 事	業の概要												地区は各 れ、各地		又 . 白	治会な	リで目	TV LJ 🕸	日主人	1.71.	3 .	
画	(簡)	潔にオ	っかりやすく)							上が必要			XIII	****	100 110								•	
					<u> </u>																			
			と 背 景	身i す。		」域で	の福	祉活動	の展開	用を図る	うため	、地	X, X	・自治会	などでの	福祉和	舌動を	活発に	し、	継続し	してし	ハくこ	とが必	要で
	(۔ ٽے	うして)	9 0																				
			受 益 者	全ī	「民																			
	目	対	(誰のために)	Jale Je	* _ +		41.25	*		, 7 ED A	- 14 /00	1 /4	ub 157 —		. 12 AL LA	=# <u> </u>	ab rate 440	4ıL d ır △	Lile E	744.2	<u> </u>	L 基力 金輪 .	<u> </u>	÷24
		象	対 象		まど)	で価	征活	別で行	ו) כו	r 回 P	アイン個	X ()	맨스그	ミューナ	ィ運営協	護云1	建原 倫	化市云	, PU	△竹丁ラ	宝1曲1	止肠 課	云、区	• 日石
Р			(直接働きかける)																					
			辛 図			収組	んで	いる福	祉活	めが、ヨ	E体的	· 計i	画的に	行われる	ようにな	9、』	}近な	地域で	の見る	守り・	・支え	さ合い	の仕組む	みが充
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	美	ける。																			
١, ١	J			市人	と社会	福祉	協議	会の職	■が.	地域本	副补行	動計	画の推	准を支援	するチー	・ムを	養成し	ました	。各	地区、	又 ·	· 白治·	会など	との窓
L														ていく。						,	_			
			· 方法																					
	(6	どう	やって)																					
Α																								
			 行政活動の約	注里	からっ	26	ーだす	+. MI	+何?	指	標	名	称	単 位	算出方	注 .章	+ 質 式	• 日 堙	値 設	定の	孝 ラ・	古たど	是级	日煙値
		:=					•		- ' '			111	744		开山刀	/A D	一开八	□ 1 <i>π</i>	世 叹.	Æ 07.	77.	/J /& C	月又小く「	
N	雪亚	活動	地区での実施	浅に	係る	会議、	行事	等へ	の出席	年出席	「回数													12
	評価	指	区・自治会	での	実践!	に係る	会訓	、行	事等へ	年出席	阿数													13
	指	標	の出席							T 144/11				+ -									+-	
	標の																							
	の作	ct:	成果		効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	†算式	・目標	値設:	定の	考え	方など	最終	目標値
	成	成果	#1日本の記	#I A	do 04					cb 08 /4	- 484-			14	cto ttr //L 1	****								2
		指	地区での計画				. 10.00		- 144.74	実践作	蚁			件	実施件	X							\perp	3
			区・自治会・	での	地域	福祉の	推進	基体制 (の構築	構築数	t			%	構築数·	÷区域	内区	自治	会数×	100				100
			及び維持												1									

	項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
		(a)	円					
		金	円					
	₁ã │ 県 支 出	金	円					
	地 万	債	円					
	一ての他特定別	源	円					
	/// //	源	円	0.00	^ ^^	0.00	A 20	0.00
Will.		員	ᄉ	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30
	属 託 職	員員	수					
	数 合	計	人	0. 30	0, 30	0. 30	0, 30	0, 30
状		数		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
-		(b)						
		(b)	円	_	_	_	_	_
況	受 益 者 負 担	額	円					
	市民一人当たりのコス		円	_	_	•	_	41. 00
		目標	•	12	12	12	12	12
		実績		28	12	12	12	12
$\widehat{}$	活	達成率	%	233. 33	100.00	100.00	100.00	100.00
	動人中	目標		18	18	13	13	13
:		実績達成率	%	18 100, 00	13 72, 22	13 100, 00	13 100, 00	100, 00
D	標	目標	9/0	100.00	12. 22	100.00	100.00	100.00
		実績	_					
		達成率	%	_	_	_	_	_
o		目標		3	3	3	3	3
	成 実践件数	実績	件	3	3	3	3	3
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指	目標	%	100	100	100	100	100
	標 構築数	実績		100	100	100	100	100
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	備 ・平成28年4月、活動指植た。	果の「 [区・自	治会での実践に係る	会議等への出席」の	「目標値」を、区・自	自治会の実数から、18	から13に変更し

担当普		地域福	祉行動計	画推進	፟፟の支撑	爰事業							事	業期間	平原	戈 25	~		年度	₹ 整理番	号 040	60103
	部署	健康福	祉部		中部	保健福祉	<u>ま</u> サービ	スセンター	地域和	冨祉推進	係		作月	或担当 有	皆名	寺	島	範	和	連絡先	82-	0107
期	1		E	= 標						実	編	į							課	題		
第	i iii ix	での宝	践に係る			H. BOSE		ちの地		10												
四 1								米沢地	区	10						地域福	祉行	動計画	画推進・	への支援の	充実	
期	ちの:	地区1回	回、米沢地	2区1回	』、中大	て塩地区	区1回	中大塩	地区	1 🗓												
半第	E MINE	での宝	践に係る:					ちの地		10												
2								米沢地	区	10						地域福	祉行	動計画	画推進・	への支援の	充実	
期] ちの:	地区1回	回、米沢地	図1回	』、中大	で塩地図	区1回	中大塩	地区	1 🗓												
期一第	i iii ix	での宝	践に係る			H. BORE		ちの地		10												
3								米沢地	区	1 🗓						地域福	祉行	動計画	画推進·	への支援の	充実	
ご期] ちの:	地区1回	回、米沢地	2区1回	小中大	で塩地図	₹1回	中大塩	地区	10												
第	地区	での実	践に係る:	会議等		H.摩		ちの地		10												
4 ع								米沢地	区	1 🗓						地域福	祉行	動計画	画推進·	への支援の	充実	
期	50	地区门	回、米沢地	<u> </u>	1、中ス	(温地)	太 1回	中大塩	地区	1 🗓												
o									事	中	ř	F	価									
当	年度開	引始後、	約6ヶ人	月が経	過し、	新たし	こ生じ	た問題点	はや環境	きの変化	今	成	拡	充			(2		⑤	7	
管											後	果の	現料	犬維持			(3		⑥ レ	9	
											の	方	縮	小			(4		8	10	
	3	新年度	の実施計	画・-	予算要	夏求事:	項(改	革・改	善策)		方	向 性		廃止	<u>.</u>	D						
里 —											向	1-	F1*		$\overline{}$		減	炉	ds	IE小卡然士	- +rt-	
															1	_		縮	小 投 入	現状維持 、 の ・ 方		
											性						ス	<u>۲</u>	仅 八	. 0)).	向	性
	評価年	年度	뵐	当年度		1																
	視点	ā	妥	当	ı	性		有	効	性	:		交	力	率	1	ŧ		総合	今 評 (西判	定
*	価の観		1 2	3	4	判员	Ē 1	2	3	4	判定		1	2	3	4	判员	Ē		Α		
Ŧ	チェッ	•	DA 15 leb de		1.546.7.	4	1 7 11		5 1/4 A d		4		54h / L .			E / 3/1	4	_	ΙΔ . 3	計画どおり	市 类 ナ 	И. Z
	る。	さの美また、	践や情報 地区で構	楽した	は進ん と体制に	が維持	される	ように	ョ冲云で 見守る』	シ要があ	夫成る。	い息	部以刊	八二里点	れで	1 (必)	安かる) 記 号	: :	とが適当		
課	Ę																	σ.		事業の進め 事業規模・		
																		定業		の見直しが 事業の統合		il-m
題	1																	Ľ	ì	討が必要		
С																		_ <u> -</u> "		総合評価半 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		A 06010
										**			4m			-					後	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
		細	旃	ī	笛		評	価		All			2011		麻		步		#	100		
H 総	支援	細 チーム	施 が構成さ		策 予地区7		評 地域福	仙に関す		前 flみが活				が構成			策 区な		評 也域福祉	<u>価</u> 业に関する		が活
総	にな	チーム ってき	が構成さ ている。	れ、名	予地区 7	などの	地域福	祉に関す	する取組	且みが活	Į:	なっ	・一ム	が構成 ている。	され 。	、各地	区な	どのは	地域福祉	止に関する	取組み	
総 E 合	にな	チーム ってき	が構成さ	れ、名	予地区 7	などの	地域福	祉に関す	する取組	且みが活	Į:	なっ	・一ム	が構成 ている。	され 。	、各地	区な	どのは	地域福祉		取組み	
総 E 合 C	に区・	チーム ってき	が構成さ ている。	れ、名	予地区 7	などの	地域福	祉に関す	する取組	且みが活	Į:	なっ	・一ム	が構成 ている。	され 。	、各地	区な	どのは	地域福祉	止に関する	取組み	
総 E C F K	に区・	チーム ってき	が構成さ ている。	れ、名	予地区 7	などの	地域福	祉に関す	する取組	且みが活	Į:	なっ	・一ム	が構成 ている。	され 。	、各地	区な	どのは	地域福祉	止に関する	取組み	
総 E 合 E	に 区 E	チーム ってき	が構成さ ている。 などへの	れ、名)取組み	予地区 7	などの えてい	地域福	祉に関す が必要と	する取組	且みが活	[S	なっ	テーム	が構成 ている。	され 。 の取	、各地組みを	区な考え	どの地	地域福祉	业に関する が必要とな	取組み	
能 合 評 価 	に区・前	チーム ってき 自治会	が構成さ ている。 などへの	れ、名 取組み ・ 改	外を考え	などの えてい _{策の}	地域福くこと	₩に関す	する取締となって	祖みが活	[S	なっ	テーム	が構成 ている。 などへ 施策	され 。 の取	、各地 組みを fiにお	区な考え	どの ^地 ていく う 今 行	地域福祉	业に関する が必要とな	取組み	
E C K)改革	に区・前	チームき 自治 年	が構成さ。 などへの 改 革 施	れ、名 取組み ・ 改	各地区が 分を考え 善 第	などの えてい	地域福くこと 実施	状況	する取組となって	祖みが活 ている。 <u>施済</u>	C	が年	度細	が構成 てなどへ 施 策	され。 の取 評価	、各地 組みを fiにお	区な 考え	どの ^地 ていく う 今 行	地域福 社 くことが	北に関するが必要とな	の取組み	
E C K)改革・総合評価 今後	に区前	チっ自 年 細 拡	が構成さ。 の 改 革 た	れ、名 取組み ・ 改	各地区が 分を考え 善 第	などのえてい 変の ②	地域福くこと 実施	状況 「価	する取組となって	直みが活 ている。 施済		な・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	度細拡	が構成る。施策	され。 の取 評価	、各地 組みを fiにお	区な 考え	どの ^地 ていく う 今 行	地域福 社 くことが	北に関するが必要とな	の取組み	
E C K)改革・総合評価 今後	に区前成果の	チっ自 年 細 班	が構成さ。の 改革 旅 充 状維持	れ、名 取組み ・ 改	各地区が 分を考え 善 第	などの えてい	地域福くこと 実施	世に関す が必要と 状況 価 ⑤	する取組となって	且みが活 にいる。 <u>施 済</u> 前 ⑦	「	な・年の成果の	度細拡現	が構成るへんを集	され。 の取 評価	、各地 組みを fiにお	区な 考え	どの ^地 ていく う 今 行	地域福 社 くことが	北に関するが必要とな	の取組み	
E C K)改革・改善の総合評価 今後の方	(に区 前 成果の方向	チっ自 年 細 拡	が構成さ。 の 改 革 た	れ、名 取組み ・ 改	各地区が 分を考え 善 第	などのえてい 変の ②	地域福くこと 実施	状況 「価	する取組となって	直みが活 ている。 施済	[C] [2]	な・	度細拡	が構成る。施策	され。 の取 評価	、各地 組みを fiにお	区な 考え	どの ^地 ていく う 今 行	地域福 社 くことが	北に関するが必要とな	の取組み	
E C K 改革・改善の方線 合評価 今後の方点	(に区 前 成果の方向性	チっ自 年 細 拡 現 編 振 現	が構成さ。の 改革 旅 充 状維持	・ 改 E	各地区が 分を考え 善 第	などの えてい ま の ② ③	地域福くこと 実施	世に関す が必要と 状況 価 ⑤	する取組となって 実	祖みが活 にいる。 <u>施 済</u> 前 ⑦	[C] [2]	な・「年」「成果の方	・ 大一て治会 細 拡 現 縮	が構成るへんを集	さ。 の 評 施	、各地 組みを fi (こ お	区な 考え	どの ^は ていく う 今 行	地域福 社 くことが	正に関するが必要となった。 で向性した。 位面	(取組み) (つてい) 後	
を C K) 改革・改善の方向は総合評価 一今後の方向	(に区 前 成果の方向性	チっ自 年 細 拡 現 編 振 現	が構成さっのの など 本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ 改 E	外を考え	などの えてい (全) (3) (4) (4)	地域福くことを	状況 価 ⑤ ③	する取 *** となって *** となって ***	植 済 前 ⑦	(三)	な・	・ 大一て治会 細 拡 現 縮	が構成る。施策	さ。 の 評 施	、各地 組みを <u>「にお</u>	I	どの ^均 ていく う <u>今</u> 名 編	と 数 の 方	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	取組み つてい 後	る。
を C K) 改革・改善の方向性(・総合評価	に区前成果の方向性	年 細 振 山て治 度 銀 振 様	が行など 改 本 大 本 大 本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・改・改「「」」	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	な え て い の 3 編 ト	地域福と	状 価 (5) (6) (8) ス	する取 *** となって *** となって ***	祖みが活 にいる。 <u>施 済</u> 前 ⑦		な・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	度細拡現縮休	が作成るへ	さ。 の 評 施	、各地 組みを 皆 コ	区 考	どの ^均 ていく 縮 ト	地域福祉 とな の 方	・ では、	取組み つてい 後	る。
E C K) 改革・改善の方向性(A 総 合 評 価 / 今後の方向性 改	(に区 前 成果の方向性 区と	チっ自 年 細 拡 現 縮 休 会、 自え	がでな 改 本 株 小 止 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	れ、名 ひ 取組み ・ 改 近 進体	りを考 第 策 ぶ ストロード では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	な え て の ② ③ ④ 縮トて地	地域福と	世に関する 状 (5) (6) (8) (8) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	する取れて、実し、ののでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	施済 前 ⑦	は、「は、「は、」では、「は、」は、は、は、は、	な・ 有 成果の方向性 信え	たってお 度 細 拡 現 縮 休 会、	がでなどを施り、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは	さ。の評価を推進を	、 組 に	I	どの は く く く く に な に な に な に な に な に な に な に な	地域福祉とは、多字の力を対していただ。	・ では、	取組み つてい 後 拡 怕	る。
E C K) 改革・改善の方向性(ACT総合評価 合後の方向性 改革・	(に区 前 成果の方向性 区と	チっ自 年 細 拡 現 縮 休 会、 自え	がてな 改	れ、名 ひ 取組み ・ 改 近 進体	りを考 第 策 ぶ ストロード では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	な え て の ② ③ ④ 縮トて地	地域福と	世に関する 状 (5) (6) (8) (8) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	する取れて、実し、ののでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	施済 前 ⑦	は、「は、「は、」では、「は、」は、は、は、は、	な・ 有 成果の方向性 信え	たってお 度 細 拡 現 縮 休 会、	が作れる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	さ。の評価を推進を	、 組 に	I	どの は く く く く に な に な に な に な に な に な に な に な	地域福祉とは、多字の力を対していただ。	・ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	取組み つてい 後 拡 怕	る。
B C K) 改革・改善の方向性(ACTIO 合 評 価 / 今 後 の 方 向 性 改革・改	(CIN 前 成果の方向性 NEたい	チっ自 年 細 拡 現 縮 休 会、 自え	がでな 改 本 株 小 止 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	れ、名 ひ 取組み ・ 改 近 進体 変 過	りを考 第 策 ぶ ストロード では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	な え て の ② ③ ④ 縮トて地	地域福と	世に関する 状 (5) (6) (8) (8) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	する取れて、実し、ののでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	施済 前 ⑦	は、「は、「は、」では、「は、」は、は、は、は、	な・ 有 成果の方向性 信え	たってお 度 細 拡 現 縮 休 会、	がでなどを施り、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは	さ。の評価を推進を	、 組 に	I	どの は く く く く に な に な に な に な に な に な に な に な	地域福祉とは、多字の力を対していただ。	・ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	取組み つてい 後 拡 怕	る。
E C K) 改革・改善の方向性(ACTION総合評価 一 今後の方向性 改革・改善	(に区 前 成果の方向性 区たい	チっ自 年 細 拡 現 縮 休 会、 自え	がでな 改 本 株 小 止 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	れ、名 ひ 取組み ・ 改 近 進体 変 過	りを考 第 策 ぶ ストロード では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	な え て の ② ③ ④ 縮トて地	地域福と	世に関する 状 (5) (6) (8) (8) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	する取れて、実し、ののでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	施済 前 ⑦	は、「は、「は、」では、「は、」は、は、は、は、	な・ 有 成果の方向性 信え	たってお 度 細 拡 現 縮 休 会、	がでなどを施り、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは	さ。の評価を推進を	、 組 に	I	どの は く く く く に な に な に な に な に な に な に な に な	地域福祉とは、多字の力を対していただ。	・ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	取組み つてい 後 拡 怕	る。
こう くう 女童・女子の方句生(みごうこう総合 評価 一今後の方向性 改革・改善	(に区 前 成果の方向性 区たい	チっ自 年 細 拡 現 縮 休 会、 自え	がでな 改 本 株 小 止 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	れ、名 ひ 取組み ・ 改 近 進体 変 過	りを考 第 策 ぶ ストロード では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	な え て の ② ③ ④ 縮トて地	地域福と	世に関する 状 (5) (6) (8) (8) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	する取れて、実し、ののでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	施済 前 ⑦	は、「は、「は、」では、「は、」は、は、は、は、	な・ 有 成果の方向性 信え	たってお 度 細 拡 現 縮 休 会、	がでなどを施り、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは、一角をは	さ。の評価を推進を	、 組 に	I	どの は く く く く に な に な に な に な に な に な に な に な	地域福祉とは、多字の力を対していただ。	・ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	取組み つてい 後 拡 怕	る。

行政活動の結果からつくりだすものは何?

成果・効果は何?

区・自治会での地域福祉の推進体制の構築 構築数

地区での実践に係る会議の開催

区・自治会での実践に係る会議の開催

力動指標

成果指標

評価指標の作成

算出方法・計算式・目標値設定の考え方など最終目標値

算出方法・計算式・目標値設定の考え方など最終目標値

全ての区・自治会での会議の開催

構築数÷市内区・自治会数×100

15

90

100

事務事業名 地域福祉行	助計画推進の支援事業	事業期間 平成 25 ~ 年度 整理番号 04070103
担当部署 健康福祉部	北部保護福祉サービスセンター 地域福祉推進係	作成担当者名 清 水 昌 夫 連絡先 77-3000
事務事業の概要	病 施 策 01 第1節 福祉21ビー 細施策 09 地域福祉行動計画推進 事務事業 01 地域福祉行動計画推進 地域福祉行動計画推進 福祉21ビーナスプラン推進事業 第2次福祉21ビーナスプラン(茅野市地域福祉計画)によ位置づけ、地域での地域福祉の推進を図るために、それぞれ 平成22年度にはすべての地区(ちの地区は各行政区)で	
(2766)	ています。 第2次福祉21ビーナスプランの大きな柱である、より身近 治会での福祉活動を活性化させ、継続させていくことが必要 全市民	丘な地域での地域福祉の展開を図るためには、地区や行政区・自 長であるから。
日 対 (誰のために) 対 象 (直接働きかける)	区・自治会)	コミュニティ運営協議会健康福祉部会、地区社会福祉協議会、
的意図(どんな状態にしたいか)	くみができること。 - 市(保健福祉サービスセンター・地区コミュニティセンター 動計画推進を支援するチームを構成した。今後は保健福祉サ	- 推進されるようになり、身近な地域での見守り・支えめいのし マー・地域福祉推進課)と社会福祉協議会の職員が、地域福祉行 ナービスセンターが中心となり、地域が進めていく行動計画の実
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	践について窓口となって、チームとして支援をしていく。	

称

単 位

単 位

指標 名

年地区開催回数

年開催回数

指 標

名 称

	項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	事業費等	(a)	円					
貝	∤ 国庫支出	金	円					
実源	: 県 支 出	金	田					
<i>///</i>	. 地 力	債	円					
	一ての他特定別	源	円					
訓	//X X/)	源	円					
施崩	_t 正規職	員	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
į.	. │ 嘱 託 職	員	人					
	. 端 時 戦	員	人					
状	-	計	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
	対象(者)	数						
	延利用(者)数	(b)	_					
	単位コスト (a)/	(b)	円	_	_	_	_	_
況	受益者負担	額	円					07.00
_	市民一人当たりのコス		円					27. 00 15
	年地区開催回数	目標 実績		15	15	15	15	15
_		達成率	%	100, 00	100, 00	100.00	100, 00	100.00
沿	ā 	目標	70	90	90	90	90	90
重指	年開催回数	実績		48	22	45	45	90
指		達成率	%	53, 33	24. 44	50, 00	50.00	100.00
D 根	Ę	目標		00.00	21. 11	00.00	00.00	100.00
	_	実績	_					
		達成率	%	_	_	_	_	_
0		目標	07	100	100	100	100	100
月	付 構築数	実績	%	100	100	100	100	100
牙	Į	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
· 排	i	目標						
桿	Ę 	実績						
		達成率	%	_	_	_	_	_
俳	<u> </u>							
考	5							

. +0 :	当 部	表名 地域1	百分し立の		내는 속인	旧林福祉业	12-1-1	طلق ط	おおかまかし	# 1# 1	7		争耒朔区	_	200	-4-	=	_	'击 4	¥	77	2000
担:	当部	者性原作	冨祉部		ᄯᄚ	保健福祉サ	ーヒスセ	ンター 地	域福祉:	推進	术	1	作成担当	自有名	清	水		夫	建和	格先	11	-3000
	期			目標						実	績							課	題			
	第	地域で行	われる会議	へ の出	度(道	点-健康料	富祉 - 法	湖東地区	6 💷							祉行	動計画	につい	て運	劦健康	福祉	部会等
匹	1		会・地区₹		MI CALL	IND DEME		比山地区							0							
	期														活動推	進						
半	第	地域で行	われる会議	~ の#	度(遭	点・健康な	교체 • 첫	湖東地区	6 💷							祉行	動計画	につい	て運	劦健康	福祉	部会等
	2		会・地区社		MI CALL	IND DEME		比山地区							0							
	期														活動推	進						
期	Arte.																					
	第	地域で行	われる会議	への出	席(運	点・健康ギ	富祉・治	胡東地区	6 💷							祉行	動計画	につい	て運	劦健康	福祉	部会等
	3	部会·区县	会·地区社	t協等)				比山地区							の 活動推	± >#=						
'n	期														/D 3011							
	第														tota tank de	-41 4-						do A Arte
	寿	地域で行	われる会議	への出	席(運	協・健康社	富祉 ・治	胡東地区	5 💷						地域作	础行	動計画	につい	て連	汤健 康	備祉	部会等
۲	期	部会・区長	会·地区社	t協等)			- : :	比山地区	4 🖪						活動推	ŧ-#						
	栁														7113011							
								7	事	中	評	祖	<u> </u>									
Ø	当生	丰度開始後	、約6ヶ	月が経	過し、	新たに生	主じた間	引題点や3	環境の変	変化	^	成力	広 5	充		- 1	2	(5)		7	
	なし											果	Д ,	,,,			€⁄		<u> </u>		w.	
管												$\hat{\sigma}^{}$	見状維持	诗		(3	(6	レ	9	
=											စ	方 糸	宿	ds		/	A	(<u> </u>		10	
						- 15					0)	向	1번 /	<u>را</u> ر		(4)	(8		W	
理			度の実施語	計画・	予算要	求事項	(改革	・改善策	₹)		方	性(木廃」	止 (D							
-	継続	して実施す	する。								向				皆	減	炉	小	IE 小下 名	k# +±	+r÷	
													/				縮		現状紀		拡	
											性				⊐	ス	ト 投	人	の	方	向	性
						1																
	ļiid	评価年度		当年度																		
	裑	. 点	妥	当	'	生	:	有	効	性			効	率	1	生	糸	窓 合	評	価	判	定
	評価	面の観点	1 2	3	4	判定	1	2	3 4	. <u>}</u>	判定	1	2	3	4	判员	2					
評		ェック				4					4					4	_			Α		
			ち 味 み 棒虫	0 -/- 46. (-	- 14 / -	_	7 48 5	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u> </u>	do 042 .	-	车₩ ♂ 1.	1 + 14 4	-11	/ - L	-	_	Λ · ≣-	ᄪᅜ	51.1 重	要えど	≛めるこ
		地区での	実践や情報 悪がある	以文揆 [6	ル進ん	ce co.	るか、▶	ひ・日泊	云での	夫歧'	~ WJ	思 細変・ノド	ナヤ1座の	ノしい	< _ <	一里点	1 記				* C I	エのっつこ
Proc.																		ح ا	:が適き	=		
4000				基体制 σ	整備を	を進めて	いくこと	とが必要	•								号	B:事	業の資	進め方		きが必要
価		区・自治		基体制の	整備で	を進めて	いくこと	とが必要	•								号 の	B:事 C:事	業業の選業規格	進め方 莫・内	容・身	ら ●が必要 ●施主体
価(生体制の	整備で	生進めて	いくこと	とが必要	•								号	B:事 C:事	業業の選 業規模)見直し	進め方 莫・内 しが必	容・ 要	尾施主体
価(生体制 σ	整備を	を進めて	いくこと	とが 必要	•								号の定義	B:事 C:事 D:事	事業の近 業規根 り見直し 事業の終 すが必要	進め方 莫・内 しが必 流合、	容・3 要 休・身	
値 (0	課			生体制の	整備を	を進めて(いくこと	とが必要	•								号の定義	B:事 C:事 D:事	事業の近 業規根 り見直し 事業の終 すが必要	進め方 莫・内 しが必 流合、	容・3 要 休・身	尾施主体
)	課			连体制 σ	整備を	を進めてい	いくこと	とが必要	Ö								号の定義前	B:事 C:事 D:事	業業の選業規模 事業規模 の の の の の の に の 終 の に の に の に の に の に の	進め方内 め内 が合、 脚 に で で で で で で で で で で で で で で で で で に で に で に	容・多要休・原	€施主体 廃止の検
)	題	区・自治	会での推進		を備る 策	を進めてい		とが必要	前			A		施			号の定義前	B:事 C:事 D:事 年度総 度評価	業業の選業規模 事業規模 の の の の の の に の 終 の に の に の に の に の に の	進め方内 め内 が合、 脚 に で で で で で で で で で で で で で で で で で に で に で に	容・多要休・原	€施主体 廃止の検
т о т	課題	区・自治	会での推進	色	策	評	i	価	前			A					号の定義前前年	B:事 C:事 D:事 年度 定	業業の設 関果では は は は は は は は は は い は い は い は い は い う に う に う に う い う に う し う し う し う し う し う し う し う し う し	進漢し流要 一 整 世	容要休 号後	ミ施主体 廃止の検 A
(0	課題総	区・自治: 推進支援: 推進支援:	会での推進 日 方 チームが 横 ている。	を	策し、各均	評也区での	i 地域福祉	価趾に関す	前る動き	が活き	発 推	進支援してき	田 チーム; ている。	が構成	され、	各地	号の定義前が	B:事の事意総 年度評価 は 域福	業業規制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	性質し流要 画 整 関 す	容要休・号後き	ミ施主体 発止の検 A
(ст ш	課題総合	区・自治 権進して支援 推化この支援	会での推進 田	を	策し、各均	評也区での	i 地域福祉	価趾に関す	前る動き	が活き	発化に	進支援き援き援き	田 チーム; チーム:	が構成 。 を中心	され、	各地	号の定義前が	B:事の事意総 年度評価 は 域福	業業規制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	性質し流要 画 整 関 す	容要休・号後き	ミ施主体 発止の検 A
т о т	課 題 総 合	区・自治: 推進支援: 推進支援:	会での推進 田	を	策し、各均	評也区での	i 地域福祉	価趾に関す	前る動き	が活き	発化に	進支援してき	田 チーム; チーム:	が構成 。 を中心	され、	各地	号の定義前が	B:事の事意総 年度評価 は 域福	業業規制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	性質し流要 画 整 関 す	容要休・号後き	ミ施主体 発止の検 A
(с н ш с	課題総合	区・自治 権進して支援 推化この支援	会での推進 田	を	策し、各均	評也区での	i 地域福祉	価趾に関す	前る動き	が活き	発化に	進支援き援き援き	田 チーム; チーム:	が構成 。 を中心	され、	各地	号の定義前が	B:事の事意総 年度評価 は 域福	業業規制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	性質し流要 画 整 関 す	容要休・号後き	ミ施主体 発止の検 A
(ст ш	課題総合評	区・自治 権進して支援 推化この支援	会での推進 田	を	策し、各均	評也区での	i 地域福祉	価趾に関す	前る動き	が活き	発化に	進支援き援き援き	田 チーム; チーム:	が構成 。 を中心	され、	各地	号の定義前が	B:事の事意総 年度評価 は 域福	業業規制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	性質し流要 画 整 関 す	容要休・号後き	ミ施主体 発止の検 A
(с н ш с	課 題 総 合	区・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	会での推進 チームが チームる。 チースを ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を 構成され 中心に、	策 ル、各 ⁵ 地域で	評 他区でのi での推進・	i 地域福祉 への戦闘	価 吐に関す 格を考え	前 る動き; ていく	が活うことが	発化こ必	維支ででは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	町 チーム; そいる。 チーム; います。	が構成。 を中心。	され、	各地	号の定義 前の定義 がなでのが なでのが の推進	B:東事の事言総価 年度評価 での事言に での事言に での事言に での事言に での事言に できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	事業の規模を 対理を 対理を 対理を 対理を 対理を 対理を 対理を が必証を が必証を が必証を が必証を が必証を が必証を が必証を が必証を が必述を が必述を が必述を が必述を が必述を が必述を が必述を がなると がなる がなると がなる がなると がなると がなると がなると がなると がなると がなると がなると がなると がなると を がなと がなと がなと がなと を がなと がなと を がなと がなと がなと を がなと がな	生尊し琉要 画 整 関 考 方内必、定番 で る て	容要休・号後き	ミ施主体 発止の検 A
(ст ш ск)	課題総合評	区・自治 権進して支援 推化この支援	会での 推 チーン かが が チント チント チント チント チント チント チント チント チント チント	を 構成され 中心に、	策 ル、各 ⁵ 地域で	評也区での	i 地域福祉 への戦闘	価 吐に関す 格を考え	前る動き	が活うことが	発化こ必	進支援き援き援き	町 チーム; そいる。 チーム; います。	が構成。 を中心。	され、	各地	号の定義 前の定義 がなでのが なでのが の推進	B:東事の事言総価 年度評価 での事言に での事言に での事言に での事言に での事言に できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	事業の規模を 対理を 対理を 対理を 対理を 対理を 対理を 対理を が必許で はいる。 といる。 はい。 はいる。 とい。 と。 は、 は、 と。 は、 は、 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	生尊し琉要 画 整 関 考 方内必、定番 で る て	容要休・号後き	ミ施主体 発止の検 A
(ст ш ск)	課題 総合評価	区・自治 推進しの要 支て支援思	会での推進 H	を 構成され 中心に、	策 ル、各 ⁵ 地域で	評 他区でのi での推進・	i 地域福祉 への戦闘 施 状	価 吐に関す 格を考え	前 る動き; ていく	が活うことが	発化こ必	維支ででは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	# チーム; チーム; チーム; います。	が構成。 を中心。	され、地面にお	各地	号の定義 前の定義 がなでのが なでのが の推進	B: 事事の事言総価 年度評価 での での の の の の の の の の の の の の の の の の	事業の規模を 対理を 対理を 対理を 対理を 対理を 対理を 対理を が必許で はいる。 といる。 はい。 はいる。 とい。 と。 は、 は、 と。 は、 は、 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	生尊し琉要 画 整 関 考 方内必、定番 で る て	容要休・号後き	ミ施主体 発止の検 A
(с н ш с	課題総合評価 今	性 推進しの要 前 報	会での推進 かがく かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょ	を 構成され 中心に、	策 い、各 地域で	評の推進	地域福祉への戦闘	価 吐に関す 格を考え ・ 況	前 る動き ていく 東 施	が活うことが	発化に必	制援き援思 度 和	田 チームン チームる。 チーム ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が構成を中心を評価	され、地面にお	各地 2域で() () ける	号の定義 前 前年 評 での が 推進 今 後	B: 事事の事言総価 年度評価 での での の の の の の の の の の の の の の の の の	事業見の規則である。 事業見の規則である。 事業見のの理解である。 を表現している。 は、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本ので	生尊し琉要 画 整 関 考 方内必、定番 で る て	容要休 , 号 後 き いく	ミ施主体 発止の検 A
. (C H E C K) 改革·	課題 総合評価	推作の要 前 成果	会での推進 サールが。 サールののよう。 サールののよう。 サールののよう。 サールののよう。 カールののから。 カールののから。 カールのののから。 カールのののから。 カールののののののから。 カールのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	を 構成され 中心に、	策 い、各 地域で	での推進 での推進 での実	地域福祉への戦闘を拡大している。	価 业に関す 格を考え ・ 況 ・ ・ ・	前 る動き; ていく。 実 施 前	が活うことが	発権化こ必	糸援き援思 度 糸 ボル	田 チーム。 そでチいーム。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が構成を中心を評価	され、地面にお	各地 2域で() () ける	号の定義 前 前年 評 での が 推進 今 後	B: 事事の事言総価 年度評価 での での の の の の の の の の の の の の の の の の	事業見の規則である。 事業見の規則である。 事業見のの理解である。 を表現している。 は、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本ので	生尊し琉要 画 整 関 考 方内必、定番 で る て	容要休 , 号 後 き いく	ミ施主体 発止の検 A
· (C H E C K) 改革·改	課題総合評価 今後	推作の要 前 成果	会での推進 かがく かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょ	を 構成され 中心に、	策 い、各 地域で	評の推進	地域福祉への戦闘	価 业に関す 格を考え ・ 況 ・ ・ ・	前 る動き ていく 東 施	が活うことが	発権化こ必	糸援き援思 度 糸 ボル	田 チームン チームる。 チーム ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が構成を中心を評価	され、地面にお	各地 2域で() () ける	号の定義 前 前年 評 での が 推進 今 後	B: 事事の事言総価 年度評価 での での の の の の の の の の の の の の の の の の	事業見の規則である。 事業見の規則である。 事業見のの理解である。 を表現している。 は、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本ので	生 受し 成要 西 整 関 考	容要休 , 号 後 き いく	ミ施主体 発止の検 A
(C H E C K) 改革・改善	課題総合評価今後の	推化こ必 推化こ必 前 成果の支援思	会での サイン	を 構成され 中心に、	策 い、各 地域で	評の推進をの推進をでの推進をでの推進をできます。 実際できまる ままま こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう ままま こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう まままま こうしゅう こう こうしゅう こう こうしゅう こうしゅう こう こうしゅう こう こうしゅう こう	i 地域福祉 への戦闘 施 状 [価 吐に関す 格を考え ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	前 る動き ていく 前 ⑦ ⑨	が活うことが	能 推化こ必 前	糸援き援思 度	田 チでチいるム: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が構成を中心を評価を持ち	され、地面にお	各地 2域で() () ける	号の定義 前 前年 評 での が 推進 今 後	B: 事事の事言総価 年度評価 での での の の の の の の の の の の の の の の の の	事業 見業が合 シ 祉略 向 価	生 受し 成要 西 整 関 考	容要休 , 号 後 き いく	ミ施主体 発止の検 A
(C H E C K) 改革・改善	課題総合評価 今後	A	会での 推進 サイン・ サイン・ サイン・ サイン・ サイン・ サイン・ サイン・ サイン・	を 構成され 中心に、	策 い、各 地域で	での推進 での推進 での実	地域福祉への戦闘を拡大している。	価 吐に関す 格を考え ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	前 る動き; ていく。 実 施 前	が活うことが	発 化こ必 前	糸援き援思 度	田 デでチい 細 田 拡 現 状 維 オ	が構成を中心を評価を	され、地面にお	各地 2域で() () ける	号の定義 前 前年 評 での が 推進 今 後	B: 事事の事言総価 年度評価 での での の の の の の の の の の の の の の の の の	事業 見業が合 シ 祉略 向 価	生 受し 成要 西 整 関 考	容要休 , 号 後 き いく	ミ施主体 発止の検 A
(C H E C K) 改革・改善	課題 総合評価 今後の方	A	会での サイン	を 構成され 中心に、	策 い、各 地域で	評の推進をの推進をでの推進をでの推進をできます。 実際できまる ままま こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう ままま こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう まままま こうしゅう こう こうしゅう こう こうしゅう こうしゅう こう こうしゅう こう こうしゅう こう	i 地域福祉 への戦闘 施 状 [価 吐に関す 格を考え ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	前 る動き ていく 前 ⑦ ⑨	が活うことが	発 化こ必 前	糸援き援思 度	田 チでチいるム: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が構成を中心を評価を	され、地面にお	各地 2域で() () ける	号の定義 前 前年 評 での が 推進 今 後	B: 事事の事言総価 年度評価 での での の の の の の の の の の の の の の の の の	事業 見業が合 シ 祉略 向 価	生 受し 成要 西 整 関 考	容要休 , 号 後 き いく	ミ施主体 発止の検 A
(C H E C K) 改革・改善	課題総合評価 今後の方向	A	会での 推進 サイン・ サイン・ サイン・ サイン・ サイン・ サイン・ サイン・ サイン・	を ・ 改 を	策 い、各 地域で	評 を の 推進 で の 推進 で の 推進 ② 3 ④	i 地域福祉 への戦略 施 状 i	価 吐に関す 格を考え 価)) レ	前 る動き: ていく 前 ⑦ ⑨	が活うことが	発性化こ必 前 !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	糸援き援思 度	田 デでチい 細 田 拡 現 状 維 オ	が構成を中心を評価を持ち、	され、地面にお	各地 はずで() () ける	号の定義前部でのなる。	BC : 事事の	事業見業が合う 社略 向価 レ	生姜し疣要 画 整 関 考え・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	容要休 号 後 き く 後き	ミ施主体 発止の検 A
(C H E C K) 改革・改善の方向性	課題 総合評価 今後の方	A	会での 推進 サイン・ サイン・ サイン・ サイン・ サイン・ サイン・ サイン・ サイン・	を ・ 改 を	策 ル、各り 地域で	評 他区での推進 での推進 ② ③ ④	i 地域福祉 への戦略 施 状 i (6) (8)	価 吐に関す 格を考え ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	前 る動き: ていく 前 ⑦ ⑨	が活う	発性化こ必 前 !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	糸援き援思 度	田 デでチい 細 田 拡 現 状 維 オ	が構成を中心を評価を持ち、	皆	各地 はずで() () ける	号の定義前の部でのである。今日の定義が一部である。	BC : 事事の	事業見業が合シ 社 略 向 価 レ 現状彩	生姜し疣要面整 関考 まいます また はいから 判理 すって は 持 方内必、定番 て て は 持	容要休 , : 号 後 き いく	に A かん
(C H E C K) 改革・改善の方向性(課題総合評価 今後の方向性	推化こ必 前 成果の方向性 お提き援思 「	会	を 成され ・ 改 ・ 改	策し、各地域で	評 の推進を での推進を ② 3 4	i 地域福祉 への戦略 状 (5) (6) (8) 小 入	価型に関する格を考える ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前 る動き ていく 前 ⑦ ⑨ ・ 10	が活う ことな	推化こ必 前	進しの要 位 成果の方向性 が表される。 は果の方向性	田 チでチい 細 脚 拡 現 線 は 大 る よ に 一 ま も に し は り は り は に し は に に に に に に に に に に に に に	が。 *** *** *** *** *** *** *** *	され、地に、地	各地 () () () () () () () () () (号の定義前が一部のでは、一名のでは、一、一。	B C D 年度 地 へ の	事業見業が合シ 祉略 向 価 レ 現のの規模の必評 ト 価 に を 性 価	生姜し疣要面 整 関 考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	容要休 : 号 後 き く	関係主体検 A がことが 大
(C H E C K) 改革・改善の方向性	課 題 総合評価 今後の方向性改	A	会 日 チでチい 度 日 広 見 宿 木 チで かっと	を放されている。	策し、各域で 善策 策	評 さの推進 を の 実 評 ② ③ ④	地域福祉ないの戦略を対している。	価という。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前 る動き ていく 前 ⑦ ③ ・ 10 ・ 点動き	が活う。 ことが 法 !	推化こ必 前 りょくご 作化	雑提き援思 度 利 ボール 大変である。 ・選ぎ ・ <th>田 チでチい 細田 拡 現 縮 休 チで かい 一</th> <th>が構成心をなった。</th> <th>皆った。</th> <th>各地ではる。</th> <th>号の定義前が年での進名を発言されている。</th> <th>B C D 年度: 地 へ の : 小 と 地 へ の : 小 と 地 へ が</th> <th>事業見事が合シ 在本略 向</th> <th>性</th> <th>容要体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th> <th>関係 A が こ 生が活 大 発</th>	田 チでチい 細田 拡 現 縮 休 チで かい 一	が構成心をなった。	皆った。	各地ではる。	号の定義前が年での進名を発言されている。	B C D 年度: 地 へ の : 小 と 地 へ の : 小 と 地 へ が	事業見事が合シ 在本略 向	性	容要体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	関係 A が こ 生が活 大 発
(C H E C K) 改革・改善の方向性(A	課題総合評価 今後の方向性	推化こ必 前 成果の方向性 進しの要 自 支で支と 女で支と 指き援思 「 (現き援き援助した)	会 日 チでチい 度 日 広 児 宿 木 チでチャ で	を放されている。	策し、各域で 善策 策	評 さの推進 を の 実 評 ② ③ ④	地域福祉ないの戦略を対している。	価という。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前 る動き ていく 前 ⑦ ③ ・ 10 ・ 点動き	が活う。 ことが 法 !	推化こ必 前 / ! () : 「	進しの要 近 支て支と 年 機き援思 度 制 調 選を援	H	が、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり	皆った。	各地ではる。	号の定義前が年での進名を発言されている。	B C D 年度: 地 へ の : 小 と 地 へ の : 小 と 地 へ が	事業見事が合シ 在本略 向	性	容要体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	関係 A が こ 生が活 大 発
(C H E C K) 改革・改善の方向性(A C	課題総合評価 今後の方向性改革・	A	会 日 チでチい 度 日 広 児 宿 木 チでチャ で	を放されている。	策し、各域で 善策 策	評 さの推進 を の 実 評 ② ③ ④	地域福祉ないの戦略を対している。	価という。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前 る動き ていく 前 ⑦ ③ ・ 10 ・ 点動き	が活う。 ことが 法 !	推化こ必 前 / ! () : 「	雑提き援思 度 利 ボール 大変である。 ・選ぎ ・ <th>H</th> <th>が、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり</th> <th>皆った。</th> <th>各地ではる。</th> <th>号の定義前が年での進名を発言されている。</th> <th>B C D 年度: 地 へ の : 小 と 地 へ の : 小 と 地 へ が</th> <th>事業見事が合シ 在本略 向</th> <th>性</th> <th>容要体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th> <th>関係 A が こ 生が活 大 発</th>	H	が、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり	皆った。	各地ではる。	号の定義前が年での進名を発言されている。	B C D 年度: 地 へ の : 小 と 地 へ の : 小 と 地 へ が	事業見事が合シ 在本略 向	性	容要体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	関係 A が こ 生が活 大 発
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACT	課題総合評価 今後の方向性改革・改	推化こ必 前 成果の方向性 進しの要 自 支で支と 女で支と 指き援思 「 (現き援き援助した)	会 日 チでチい 度 日 広 児 宿 木 チでチャ で	を放されている。	策し、各域で 善策 策	評 さの推進 を の 実 評 ② ③ ④	地域福祉ないの戦略を対している。	価という。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前 る動き ていく 前 ⑦ ③ ・ 10 ・ 点動き	が活う。 ことが 法 !	推化こ必 前 / ! () : 「	進しの要 近 支て支と 年 機き援思 度 制 調 選を援	H	が、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり	皆った。	各地ではる。	号の定義前が年での進名を発言されている。	B C D 年度: 地 へ の : 小 と 地 へ の : 小 と 地 へ が	事業見事が合シ 在本略 向	性	容要体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	関係 A が こ 生が活 大 発
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	課題総合評価 今後の方向性 改革・改善	推化こ必 前 成果の方向性 進しの要 自 支で支と 女で支と 指き援思 「 (現き援き援助した)	会 日 チでチい 度 日 広 児 宿 木 チでチャ で	を放されている。	策し、各域で 善策 策	評 さの推進 を の 実 評 ② ③ ④	地域福祉ないの戦略を対している。	価という。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前 る動き ていく 前 ⑦ ③ ・ 加 向 あき	が活う。 ことが 法 !	推化こ必 前 / ! () : 「	進しの要 近 支て支と 年 機き援思 度 制 調 選を援	H	が、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり	皆った。	各地ではる。	号の定義前が年での進名を発言されている。	B C D 年度: 地 へ の : 小 と 地 へ の : 小 と 地 へ が	事業見事が合シ 在本略 向	性	容要体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	関係 A が こ 生が活 大 発
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	課題総合評価 今後の方向性改革・改	推化こ必 前 成果の方向性 進しの要 自 支で支と 女で支と 指き援思 「 (現き援き援助した)	会 日 チでチい 度 日 広 児 宿 木 チでチャ で	を放されている。	策し、各域で 善策 策	評 さの推進 を の 実 評 ② ③ ④	地域福祉ないの戦略を対している。	価という。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前 る動き ていく 前 ⑦ ③ ・ 加 向 あき	が活う。 ことが 法 !	推化こ必 前 / ! () : 「	進しの要 近 支て支と 年 機き援思 度 制 調 選を援	H	が、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり、をかり	皆った。	各地ではる。	号の定義前が年での進名を発言されている。	B C D 年度: 地 へ の : 小 と 地 へ の : 小 と 地 へ が	事業見事が合シ 在本略 向	性	容要体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	関係 A が こ 生が活 大 発
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTION)	課題総合評価 今後の方向性改革・改善策	推化こ必 前 成果の方向性 進しの要 自 支で支と 女で支と 指き援思 「 (現き援き援助した)	会	を放されている。	策名 域 善 策	P	は地域福祉をおり、一般地域を対している。	価という。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前 る てい 実 前 ⑦ ⑨ 100 拡 性き	が活き	推化 こ必 前	進しの要 近 支て支と 年 機き援思 度 制 調 選を援	田 チてチい 細 田 拡 現 縮 休 チてチい 一	が、をなり、をすり、としている。をなり、をなり、をすり、をすり、をする。	皆った、地	各域 ; b 策 減 各域 T で () は で (号の定義前が年での進名を発言されている。	B C D 年度: 地 へ の : 小 と 地 へ の : 小 と 地 へ が	事業見業が合シ 社 略 向 現の 社 略 の規値の必評 一価に を 性 価 レ 米 のに を	≝臭し疣要価整 関 考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	容要体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	関係 A が こ 生が活 大 発

			民生児童委員	活	動支援	事業	費									事業期間	平月	戉	~	,	年月	度	整理番	号	040101	80
担当	当部	署	健康福祉部			地	域福	祉課			福祉	L総務	孫		4	作成担当	者名	小	林	靖	子		連絡	先	304	
								政	策	01	第1	_				ハ、その					っぱくり	IJ				
			プランに	有	政策	€ 体	系	施	策	01	第1	-			-	スプラン			:) の推	進						
	स ।	する	位置づけ				_	細施		06						止の担い	手の	可成								
計		<i>/*/</i> *	= 44 5					事務署	事業 (01	民生	児童	[委員》	5期:	支援事業	<u> </u>	1 ^ =		18 0	01	+- 00	-x	L 04		01 + 44	-
RI	予	昇	事業名	سل مادا.	* A- D	<u> </u>	1.00	A 1/4	<u> </u>	4 88	15	→ 110 0	u. 465	***	4= TL-144	関への協		† 			款 03				01 事業	
画			業の概要 っかりゃすく)		する。		EWA	建、	אינגיינ	L /2 (A)	國 个 0	ル版は	W · fa	**	1丁以代税	男へのは	6 7371	1 71	₹ ₹	400.75	2012	氏 五	- 96	里安	· 具心别 1	ZX
	珇	状	と背景													問題の広										
			うして)													きめ細り 上に努め					なけれ	ばし	いけな	い。	このたと	かに
(B	対	受益者	民生	児童	委員及	なび協	議会																		
	_	象		同上																						
Р		3	(直接働きかける)																							
	的	(どん	意図					的役割。 地域						動や	個別支	援活動を	行い	、地址	或関係	組織	との協	働・	連携	を取	り、安川	ひし
L A			・ 方 法 やって)	開催	する	•										携の強化の習得等										_
			行政活動の約	吉果:	からつ	くり	だす	ものは	何?	指					単 位	算出方	法・	計算記	t· 🗏	標値	設定の)考;	え方な	こど	最終目標	票値
N		活動	民生児童委員	協	議会役	会員	を開	催する)		児童委 昇催数		協議会	殳	<u> </u>	月1回	開催	する								12
	褊	+15	各種研修会	への :	参加を	要請	する			各種複数	研修会	会参加	「要請[<u> </u>											20
	標	175																								
	の 作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指					単 位	算出方	法・	計算記	t · 目	標値	設定の)考;	え方な	ĩĚ	最終目標	票値
	成	果指	積極的な民					_	_	民生!	見童多	長員活	舌動延	Ħ	B	民生児	童委	活動	記録	こよる	5人数		_		20, 0	000
		標	民生児童委! らう	16	しての)資質	向上	を図っ	ても	研修:	会等者	多加耳	<u>z</u>		%	各研修	会参	加率								90

	Į		目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	=	71 20 3	(a)	円	18, 323, 419	18, 299, 327	19, 428, 455	18, 447, 544	19, 901, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円	8, 092, 950	8, 092, 950	8, 262, 070	9, 189, 940	8, 257, 000
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	田	10.000	40.000	44 400 000		44 444 444
440		一般財	源	· 田	10, 230, 469	10, 206, 377	11, 166, 385	9, 257, 604	11, 644, 000
施	職	正規職	員	ᄉ	0. 40	0. 40	0. 40	0. 50	
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	-	0.40	0.40	0.40	0.50	
状		合 - * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	計	人	0. 40	0. 40	0. 40	0. 50	
	Ż		数						
	文 È		(b)	ш	_				_
, .	5	1 - 1 1 (-)	(b) 額	円円	_	_	_	_	
況		受 益 者 負 担 市民一人当たりのコス		円	326, 00	327. 00	348. 00	332, 00	359, 00
-			目標		12	12	12	12	12
		民生児童委員協議会役	実績		12	12	12	13	12
$\overline{}$		員会開催数	達成率	%	100.00	100, 00	100, 00	108, 33	100.00
	活		目標		20	20	20	20	20
	動	各種研修会参加要請回	実績		20	21	20	20	20
		数	達成率	%	100, 00	105, 00	100, 00	100.00	100, 00
D	標		目標						
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0		民生児童委員活動延日	目標	B	20, 000	20, 000	20, 000	20, 000	20, 000
	凡人	alex.	実績		19, 148	17, 322	17, 668	16, 362	17, 000
	栞Ⅱ	蚁	達成率	%	95. 74	86. 61	88. 34	81. 81	85. 00
	指		目標	%	90	90	90	90	90
	標	研修会等参加率	実績	1.7	85	84	84	101	85
			達成率	%	94. 00	92. 89	93. 33	112. 22	94. 44
	備								
	考								

	当部	まる 氏生	福祉		刘义汉		<u>.</u> t福祉記	4		福祉総	路係				→ 耒 期 i	_	_	林	如		_	理番号 連絡先		304
JE .		7 1 DEM	(IM III.)			757	* 1 m 1 m 1			in in de					-1% JE .		1 17	777	_					007
	期			E	標						美	毛 稍	į							課	題			
四	第 1 期	県外研修 会の実施 民生児重	1、定化	別役員:	会の実	施			県外研修 修)、定例				委員	協議	会との	研						かように 委員活動		
半期	第 2 期	全体研修 修への参 民生児重	≱加、泵	と例役	員会の	実施、			全体研修 する10の す」)を実 会への参	施。民	生委員	制度	100	周年記	ンを元: fにい: 己念全	気に か 国大		研修の		行った	アンク	ートでに	は概れ	高評
₩ :	第 3 期	全体研修 への参加					委員研	修会	民生委員 年間を振 例役員会	返り困	りごと惟						全体で	研修の ある。	研修	会の実	施方	法につい	へて検	討が必
٤	4	総会の身確認、平 会の実施	成304						総会に向 を作成。			度の?	事業									予算案に 養を進め		く事業
_O										事	中		Ŧ	価										
•	当年	丰度開始	後、糸	96ヶ月	月が経	過し、	新たに	こ生じア	た問題点な	や環境	の変化	今	成			充			2		⑤		7	
管												後	果の		状維	持			3		6	レ	9	
B												တ	力		ì	小			4		8		10	
理		新年	度の	実施計	一画・∃	予算要	求事項	頁(改	革・改善	策)		方	向性		. 廃 .	止	1							
理												向					皆	減	縮	小	現北	大維持	拡	
												性	_				_ =	ス	۲	投力			向	性
	ı	评価年度		2	当年度																			
	裑	息点		妥	当	,	生		有	効	性				効	率		性		総	合	評価	判	定
評	評価	ਗの観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	?	1	2	3	4	判》	Ē			Α		
	チ	ェック		<u> </u>			4					4					<u> </u>	4		Ι.Δ	÷1.545		₩ + '	# 4 7 -
価(环		検討	が必要					新任の委選におい										+	記 号 B: の C:	とが事業の見る事業の事業の	適当 の進め方 規しが内 直の統合、	に改 容・3 要	進めるこ 善が必要 実施主体 廃止の検
С	題																		l			評価判定	_	Α
н			細	施		策		評	価		i			細		施		策		前年度評		·卜整理番 ■	号 後	
	総	地域福祉	L の 担	い手と	なる民	生児1	[委員/	が活動	しやすい	ように	、市民	占	也域		担い		よる民生		委員			_叫 すいよう		
Е	合	の連絡訓	整、	事務的	支援を	行いる	ドした。	,今後	も、民生	児童委	員の資	質の												の資質 すくな
С									とが必要		,,,,											必要です		- 7 (.6.
K	評																							
)	価	前年	# 3	女 革	- Jh	羊芍	<u> </u>	中 佐	状 況			-	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	<u> </u>	in t/c 4	± =π	III I - +	: I+ :	z 🛆	後のス	- -	h#		
改			細	施		策		評	価		ii	+	11) -	+ _又		施		策	ע ק	評		<u> </u>	後	
革	今		拡拡		3 	來	2	at .	т <u>ш</u> (5)	7			-	担		充		來		ar	1	Щ	1次	レ
改	後	成 果	現状網		ļ		3		6	9			成果		3 大維									
善	の	の 							ļ				の方											
の方向	方	向	縮	小 .			4		8	C	ע		向	絲	-	小								
	向	性 —	休廃	<u></u>	1)	داسره	6 . '	,l	TDJ b AV	+ '	.		性		廃.	止	EF	4-5	64	J	TP 1	1. 6# ±±	LL.	1
性(性				皆	減 コ <i>ス</i>	縮ト	小 投 2	現状維持 の カ		拡 ブ 性	t	_				皆 二	減 I ス	縮ト	・小 投 カ			拡 向 '	大 性
Α	改	地域住民				して	<u> ۲</u>	相談内	容は幅広	くなっ	ている						依然とし	して多	۷,	相談内		幅広くな	こって	いるが
CH	革	あげるた	-め、	連絡・	通知方	法を見	直して	ていき	各種研修	た、市	で実施	する	りげ	るため	り、連	絡・道	11年	まを見	直し	ていき	ます。	、また、	市で	□率等を ⋮実施す
I	· 改	る研 修 に ます。	こつい	ては、	より実	務で行	建立つ。	ような	研修内容	に見直	してい	きる	研 Eす	修につ	いて	は、。	より実績	务で役	立つ	ような	研修	内容に見	直し	ていき
0 Z)	善		選の年	Fとなる	るため、	コス	トの増	額が見	込まれる	6.					の年と	≥なる	ため、	コス	トの±	曽額が見	込ま	れる。		
	策											<u> </u>												
最終	佟評	価年月日	3	平成30	年5月9	日	最 終	評値	西 責 任	者				地	す福祉	課長					井	出		弘

事	務事ӭ	集名	日赤奉仕団	舌動:	支援事	業								事業期間	平成		~		年度	整理番号	引 04010	109
担	当部	署	健康福祉部			地域	福祉	果		福祉	総務係	ŧ .		作成担当	者名	小	林	真	睪	連絡先	303	3
	市	民.	プランに				政施		01 01	第1:				い、その スプラン					さくり			
			位置づけ	有	政策	を 体 系	細	施 策	05 05			活支援	· 尼事業									
計	予	笛	事業名				7	伪学未	00	火百	MT 355 12	では日か	小学来		슈 計	コート	÷ 00	款	03	項 01 目	1 01 事業	€ 05
画	事	務事	業の概要	茅里	萨市赤 -	十字奉作	±団事	務局と	して、	日本赤	十字	性との種	事務連絡	窓口や毒						ている。	. •	
			と背景うして)	日本取り	ト赤十号 リ組むか	字社茅野 とめ奉作	野市地 士団活	区の事 動の推	業の一 進、支	つとし 援を行	.て、i う必:	赤十字 要がある	奉 仕団か る。	ある。地	域に材	見ざし	た活動	めを通	じて、	災害救援	や福祉活	動に
	目	対	受益者	茅里同山		十字奉作	±団員															
P		象	対象 (直接働きかける)																			
	的	(どん	意図な状態にしたいか)											けいさと	-							
L A			・ 方 法 (やって)	する茅里	5。又、 ₹市赤- ├字奉(. 各分E 十字奉(団は有 士団と	事の場 の情報	合に備 交換や	えて、 連携σ	団員(強化:	の増強さ を図る	を図り連 ため、役	絡体制を 負会を開	整える	5. 5.					金の中で参加要請	
			行政活動の網	結果:	からつ	くりだ	すもの	のは何?				称	単位	算出方	法・言	†算式	・目材	票値設	定のネ	きえ方なる	上 最終目	標値
N	評	活動	市内全地区	こ分	団を置	<			団数	市赤十			分団	分団の	数							10
	価指	指標	茅野市赤十	字奉·	仕団と	の打合	せ会詞	養開催		市赤十 開催数		士団役	<u> </u>	役員会	の開催	数						6
J	標の作	成	成果	•	効	果は	よ 何	?	指	i 標	名	称	単位	算出方	法・言	算式	・目标	票値設	定のネ	きえ方な 。	上 最終目	標値
	成	果指	赤十字奉仕[団活!	動の充	実			奉仕	活動参	加分	型数	分団	奉仕団	活動を	行った	こ分団	数				10
		標	-							•					•			•				

	IJ		目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	luli.	717 74 7	(a)	円	50, 000	159, 128	146, 974	189, 979	248, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円				100.0	
440	_	一般財	源	円	50, 000	159, 128	146, 974	189, 979	248, 000
施	職	正規職	員	人	0. 11	0. 11	0.11	0. 15	
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 11	0. 11	0.11	0. 15	
	Ż		数						
	3		(b)						
	Ě		(b)	円	_	_	_	_	_
況	5		額	円	1 00	2.00	2.00	2.00	4.00
_	- 1	5民一人当たりのコス		円	1. 00 10	3. 00 10	3. 00 10	3. 00 10	4. 00 10
		茅野市赤十字奉仕団分	目標 実績	分団	10	10	10	10	10
\sim .		団数	達成率	%	100, 00	100, 00	100.00	100, 00	100, 00
7	活		目標		6	6	6	6	6
1	動	茅野市赤十字奉仕団役	実績		5	4	4	3	4
		員会開催数	達成率	%	83, 33	66, 67	66, 67	50, 00	66. 67
D	標		目標	70	00.00	00.07	00.07	00.00	00.01
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標		10	10	10	10	10
J.	成	奉仕活動参加分団数	実績	分団	10	10	10	10	10
	果		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指		目標						
7	標	_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備						·	·	
	考								

事務担当		業名 E] 赤奉 建康福		活動	支援事		支福祉	蟬		芝豆 之	止総務係	£			業期間 成担当			~		年		整理番号 連絡先	04010 303	
	期		EMK IE	ПЕНР	E	標		N M M	ur.		I I I I	- 40 10 p	実	结		/// 1==			777		課			-	
四	第 1 期	新年原	隻事 業	詳画								策定、奉 十字活動	• 任団	役員:							(日赤	募金)	について が課題。	、各地区	≛か
	2	字奉作	土団幹	部研	修会	参加、	野県支 赤十字 赤募金	'奉仕	団の茅	奉仕国	田幹部	基ずく、 研修会/ 室の実施	へのま	多加、た	の地	区での	にこ						が年々 減 が出来る		
期ご	3		の実施	1、日表			奉仕団(金送金			村)の	実施、	団の役 日赤長 え)の集	野県:	支部へ	の赤十	字活		翌年月る。	隻の研	修 补	現察につ	いて	、視察場	所を検討	† †
ط	第 4 期	来年月	度奉仕	団員	の選	任準備	Ħ				も等を	協議する	ため	の役員	会の		人員選						討。各地 時期を早		出団
Ø	лт <i>Е</i>	生麻胆	HA 35	&h (2 / 1	⊐ 	' I I	立にナー	1- # 1°	+ _ 88 85	上り口	-	. //	評	価					_		! _			
	==	十戊历	知 夜	、 ポリじ) T)	コルが栓		机た	に土し	に回起	よいな	環境の変		今成果			仓		<u> </u> -	2		⑤		7	
管														後 の	垷	状維持	寺			3		6	レ	9	
														の「方向		1	J١			4		8		10	
理		亲	f年 度	の実	施計	画・	予算要	求事	項(改	革・改	大善策)	:	方 性		廃」	E (D							
														向性	/	/		皆コ	減ス	縮 ト	小 投 <i>之</i>		状維持 の 方	拡 向 性	大
	Ī	評価年	度		1	纤度																			
		見点		3	•	当		性	Ш.	有		动	性			効	率		性		総	合	評価	判	定
評		面の観 ェック		1	2	3	4	判5 4	包 1	2	3	4	_	引定 4	1	2	3	4	判3				Α		
	課題	奉仕日	団員 <i>の</i> 団員か)高齡 《災害	化。 時 等	に的る	を で 行り	助が出	来るた	め研修	(内容	字・回数	t) σ	見直(• 0					•	記号の定義 BCD: D: 庫度	と事事の事討総	一 の進め方 規模・内 直しが必 の統合、	に改善が容・実施要休・廃止	必要 主体 の検
н			細		施	į	策		評	価	i	前			細		施		策		評	1	価	後	
E C K		すた。 分団(かに、 こおけ	善奉	仕団 災訓	員への 練のす	で実が	会によ 必要で	る知識	の習得	や、 市	也域差を 市全体及	なくび名	すた 分団	めに、	善奉(る防)	士団 貞 災訓網	への の充っ	博習会 足が必	に 要で	る知識の	の習	体制の地	対差を	なくび各
改	^		細		施		策		評	偛		前			細		施		策		評		T	後	
革	今	成	拉		产			2		5		7		成	拡	3	÷						-	^	
改	後	果		· 【状維				3		6	レ	9		果		状維持						ļ	レ		
善	の	の方	統		/∖ !¤			4		8		10		の方	縮		ر اد					ļ			
の方	方	向性		-		•		••		•		(III)		向性								ļ			
方向	向	注	11不	. 廃 .	<u></u>	省皆	21=1	公 二	, ls	IB 41	<u> 44 +</u> +	++	_]±	11本	廃」		냠	減	经	,l.	TFI-	J-L &# ++</th><th>++</th><th>+</th></tr><tr><th>性(</th><th>性</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>百</th><th>減 コ ス</th><th>縮</th><th>小 投<i>,</i></th><th></th><th>維持 方</th><th>拡向性</th><th>大</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>_</th><th>ルス</th><th>縮ト</th><th>小 投 ,</th><th></th><th>状維持 り 方</th><th>拡 向 性</th><th>大</th></tr><tr><th>Т</th><th>改革・</th><th>現状(よう)</th><th></th><th></th><th></th><th>て、す</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>が充実で</th><th>きる</th><th></th><th>の市財 支援し</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>し内容が</th><th></th><th>きる</th></tr><tr><th>I 0</th><th>· 改</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>) (Z</th><th>善</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>)</th><th>策</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>最終</th><th>₹評:</th><th>価年丿</th><th>月日</th><th>平</th><th>成30</th><th>年5月</th><th>9日</th><th>最終</th><th>冬評(</th><th>西 責</th><th>任 者</th><th></th><th></th><th></th><th>地均</th><th>【福祉</th><th>課長</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>井</th><th>出</th><th>弘</th><th></th></tr></tbody></table>		

事系	务事業		更生保護女	生会	事務局	事務									事業期間	平成		~		年度	整理番号	· 04010107
担	当部	署	健康福祉部			地	域福	祉課			福祉総	務係			作成担当	者名	小	林	真	睪	連絡先	303
計画	おり	する	プランに 位置づけ 事業名 :業の概要	・更役員	市更生保	護女性 定期約	女性会の		業営に	る活動	第1節 地域自 地域生 る事務/	福 立生 三活支 局事形 域社会	祉 2 1 活支援 援事業 務 ♠ 企	ビーナ: *** *** *** ***	い、そのスプラン	会計	福祉 コー)の推済 ド 00	款	03	項 01 [01 事業 03 明るくする <mark>週</mark>
	 現 (状ど	と 背 景うして)	会と	両輪	におけ として けてし	更生	■帯感の こを助け	D減少 tると	や人	間関係(こ、犯	の希達 罪予以	す化等、 ちのたる	社会情 め世論の	勢は大き 啓発に努	く変化	として 舌動を	いる。 推進、	社会支援	奉仕の するた)精神をも :めに茅野	って、保護司 市では事務局
^ P	目	対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)			女性会																
	的	(どん	意図な状態にしたいか)					に行え														
L A			方法やって)	·計	画に	基づく 護女性	総会 全会の	事業な	の参加 が円滑	要請に行	(会議	室予約よう提	り、開作 受助		発送、参	加人	の把	·握、道	そ料等	の準備	おなど)	
			行政活動の紀		-					指	標	名	称	単位	算出方	法・計	上算十	・目标	票値設	定の	考え方なる	ど 最終目標値
N	評価	活動指	更生保護活! 催	助の:	推進の	ため	のミ	二集会	の開	E = \$	長会の	開催		•	市内の	ミ二集	会開	催回数				7
)	当指標の	標																				
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	上算十	・目标	票値設	定の	考え方なる	と 最終目標値
	成	果指!	更生保護女	生会	員数を	増や	す			更生化	R護女	生会員	数	人	茅野市	更生保	護女	性会員	数			235
		標																				

	項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	事業費等	(a)	円	130, 000	130, 000	130, 000	130, 000	130, 000
E	財 国 庫 支 出	金	円					
	ᡖ│ 県 支 出	金	円					
"	∵ 地 方	債	円					
	その他特定財	源	円					
	R	源	円	130, 000	130, 000	130, 000	130, 000	130, 000
施	哉 正規職	員	人				0. 07	
	ᆿ│嘱 託 職	員	人					
	,, 品 時 職	員	人	0. 10	0. 10	0. 10	0. 07	
状	数 <u>合</u>	計	人	0. 10	0. 10	0. 10	0. 14	
1	対象(者)	数						
	延利用(者)数	(b)						
	単位コスト(a)/	(b)	円	_	_	_	_	_
況	受 益 者 負 担	額	円					
	市民一人当たりのコス		円	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00
		目標		7	7	7	7	7
	ミニ集会の開催	実績	-	4	4	4	3	4
^ ;	舌	達成率	%	57. 14	57. 14	57. 14	42. 86	57. 14
₫	助	目標	_					
#	2 -	実績						
D #		達成率	%	_	_	_	_	-
1	不	目標	_					
	_	実績						
		達成率	%	_	_	_	_	_
0	+	目標	人	235	235	235	235	235
]-	或 更生保護女性会員数	実績		235	235	235	217	235
5	#	達成率	%	100.00	100.00	100. 00	92. 34	100. 00
□		目標	_					
Ť.	票 <mark>一</mark>	実績	0/					
		達成率	%	- 				-
fi -	# 平成25年度茅野市から 併せて13万円を茅野市	の補助	世8万	i円を新たにいたださ Mode ととなりまし	、在会福祉協議会か た。	ら父付されていた補	助金8カ円を交付元を	と矛野市にまとめ、

事務	事業	業名	更生保	護女性	会事	務局	事務									事	業期	間 平	成		~		年度	整理	番号	0401	10107
担:	当部	署	健康福	祉部			地均	支福祉	:課		和	国祉総	務係			作	成担	当者名	小	、林		真	琴	連絡	各先	3(03
	期				目	標							実		į								課	題			
凹	第 1 期	茅野支援		保護女	性会	総会(の準備	帯と開	催への		が市更生 ました		女性会	総会	:の2	準備と	開催の	の支援	研修	会事	業 の	実施~	∖ の3	支援をで	する。		
	第 2 期	研修	会開催	への支	援を	する。							催する 支援を				物乱月	用防止		県更 視察				こどいも	多加の	支援、	. 県外
期ご	第 3 期			保護女 の支援			ハ参加	の支	援、県				催する 支援を				物乱月	用防止						文コン : 支援を			支
٤	第 4 期			くする <mark>選</mark> 催に向!					杉の支				運動作 向けての	の準値	#の				総会	開催	に向け	ナての)準備	の支持	爰を行	う。	
Ø												事	中	ř		価											
	当年	年度開	引始後、	約6	ヶ月だ	が経過	過し、	新た	に生じ	た問	題点や	環境(の変化	今	成果	拡		充			2		(5		7	
管														後	木の	現	状維:	持			3		(6	レ	9	
=														の	方向	縮		小			4		(8		10	
理		¥	新年度	の実施	計画	・予	算要	求事	項(引	ぬ革・	改善	策)		方	性	休	廃.	止(D								
-1														向					皆	減	縮		小	現状約	推持	拡	大
														性		/			⊐	ス	۲	投	入	の	方	向'	性
	_	is be /	- de		N/ /5	- de		1							_												
	衫	評価 4		妥	当年	当	ı	性		4	=	効	性			-	効	率		性		松		: 評	価	判	定
		五の街		女 2	2	3	4	判別	定	1 I	2	3		判定	+	1 1	2	3	1 4	-	定	形心	· -	1 61	Щ	十リ	疋
評		エツ						4	_					4	+					_	4				Α		
		更生	保護女	性会が	行う	عے	と事務	多局が	行うこ	ことを	分担し	. 会	の自主	的運	営を	支援	するこ	ことで	、より	り効率	<u>ま</u> の	記		†画どま とが適≧		業を進	めるこ
価	課	よい	争務同	事務の	刊 行	יאפיינע.	6 – 6	とかで	ಕಾರಿ	ド うに	研究す	る东	地があ	りま	9 .							号の定	B:真 C:真	事業の近 事業規模 の見直し	生め方 莫・内 ₋ が必	容・実 要	施主体
(с	題																					前年	i F度約	事業の総 対が必要 総合評値 シート	要 西判定	!	正の検 A
н			細		施		策		評		価	前	j			細		施		策		評		価		後	
	総		保護女	性会活	動を		が支援	要する	ことに	こより	、罪を	を犯し	た人々			呆護女	100	活動を		が支持		2 <u>-</u> 5	:1=4	. 9、	作を 犯	した	
Е	合	更生輪と	を助け して活	、地域 動を任	社会 務を	の犯 十分	罪予りに果た	万を行 とすこ	ったがで	かとい できま	ったり	≹護可	のとの 会の円	滑輪	اع	して活	動を	域社会 任務を	十分	に果	とする	ことか	くでき	:いっ? :ます。	今後	も会の	の円滑
С													必要で	な	運	営を維	持す	るため	、行	政が	事務原	司を担	3当す	るする	8 E &	は必要	要で
ĸ	評	7 0												ľ	•												
	価																										
		前		改革		改	善策	きの	実 施					Ē	订 年		旧施分		曲に		る -		の方	向 性	_		
改革	今		細		施		策		評		価	Ħ				細		施		策		評		価		後	
	後	成 果	拡					2		5		7			成 果	拡		充			ļ						
改善	の	の	現	状維持				3		6	レ	9	1		の	現	状維!	持						レ			
0	方	方向	縮	小				4		8		10	1		方 向	縮	,	/]\								, i	
方向	向	性	休	廃止	1	D									性	休	廃 .	止									
性	性				-	皆	減	縮	小		状維持						_		皆	減	縮		'J\	現状約		拡	大
Â		→	におけ	ᇫᄳᅖ	⊕	生ル					の 方 囲る に		性 を築く	 		- 12/14	ZXn	罪小人	様化	コ フ /# 4				の J、明		句 性	
C	改革	め保	護司や	更生保	護女	様化、 性会(の役割	削は大	きくな	よって	います	ト。安	全・安	心战	保証	こおけ 隻司や	更生	保護す	性会	の役割	削は、	大きく	なっ	てい	ます。	安全	・安心
Ţ		なます。	ちづく 事務局	りを進と更生	める 保護	ため、 女性:	、更生 会の名	E保護 殳割を	女性会	≹の事 こし白	務局の	D継続 E営を	が必要 支援し	で[なま]す	まれ	5づく 事務局	りを	進める 生保証	ため	、更 会の	主保記	夏女性 を明確	E会の とにし	事務を	司の総 内運営	続がいた支	必要で 漫しま
	改	ず 。			170000	v paka p			. Campat						•				v Jak								
0																											
0 Z)	善																										
	善策																	課長						井			

事務	事業	名	福祉 2 1 ビ-	ーナ	スプラ	ランの	推進											事業其	胴	平成	2	2	~	29	年月	支	を理る	番号	0401	0101
担旨	台部	署	健康福祉部			Ħ	域福	祉制	ŧ			福祉	総務	係			1	乍成担	当	皆名	武	居		直	樹		連絡	先	3(02
			プランに 位置づけ	有	政策	策 体	系		施爾新		01 08	第 1 第 2	節 次福	福祉 祉 2	2 1 1 t	ピーナ	ナス	、 そ (プラ プラン プラン	ン の#	(地域 生進	福祉				3 (<u>!</u>	J				
計	予	算	事業名						127 7	` _			V 18						1111		<u> </u>	ド	001	款	03	項	01	目	01 事	業 09
画			業の概要 ^{かりゃすく)}	習等関や	の関	連施署同	策が 士の!	必要	的計画な連携	画的に 機が図	実施られ	され	れる。 よう記	kう、 関 整 で	ある	要な情 役割る	青報を果っ	を収算 たしま	とす	、各加	を策の	が進	步状	況を	把握	する	だけ	でな	・生 :く、	関係機
			と 背 景						である 協働で										を	図る7	さめ、	地址	載の	さま	ざま	なニ	ーズ	に対	応でき	きるよ
	目	対	受益者	市民保健		療・	福祉(こか	かわる	5関係	機関	(*	富祉 2	2 1 3	非野	など)	ゃ	関係音	8署.	地址	載で流	5動で	する	団体	個	人。				
P		象	(直接働ぎかける)	相談	支援	が必	要な.	人。	り第2																					
-	的	(どん	意図な状態にしたいか)										- •						·		_ ,,,,								- 144	
L			・ 方 法 やって)	な・・・動	営政一(画 とアナ保推	、ドス健進	域イラ社技	かんかん かんしょう かんかん かんしゅう かんしゅう かんしょう んしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	断活証とされ	図と向りを	めアに・成し	職さい区、	見 びくこと のメ、ミュ と	スキリー 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	レア ・ 修 ・ 1 茅 ィ	ップを選野円よ	を目される	指す。 て、 養 ・ 地	戦員 開催 或福	による し協調 祉推 済	る自3 養しで 性課)	E的な てい・ とれ	な研 く。 社会	修体 福祉	制を! 協議:	整え 会の	る。 職員	で、	地域神	E円滑 福祉行 今年
-		L	行政活動の約	結果:	からこ	つくり	だす	ŧσ	は何		•	標			称	単	位	算出	方法	去・言	†算豆	t •	目標	値設	定の	考え	た方々	など	最終目	目標値
N		活動	職員の資質	句上							ーナ 回数		プラン	・研覧	開															10
	価	41-	行政と市民の	の協	動にる	はるこ	゚゚ヺン	·の推	進				野会	護の	開			福祉	2 1	茅野	によ	る会	護の	の開作	養数					15
	標 の -		第二次計画領	策定	こおけ	ける地	域と	の合	意形	成地	区推	進金	議					各地	区7	きの推	進会	護開	催業	女(相	· 証象	策	定)			16
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?		指	標	名	3	称	単	位	算出	方法	去・言	算=	t -	目標	値設	定の	考え	方を	など	最終目	目標値
	成	果指	課題解決・認	養案	の審論		_			協	護し	た影	課題等	の養	Ż .		件	福祉	2	茅野	の会	謙で	協調	美した	:課是	I の	数			20
		130	地域福祉の	推進									【福祉 自治			1	#	第二	次計	画を	推進	する	区·	自治	会姜	y				96

		B	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算	平成30年度
			·				又は決算額)	事業計画(予算)
	事業費等	(a)	円	1, 376, 069	221, 620	243, 308	431, 244	904, 000
	財国庫支出	金	円					
実	源県支出	金	円					
	//// 内	債	田田					
	ての他特定期	源	I 🗷	4 070 000	004 000	040.000	404 044	004 000
Me	//X ///	源	円	1, 376, 069	221, 620	243, 308	431, 244	904, 000
施	職 正規 職	員	人	1. 53	1. 33	0. 30	0. 30	
	属 託 職	員	ᄉ					
		員	ᄉ	4 50	4 00		0.00	
状		計	人	1. 53	1. 33	0. 30	0. 30	
	対象(者)	数						
	延利用(者)数	(b)						
ш.		(b)	円	-	_	-	_	-
況	受益者負担	額	円	05.00	1.00	1 00	0.00	10.00
_	市民一人当たりのコス		円	25. 00	4. 00	4. 00	8.00	16.00
	ビーナスプラン研修開	目標		10	10	5	5	5
	催回数	実績達成率	%	30.00	20.00	20.00	20, 00	20, 00
	活		%0	30.00	20.00	<u> </u>	10	10
	動福祉21茅野会議の開	目標 実績		8	6	25	52	10
	指催	達成率	%	53, 33	40.00	250, 00	520, 00	100, 00
D ;	標	目標	90	80	16		16	160.00
	地区推進会議	実績		82	10		10	10
	地位在建立被	達成率	%	102, 50	62, 50	62, 50	62. 50	62, 50
0		目標		20	20	20	20	20
	成協議した課題等の数	実績	件	15	6	3	8	10
	果	達成率	%	75. 00	30, 00	15.00	40.00	50.00
	te T	目標		15	96	96	96	96
\sim	+= 第一人地塚惟仙1」 乳门	実績	件	15	96	96	96	96
1	^{[奈} 画推進区・自治会数	達成率	%	100.00	100, 00	100.00	100.00	100.00
	世 平成26年度から主要事				100.00	100.00	100.00	100.00
1	備 平成20年度から主要等	· 122 T - 24		1-0-2-0-0-120				
-	考							

	当部	来名 個位 選 健康	福祉				<u>福祉課</u>		*	富祉総	務係				F 未 期 「 F 成 担)			- 居	Z9 Tİ			理番号 連絡先		302
			, 144, 144, 1		1 +m	757	THE INT. INT.			(q+0)		, <i>"</i> ,	E		. /// 1==		-		-					
	期			E	標				** = 24=			三								課	題			
四	第 1 期	·職員(行 開催 ·福祉21						珊	職員(行 の実施 福祉21 画の評	茅野の	7つの	専門	部会	が立			. # 28	する	果題の	整理を	行う			
半	第 2 期	•福祉21	茅野	での2%	大計画(の評価	・課題整		福祉21 題の整			きの課	題(の整理	里と共選	iする	•検討	期間	が少な	elv				
期ご	第 3 期	•福祉21	茅野	での3 %	対画の	の取組	∗課題整	理	福祉21 との意 3次計画 成	見交換	を実施						・関係ン策が				3次福	祉21년	:—)	スプラ
٤	第 4 期	•福祉21	茅野	での 3%	文計画(の取組	・課題整	理 •	3次計画	での耳	対組の事	整理					・どん	ぐりブ	゚ランと	:の整合	性			
Ø										事	中	ř	Ŧ	価	'									
•	当年	年度開始	後、約	6ヶ月	月が経	過し、	新たに	生じた	問題点や	り環境	の変化	今	成		<u> </u>	充			2		⑤		7	
dete												後	果の		見状維:	诗			3		6	レ	9	
管												o	方		h	/J\			4		8		100	
		新年	度の	実施計	画•-	予算要	求事項	(改革	・改善	策)		方	向性		· k 廃 .	i	①							
理												向	-				<u>)</u> 皆	減	縮	ıls	T目 小	大維持	拡	大
							_					性	_	/	_		"	ス		カ 投 <i>ブ</i>) 方		性
	_	評価年度			年度			1																
		見点		妥	当		性		有	効	性		╛		効	率		性		総	合	評価	判	定
評		iの観点 ェック	- 1	2	3	4	判定 4		2	3	4	判定 3	=	ı	2	3	4	判:				В		
価(c	課題	- 各地域 - 第 2 次 いく。					或福祉行					捗管					ンで推		でに対象を	記 号 B: D C: 覧 D:	と事事の事討総	適当 の進め・方見 見し統一 の必要 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	に改物容・調要休・原	進めるこ 善が必要 実施主体 廃止の検 B 3010101
н		į	細	施	į	策	割	į.	価	育	ij			細	1	施		策		評	ſi	6	後	
_	総	・第2次権 ため、ビー	■社 2 - + フ	1ピーナ	スプラ	ンを推	進してい	く職員の	資質向上	と理念	の継続の	D ·	第2	2次福	性216	ーナ	スプラン	を推進	生してに 法書が	ハく職員 Fに伴う	の資質制度の	で で で で で で で で で で で で で で で で り で り で	里念の	継続の
E	合	た研修が ・福祉 2	V要です Iピー	す。 ナスプラ	シの推	進と第	3 次プラ:	ンの策定	に向け、	行政ア	ドバイ	<u>.</u>	福祉	が必! L2 1	要です。 ピーナン	マプラ:	ンの推進	と第3	次プラ	ランの策	定に同	句け、行	改アド	अन
C	評	ザーから7 た。 ・地域福祉	此の更ね	なる推進	に向け	、「第	二次地域	福祉行動	計画」を	推進し		<i>t</i> -	:。 地均	食福祉 (の更なる	5推進1	こ向け、	「第二	次地域	食福祉行	動計画	提言を(国」を推済	進しま	
к _	価	•福祉2 ·									7 eta 4											かます。	•	
74-							この 実		<u> </u>		。 第二章	C. F.	打车				曲にま						2,3.	
改革	今		細	施		策	Ħ			Ħ		\perp		細		施		策		評	ſſ	6	後	
	後	成 果 *****	拡	充			2	(7			成 果	·····································		危								レ
改善	の	の	現状紀	維持			3	Œ		9			の		見状維持	寺								
の	方	方 向	縮	小			4	(8	3)	1)		方 向	將	宿	J\								
方向	向	性	休 廃	止	1								性		木 廃 」	Ł								
性	性				皆	減 コ ス	縮 、ト‡		現状維持 の 方			t			_		皆コ	減 ス	縮 ト	小 投 <i>フ</i>			拡向が	大 性
(A C	改革	し、具体	的な		ーナス	プラン	ノで根幹	となる	S C Ø	あり方	を検証	でし		具体的	内な役		ナスフ	プラン	で根	幹とな	3 S (೦೧೩೪	方を	
T	-	検討を行・必要な	研修									٠ ک	必		开修及									と チーム
(z o ·	改善策	による「	第二	次地域	福祉行	動計画	画」の推	進支援	を図って	ていく	•	13	地 お	域福祉	业行動 計画づ	計画の くりの	計画其	期間終 生を関	了()	131) を 書と協	見据	図ってい え、そ していく	の後	の地域 ミた、
最終	佟評	価年月日	1	平成30	年5月9	日	最 終	評価	責任	者					域福祉						井	出		弘

事系	务事業	Ě名	第3次福祉:	2 1	ピー	ナス	プラ	ンロ	り策り	2								事業	き 期間	平	成	28	~		29	年月	芰 :	整理	番号	04	010102
担	当部	署	健康福祉部				地域	福	止課				福祉	総務	係			作原	找担当	者名	i	武	居		直	樹		連絡	格先		302
計画	予事意	する	プランに 位置づけ 事業名	福祉を第2	上2 に は じ 次 言	I ビー I ビー り、 1 十画	ーナ: 果健 (平)	スプラス・式	ラン 療・ 2年	事 <u>推</u> (茅)	事 野 学 段 2	01 09 01 費 である。	地域福祉へつた	節福祖 計製き	福行動	21画画また。	支えあけてが、大きなでは、大きないでは、大きないでは、大きなでは、まないでは、大きなでは、まないでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きないは、ないでは、大きないは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、な	ス支援) 支援 地域 に 実 に に に に に に に に に に に に に に に に に	ラン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	会権を持ちると	域福 計 二 進 福 次計 [一トしての画(の推 00く画成	進 01 た的 3 C	款の推	03 「基 進を)	項書を	りと	してし	す。れ います ナ。	事業 11 社会福祉
			と背景うして)	年度要が	で終	冬了:	する	ため	、第	2次	計画	で 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	食証を	踏ま	えま	第32	大計画で	を策2	きしま	野市	7.0±	也域	福祉	の#	進	ວ ເວ	いて	計i	画的	取	別組む必
(Р	目的	対 象 (どん	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける) 意図 な状態にしたいか)		2 -												の福祉で	- 1													
L A			・ 方 法 やって)	福祉 3 岁	t 2 ·	l 茅! ■の!	野の 衰定	再編を進	成をめま	行い す。	、舅	32 8	文計画	1の核	が	と新た	とな課題	頃に対	材応す	† გ¢	本制	を整	備し	、	成	2 8	年月	₹~!	平成 2	2 9 	F度で第
			行政活動の紀	結果:	から	つく	りだ	すも	ものに	は何?	?	指	標	名	i 7	称	単位	上 第	出力	ī法·	計算	章式	・目	標値	直設	定の)考:	え方	など	最終	を目標値
N	評価指	活動指標	会議等開催	数							開	催回	数				•		定に開催		福祉	2	茅	野部	会•	策员	を委	員会	等		20
J	標の		成果		効		<u>!</u> (:	+	何	?		指	標	名		称	H 1-	L 25	г ш 🛨	- 2+	=1 ¢	4 +		+m <i>l</i> :	± ਦੁ⊓	<u> </u>	\ *	= +	+- 15	= <i>u</i>	8目標値
	作成	成果指	第3次福祉	2 1	•••						策	定革		右	1 1	[h],	単 位 %	_ - '	3次								_		-	取称	100
		標																													

								I	
	J	頂	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	1	事業費等	(a)	円			1, 787, 585		1, 400, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財		円					
	訳	一般財	源	円			1, 787, 585		1, 400, 000
施	職	正規職	員	人			1.03	1. 10	1, 100, 000
		嘱託職	員	人					
	員	臨 時 職	員	入					
46	数	合	計	人			1.03	1.10	
状	5	 对 象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況	ě	受益者負担	額	円					
~~	Ī	市民一人当たりのコス		円	_	-	32. 00	_	25. 00
			目標				20	20	
		開催回数	実績				26	58	
$\overline{}$	活		達成率	%	_	_	130. 00	290.00	_
	和		目標						
	動指	_	実績	_					
ь.	扫描		達成率	%	_	_	_	_	_
D	標		目標						
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	%			30	100	
	成	策定率	実績	70			20	100	
	果指		達成率	%	_	_	66. 67	100.00	_
	指		目標						
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	-	_	_
	備	H30の事業費については	129繰起	明許。	事業自体はH29で終	7			
	考								

						ンの策						事業期				29		整理番号	
担	当 部	图署 健康福	祉部		地均	支福祉 課	<u>k</u>	福	祉総務係			作成担	.当者名	武	居	Įİ.	樹	連絡先	302
	期			目標						実績	ŧ						課	題	
		かみのさ				+ 1				<u>Д</u> 43							HVIN	<i>K</i> 2	
	第	·部会の立 い)	5上17(2	即去か	まに次	まつしい		• 小地域支	えない部分	≥ /垣北	粉音	架全の 立	t HH	· ##	理期/	の議論	11:01	T	
疋	1	•福祉21茅	野の専門	部会で	の検証	E·課題(・フレームワ			L-5X F1	Hb 77 65 77	. 5 ,		につし		100		
	期	理																	
.10	**																		
半	第 2	•福祉21茅	野の専門	部会報	は告書の	つまとめ		・部会の共 ・計画体系			Λ Ι Δ∓			. ner 86	本本	⊕ #44	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	=±+>(\	
	期	•計画素々	案(骨子)	の作成				* 計画体系・ *計画素々				4		• 4	即五	の報言	書が進	まない	
440	77																		
期	第	・計画案の	UE GB				_	地域経営会	ŧ議、議会全	è 員協議	会に	ペプリック:	コメント						
		・パブリック	コメントの	実施(1	1回目)			概要説明 ·茅野市地域	《福祉審議:	会へ概要	更説明			-概要	の説	明(正	夫さん)	内容につい	τ
2	期	·茅野市地	域福祉審	議会へ	概要説	明		・パブリックコ	コメントの実										
								・計画案の作			10-		. I der me						
	第	・パブリック	コメントの	実施(2	2回目)			·地域経営会 説明	震、震士工具	1 協議会		リックコメン	小似安	, alter	*	on Rei			
ے	4	·茅野市地		議会へ	諮問			・パブリックコ							書のI ジェス	小版の	作成		
	期	・計画の決	足					·茅野市地域: ·計画の決定		ヘ胎間・	音甲					1 1000	117700		
		<u> </u>							事 中	1	Ţ.	価							
Ø	34 A	年度開始後	4h.C. /	ㅁ 사용성포	'B. I	立にナーリー	# I* #		•	и. I	· ·					_			: 0
	=1	午 及	、利りケ	月か程	迴し、	初/こに	主した	一の超点で	現児の変1	15	成	拡	充			2		⑤	7
										後	果の	現状維	持			3		6	9
管											方						<u>į</u> .		
										の	向	縮	小			4	· ·	8	10
理		新年度	の実施	計画・	予算要	求事項	i(改革	革・改善策	(表)	方	性	休 廃	止	1	V				
理										_					-	<i>/</i> -		TD 11 0 44 14	14 1
										向				皆	減	縮	小	現状維持	拡大
										性	_			⊐	ス	۲	投 入	. の 方	向 性
		評価年度		当年度															
	袳	見点	妥	当	1	性		有	効 '	性		効	率	<u>.</u>	性		総合	字 評 個	1 判定
	評価	面の観点	1 2	3	4	判定	1	2	3 4	判定	?	1 2	3	4	判	定			
評		ェック		+		4	+	+		4					4			Α	
			0112	+7-	1= >./		-0117	て担ける	1 学配の		76 /2 1		1-01	T 80	•		ΙΔ · Ξ	計画どおり国	¥ 業を進めるこ
		第3次福祉 会の再編系														_ 6	2 2	レが滴当	
価	課	とした策力	委員会で	き協議す	る体制	判としま	にした。	PASIE-I	Demonstration of the second	110 .0.		HP ZZ 02			1177903	^ 5	B :	事業の進めた	に改善が必要
lima	11.7	2部会をご	ち上げ、	7部会	きでの	見状と誤	課の	を理を行い	ました。	共通の	課題	策定員	会で整	理しな	がら、	[[]		事業規模・₽ の見直しが必	引容・実施主体 ^{人亜}
		福祉213	野の専門]部会が	ハらの軸	せ告書を フト版の	まとは	り、第3次 が遅れてい	, 福祉21	ヒーナ	スプ	ラン(茅	野市地	域福祉	計画)		t D: ∄	事業の統合、	, 女 休・廃止の検
	題			へ、ブコ	, ,,,,	N P JUX U.) I FACA	い遅れしてい	5 9 .							H		対が必要	
С	KN.	を東正した	. W														則牛皮科	&合評価判:	定 B
	KZ.	を東定し/	- 10°C - 25C A													_			_
	咫		.W. 384															シート整理者	
н		を東定した	_	も	策	ā	评	価	前			細	施		策		「年度評価 評		後
	<i>41</i> \	無定が終う	力 したため	- り、平成						スプタ	定が	終了した	ため、	平成:	***		評	iシート整理都 価	
H E	総	細	力 したため	- り、平成						スプタラ	を ランを		ため、	平成;	***		評	iシート整理都 価	後
E	<i>41</i> \	無定が終う	力 したため	- り、平成						スプタ	度定がランを	終了した	ため、	平成:	***		評	iシート整理都 価	後
	総合	無定が終う	力 したため	- り、平成						スプ第	定定がランを	終了した	ため、	平成;	***		評	iシート整理都 価	後
E	総	無定が終う	力 したため	- り、平成						スプタ	き定がランを	終了した	ため、	平成;	***		評	iシート整理都 価	後
E	総合評	無定が終う	力 したため	- り、平成						スプララ	度定が	終了した	ため、	平成;	***		評	iシート整理都 価	後
E	総合	無定が終う	が したため します。	<u>-</u> り、平成	≵3 O £	車度から	らは第3	3 次福祉 2		7	ランを	終了した 推進しま	ため、		3 0 年	度か	評 らは第3	5シート整理者 価 3 次福祉 2	後
E C K	総合評価	無の変化を表すった。	が 【したため します。 [改 革	・改	養 第	年度から き の 実	を 施っ	3 次福祉 2	1 ピーナ: -	7	ランを	終了した推進しま	ため、 ます。 策 評・		3 0 年 3 け ね	度か る今:	評 らは第3 後 の 方	5シート整理者 価 3 次福祉 2	後 1 ビーナスプ
E C K	総合評	無 策定が終う ランを推済	が 【したため します。 [改 革	<u>-</u> り、平成	≵3 O £	を の 実	とは第3	3 次福祉 2 状 況 価	1ピーナ:	7	ランを	終了した 推進しま	ため、		3 0 年	度か る今:	評 らは第3	5シート整理者 価 3 次福祉 2	後
E	総合評価	無理 (が したため します。 こ 改 革	・改	養 第	年度から き の 実	とは第3	3 次福祉 2	1 ピーナ: -	1	<u>前年</u> 成	終了した推進しま	ため、 ます。 策 評・		3 0 年 3 け ね	度か る今:	評 らは第3 後 の 方	5シート整理者 価 3 次福祉 2	後 1 ビーナスプ
E C K)改革·	総合評価今後	新定が終う ランを推り 前 年 ほ	が したため します。 この基 この表	・改	養 第	で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま できる ままま しゅうしゅう しゅう	実施 津	3 次福祉 2 状 況 価 ⑤	1ピーナ	1	前 成果	整了した推進しま	た。 策 施		3 0 年 3 け ね	度か る今:	評 らは第3 後 の 方	5シート整理者 価 3 次福祉 2	後 1 ビーナスプ
E C K)改革·	総合評価	無では、 ・ できます。 ・ できまます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できまます。 ・ できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	が したため します。 こ 改 革	・改	養 第	下度から の 事 ② ③	実施 洋	状況 価 ⑤	1 ピーナ: 前 ⑦ ③	1	前 成果の	変 細 施	た。 策 施		3 0 年 3 け ね	度か る今:	評 らは第3 後 の 方	5シート整理者 価 3 次福祉 2	後 1 ビーナスプ
E C K) 改革・改善	総合評価今後の	無の	が したた。 します。 : 改革 方	・改	養 第	で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま できる ままま しゅうしゅう しゅう	実施 洋	3 次福祉 2 状 況 価 ⑤	1ピーナ	1	が 成果の方	整了した推進しま	た。 策 施		3 0 年 3 け ね	度か る今:	評 らは第3 後 の 方	5シート整理者 価 3 次福祉 2	後 1 ビーナスプ
E C K) 改革・改善	総合評価 今後の方	細 策定を推 前 成果の方向:	は、一大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	· 改	善 策	下度から の 事 ② ③	実施 洋	状況 価 ⑤	1 ピーナ: 前 ⑦ ③	1	前 成果の	終了します 推進します 無細 拡 現状組 縮	ます。 策 施 充 持 小	価 に a	3 0 年 3 け ね	度か る今:	評 らは第3 後 の 方	5シート整理者 価 3 次福祉 2	後 1 ビーナスプ
E C K) 改革・改善の方向	総合評価今後の	細 策定を推 前 成果の方向:	が したた。 します。 さな 革 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	· 改 在	養策	下度から の 実 の 実 の 3 ④	を 施 変	状況 価 ⑤ ⑥ ⑧	1 E-+: n 7 9 10	1	が 成果の方向	終了した 推進しま 無細施 拡現状緒	ます。 策 施 充 持 小	価 (こ i	まける 策	(度か)	評らは第3	5シート整理者 価 3 次福祉 2 7 向性 価	後 1 ピーナスプ
E C K) 改革・改善	総合評価 今後の方	細 策定を推 前 成果の方向:	は、一大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	· 改	養 策	下度から 9 1 2 3 4 4	を 施 字 ・	3 次福祉 2 状 況	1 ピーナ: 前 ⑦ ③ 10	1	が 成果の方向	終了します 推進します 無細 拡 現状組 縮	ます。 策 施 充 持 小	価 に a	3 0 年	度かるる今	評らは第3	5シート整理者 価 3 次福祉 2 7 向性 	後 1 ピーナスプ 後 拡 大
E C K) 改革・改善の方向性(総合評価 今後の方向性	細さか 変定を推 前 成果の方向性	はなる事が、	· 改 • 改 • 古	支 30年 策	下度か タ	を 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	状況 価 ⑤ ⑥ ⑧	1 ピーナ: 前 ⑦ ③ ① 10 拡 向 性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ラン 前 成果の方向性 を 年	整了しては を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	策施充計小止	価 に a	3 0 年 第 減 ス	を変かり	評 後 の 方 か 投	ボシート整理者 価 3次福祉 2 万 向性 現状維持 の 方	後 1 ピーナスプ 後 拡 大 向 性
E C K) 改革・改善の方向性(A	総合評価 今後の方向性 改	細さか 変定を推 前 成果の方向性	はなる事が、	· 改 • 改 • 古	支 30年 策	下度か タ	を 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3 次福祉 2 状 況 価 ⑤ ⑥ ⑧	1 ピーナ: 前 ⑦ ③ ① 10 拡 向 性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ラン 前 成果の方向性 を 年	終了します 推進します 無細 拡 現状組 縮	策施充計小止	価 に a	3 0 年 第 減 ス	を変かり	評 後 の 方 か 投	ボシート整理者 価 3次福祉 2 万 向性 現状維持 の 方	後 1 ピーナスプ 後 拡 大
E C K) 改革・改善の方向性(AC	総合評価 今後の方向性	細さか 変定を推 前 成果の方向性	はなる事が、	· 改 • 改 • 古	支 30年 策	下度か タ	を 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	状況 価 ⑤ ⑥ ⑧	1 ピーナ: 前 ⑦ ③ ① 10 拡 向 性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ラン 前 成果の方向性 を 年	整了しては を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	策施充計小止	価 に a	3 0 年 第 減 ス	を変かり	評 後 の 方 か 投	ボシート整理者 価 3次福祉 2 万 向性 現状維持 の 方	後 1 ピーナスプ 後 拡 大 向 性
E C K) 改革・改善の方向性(ACT	総合評価 今後の方向性 改革・	細さか 変定を推 前 成果の方向性	はなる事が、	· 改 • 改 • 古	支 30年 策	下度か タ	を 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	状況 価 ⑤ ⑥ ⑧	1 ピーナ: 前 ⑦ ③ ① 10 拡 向 性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ラン 前 成果の方向性 を 年	整了しては を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	策施充計小止	価 に a	3 0 年 第 減 ス	を変かり	評 後 の 方 か 投	ボシート整理者 価 3次福祉 2 万 向性 現状維持 の 方	後 1 ピーナスプ 後 拡 大 向 性
E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	総合評価 今後の方向性 改	細さか 変定を推 前 成果の方向性	はなる事が、	· 改 • 改 • 古	支 30年 策	下度か タ	を 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	状況 価 ⑤ ⑥ ⑧	1 ピーナ: 前 ⑦ ③ ① 10 拡 向 性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ラン 前 成果の方向性 を 年	整了しては を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	策施充計小止	価 に a	3 0 年 第 減 ス	を変かり	評 後 の 方 か 投	ボシート整理者 価 3次福祉 2 万 向性 現状維持 の 方	後 1 ピーナスプ 後 拡 大 向 性
E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	総合評価 今後の方向性 改革・	細さか 変定を推 前 成果の方向性	はなる事が、	· 改 • 改 • 古	支 30年 策	下度か タ	を 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	状況 価 ⑤ ⑥ ⑧	1 ピーナ: 前 ⑦ ③ ① 10 拡 向 性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ラン 前 成果の方向性 を 年	整了しては を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	策施充計小止	価 に a	3 0 年 第 減 ス	を変かり	評 後 の 方 か 投	ボシート整理者 価 3次福祉 2 万 向性 現状維持 の 方	後 1 ピーナスプ 後 拡 大 向 性
E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	総合評価 今後の方向性 改革・改	細さか 変定を推 前 成果の方向性	はなる事が、	· 改 • 改 • 古	支 30年 策	下度か タ	を 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	状況 価 ⑤ ⑥ ⑧	1 ピーナ: 前 ⑦ ③ ① 10 拡 向 性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ラン 前 成果の方向性 を 年	整了しては を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	策施充計小止	価 に a	3 0 年 第 減 ス	を変かり	評 後 の 方 か 投	ボシート整理者 価 3次福祉 2 万 向性 現状維持 の 方	後 1 ピーナスプ 後 拡 大 向 性
E C K) 改革・改善の方向性(ACTION)	総合評価 今後の方向性 改革・改善策	細さか 変定を推 前 成果の方向性	は、一大ない。	· 改 • 改 • 古	式 3 5 策 レ 減 策	下度 の	を 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	状況 価 ⑤ ⑥ ⑧	1 ピーナ:	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ラン 前 成果の方向性 を 年	整了しては を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	たす 策 充 持 小 止 ノーナ	価 に a	3 0 年 第 減 ス	を変かり	評 後 の 方 か 投	ボシート整理者 価 3次福祉 2 う 向性 ・ 現状維持 ・の 方	後 1 ピーナスプ 後 拡 性 克止します。

			茅野市行政	アド	パイさ					属事業	ŧ						事	業期間	引平	7成	9	~		1	年度	整	理番号	₹ 0	401010	3
担当	当部	署	健康福祉部			ţ	也域福	祉課	Į		1	福祉	総務 信	系			作用	找担 ≌	4者名	3	武	居	Į	1	甘	į	植絡先		302	
			プランに 位置づけ	無	政分	策体	系		策 施 策 務事業	0)1	第11	市	冨祉 2	2 1 1	支え あ ピーナ ーナス	スフ	プラン	/ (地	地域者				5づ ((1)					
計	予	算	事 業 名	行正	オアド	パイ	ザー		事業費										会	:計=	ı — I	° 00)1	款 ()2]	項	01 E	01	事業	57
画	事務	多事	業の概要	市月策定	e と行 e で既	政が存の	一体。	とな ^っ の見i	って進	める	施策	を推	進し	てい	く必	要がる	あり	ます。	通の	解決のた	を図めに	るた 既存	めにの手	は、 法に	行政とら	とし	っても いない	新た	な計画な視点	
			と 背 景うして)	平月計画	₹9年 『策定	4月 や政	より、 策立	、行I 東にII	敗アド 随時、	バイ 有効	ザーなア	ドパ	祉分 イス	野)や情	制度 報提	を導ん 供をU	人し、	ていた	ます。 必要:	。行 があ	政アりま	ドバ す。	イザ	ーは	、市	कि	えめに	応じ	て様々	な
(目	対	受益者		で、職																									
P		象	対象 (直接働きかける)																											
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	や親イス	fたな くをい	行政ただ	課題(きま [*]	の計ii す。	重や企	画立	案の	段階	から	市民	- 職	員の	アド	バイ・	げー	とし	て専	門的	な知	識・	経験	や	絶想に	基づ	重点施くアド	バ
L A			・ 方 法 やって)	いた 1 ま 2 今 3 保 4 行	だきま ^っ 野市の 後の福	す。 保健・ 強性会 アンター アンター	医療・ に対応 社に 関	福祉に するた		諸計画 職員及	の策が	と施! 会議	策の推 員に対	進への する指	関与	(平成: 器談等)出席をし	
			行政活動の紀	結果:	からつ	با > د	J だす	もの	は何	?	指	標	名	称		単位	立 算	単出力	法	• 計(算式	・目	標値	設定	の≉	きえ	方な。	ど 最	終目標	値
N		活動	行政アドバー	イザ	_					委	嘱情	況				人	Þ	民間活	力の)導力	<u> </u>									1
	温	+15	アドバイス	• 相	談					ァ	ドバ	イス	・相	談件	数	件													3	0
	標の																													
	作	成	成果	٠	効	果	は	何	?		指	標	名	称	i	単位	立 算	単出力	法	• 計(算式	・目	標値	設定	の≉	きえ	方な。	ど最	終目標	値
	成	果指	地域福祉の	推進						ァ	ドバ	イス	・相	談件	数	件													5	0
		130	地域福祉の	推進										り推 した		件													1	0

		頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	luli.	事業費等	(a)	円	1, 200, 000	1, 200, 000	1, 200, 000	1, 200, 000	1, 200, 000
	財	国庫支出	金	田					
	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	1, 200, 000	1, 200, 000	1, 200, 000	1, 200, 000	1, 200, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	
		嘱 託 職	員	人					
	員	臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	
11	Ż	対象 (者)	数						
	3	延利用(者)数	(b)						
	È	単 位 コ ス ト (a)/	(b)	円	_	_	_	_	_
況	Š	受益者負担	額	円					
	ī	市民一人当たりのコス	7	円	21. 00	21. 00	22. 00	22. 00	22. 00
			目標	人	1	1	1	1	1
		委嘱情況	実績	_	1	1	1	1	1
		女媧旧ル			•	•		•	•
	汪	X MAIN N	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	活動		達成率		30	30	30	50	50
	活動指	アドバイス・相談件数	達成率	% 件	30 43	30 48	30 42	50 42	50 45
	動指		達成率 目標 実績 達成率		30	30	30	50	50
	活動指標		達成率 目標 実績 達成率 目標	件	30 43	30 48	30 42	50 42	50 45
	動指		達成率 実績 達成率 実績	件 % 一	30 43	30 48	30 42	50 42	50 45
	動指		達成率 目 実成標 実成標 実成標 実成標 実成 標 実成 標 実成 標 全	件	30 43 143. 33	30 48 160.00	30 42 140.00	50 42 84.00	50 45 90.00
0	動指標	アドバイス・相談件数	達財養大学、	件 % - %	30 43 143. 33	30 48 160.00	30 42 140.00	50 42 84.00	50 45 90.00
D 0	動指標成		達成率 目 実成標 実成標 実成標 実成標 実成 標 実成 標 実成 標 全	件 % - % 件	30 43 143, 33 ——————————————————————————————————	30 48 160.00 — — 50 48	30 42 140.00	50 42 84.00 ———————————————————————————————————	50 45 90.00 — — 50 45
D 0	動指標成果	アドバイス・相談件数	達目実成標績率 標績率 標績率	件 % - %	30 43 143. 33 	30 48 160.00 - 50 48 96.00	30 42 140.00 50 42 84.00	50 42 84.00	50 45 90.00
D 0	動指標成果指	アドバイス・相談件数 - アドバイス・相談件数 アドバイスにより推進	達目実達目実達目実達目実達目	件 % 一 % 件	30 43 143.33 143.33 	30 48 160.00 	30 42 140.00 50 42 84.00	50 42 84.00 ———————————————————————————————————	50 45 90.00 50 45 90.00 10
D 0)	動指標成果指	アドバイス・相談件数	達目実成標績率 標績率 標績率	件 % - % 件	30 43 143.33 143.33 ——————————————————————————————————	30 48 160.00 ——————————————————————————————————	30 42 140.00 50 42 84.00 10 5	50 42 84.00 ———————————————————————————————————	50 45 90.00
D 0)	動指標 成果指	アドバイス・相談件数 - アドバイス・相談件数 アドバイスにより推進	達目実達目実達目実達目実達目	件 % 一 % 件	30 43 143.33 143.33 	30 48 160.00 	30 42 140.00 50 42 84.00	50 42 84.00 ———————————————————————————————————	50 45 90.00 50 45 90.00 10
О О)	動指標成果指標	アドバイス・相談件数 - アドバイス・相談件数 アドバイスにより推進	達目実達目実達目実達日実達日実	件 % - % 件 %	30 43 143.33 143.33 ——————————————————————————————————	30 48 160.00 ——————————————————————————————————	30 42 140.00 50 42 84.00 10 5	50 42 84.00 ———————————————————————————————————	50 45 90.00
О О)	動指標 成果指	アドバイス・相談件数 - アドバイス・相談件数 アドバイスにより推進	達目実達目実達目実達日実達日実	件 % - % 件 %	30 43 143.33 143.33 ——————————————————————————————————	30 48 160.00 ——————————————————————————————————	30 42 140.00 50 42 84.00 10 5	50 42 84.00 ———————————————————————————————————	50 45 90.00

事務	第事業名 茅野市行政アドパイザー (福祉分野) 委嘱事業 当 部 署 健康福祉部 地域福祉課 福祉総務係												事業期間 平成 9 ~ 年度 整理番号 0401010								0103						
担:	当部											福祉総	務係			1	F成担	当者名	武	居		直	樹	連絡	各先	30)2
	期					日標	<u> </u>						3	€ 糸	ŧ								課	題			
四	第 1 期	-ピー	ナスこ	プラン	来庁は研修		の随時	排相談		・4 ラン ・6 ・メ	月24日 ノ研修の 月19日 ール、	日行政 D講師、 日福祉2 電話に	21茅野は Pドバイ! 福祉21 21ビーナ よる計画	章書福 デー委 ・茅野・スプ・ ・ 等策	祉嘱幹シ定、	、福祉2 学会には 策定委 推進の	21ビー 出席 員会に 相談	出席	ランク	り策定	を予		国祉分	野の		どんぐ 各課の	
半期	第 2 期					時等で の相談	の随時	持相談		·7 ·8 会I	月18日 月29日 に出席	第3岁3、9月	合同地域 (福祉21 25日福 よる計画	ピー・ 祉21	ナスピー	プラン -ナスフ	打合せ プラン策		ランク	り策定	を予		ている			どんぐ 各課の	
州	第 3 期					時等で の相談	の 随 時	持相談		·1	1月21 2月18	日第3日福祉	ぐりプラ 次福祉2 ½21ビー よる計画	21ビー ナス:	ナプラ	スプラ: ン策定	ン打合t 委員会	±	ランク	り策定	を予		ている			どんぐ 各課の	
٤	第 4 期	•次年	度の	ピーフ	トスフ		の随時 F修の材 {			出	席		121ビー こよる計	•					ランク	り策定	を予		ている			どんぐ 各課の	
•												事	中	ī	Ŧ	価											
Ø													の変化		厄		<u> </u>	充			2		(5)		7	
管	計画	町的に	実施す	ける必	要が	くありま	す。						席をより	後	月 0		状維	 持			3		(6	レ	9	
B							始め障 ながら							の	プロ	7191	à ·	小			4		(8		10	
理	4m 4s						予算要						+.n±88	方	性		廃.	止 (D					••••••			
	の中	で研	多実施	包、相	談を	行うこ	とが必	要とな	ってき	きている	ます。		た時間 L	向					皆	減	縮	,	ј у - :	現状約	推持	拡	大
	また	二、福祉	分野	の計	画寺	の推進	性に向け	FC P	r//1	人か业	少安とん	よりよう	•	性		/				ス	۲	投	入	の	方	向 忄	性
	į	評価年	度		1	当年度																					
	初			3	妥	当		性		:	有	効	性	Ė			効	率		性		総	合	評	価	判	定
評		断の観		1	2	3	4	判	-	1	2	3	4	判员		1	2	3	4	判					Α		
	チ	エック		N 45-70	- TO L	* . * . / .	ue L	4		0.74	= #± 4\	c o E	18 4	•	4 とおりますが、市役			役所への来庁回			A						
個(い	課題	数が限られる。	限られ れた 計画 を	いてい 計間の とはじ	る中でめ、	マ、地域 で、相談 で 障害 を	ず福祉 後、研	課以タ 修の身 福祉計	トから 骨催、 †画、	の相記 会議・ 高齢	淡回数 への出 皆保健	も増え 席なと 福祉計	されま き調整し 計画、食	す。	<	ことが	必要に	こなり	、加え	て地	域	の定義が年	B:事C:事 D:事意	業規模 見直し 業業の制 が必要 合評値	重め方 き・内 か合 を 一 判定	休・廃」 <u>:</u>	施主体
			/vm				Anto		-		/T					Average Control				Arte			医評価		E埋番·	号 030	10102
Н	総	垣址	細		がか		策	应, 2	評	- ⊭ 准	価		前 Lして職	B 2	≣ 21	細密等	•	施かがら	但牌	策. 医垂	z . 2	評	- # #	価	平 4 年 大	後	一牌名
ЕС	合	の意 茅野で 報をしまた、	戦やがわれた。	質のいくは	向域と3	にも] 括ケ: *、方[【福祉	貢献い アシス 句性が	ただし テムの 見えて	いてい 構築 てプラ	ます。 に向い と思い ンの	ナて、 います 性進を	今後も してい	。 意見や いく上で	情報	意野をた	識や 市ら いた 、今	質の しい地 どくこ	向上に 域包招 とで、 3 次福	も貢 ケア 方向 祉 2	献いた シスが見 生ピー	とだし テムの 見えて ーナフ	いてい の構築 て スプラ	ま向との	。 けて、 います 推進る	今後 す。 をして	きも意見 こいく」	見や情
K	価		.	entic		*** C.	医のの			1/ //	<u> </u>	~ 7 °		ľ	_ 0.	, or or #	性物にし	C = 7	: W. JE	<i>1</i> 7- 0 C		J·, <u>MBL</u> =	1/	10171	U & 7	•	
)		前	年 度	ひ	革	• 改	(善)	策の	実	施状	況		_		前	年度	細施翁	策 評 亻	断にる	おけ	るぐ	う後 (の方	向 性	_		
改革	今		細		拼	Ē	策		評		価		前			紐		施		策		評		価		後	
•	後	成果	拉	7	充			2		5)		D		成果	Ð	<u>ኔ</u>	充									
改善	တ	の方		! 状維				3		6					介の方		見状維持							レ			
の方	方	向	絲	-	小 ·			4		8)	1	0		向	新		小									
向	向	性		廃	止 止	(1) EE	i ct	给	,	\ \	目小纸	性	trt -	-	性		木廃 .	L L	皆	浦	绽	,	ls	TE (F) A	生七二	+r+	+
性(性		_	_		皆	減 コ <i>フ</i>	縮 ス ト		入	見状維持の プ		拡 性	大	_					減 」ス	縮			現状約の		拡 向 性	大
∢ 0 ⊢ ⊢ 0 Z)	改革・改善策	調整	し、神	■祉 2	.1 E	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	スプラ	ンの排	進に	向けが	こ委託	業務と	手の予定: 併せた : 併せた : いきま	·来 [引掘	とし、	畐祉 2	1ピー	ナス	プラン	ノの排	佳進に	向け	た委託	七業界		せた来
是 4		価年	8 0	77	Ell 04	0年5月	0 P	是	公 ≡⊤	j /# :	書 バ	老				Adh.	域福祉	.## F				<u> </u>		#	ш	71	
取和	⋞群	仙牛	7 🗆	*	一成る	7年3月	3 🗖	取	佟	′ 価:	貞 仕	白				吧	収価 但	床女						井	出	<u>u</u>	4

事務	事業	き 名	地域支援事	# .	成年後	き見き かいりゅう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	援事	業								3	事業期	間	平成	20	~			年度	型型	理番	号	0402	0233
担当	当部	署	健康福祉部			ī	静者	・保	険課		高	齢者	福祉			1	作成担	当者	名	伊	藤	淮	•	志		連絡党	ŧ	33	4
			プランに 位置づけ	有	政	策体	系		策 策 施 策 8事業	01 01 11 06	第権	1章 1節 利擁 域包:	福徳	业 2 推進	1ピー	ナフ	へ、そ(スプラ:						ちづ	〈り					
計	予	算	事 業 名	地均	支援	事業	費」	戊年征	复見支	援事業	費								会計		<mark>ا ا 0</mark>)1	款	03	項	01	目	10 事	業 18
画	事系	多事 湯にす	業の概要 っかりゃすく)	ると迅速	とも	に、い、	虐待? 虐待?	を未発を防止	情者虐信 然に防 上する 適切な	ぐためしくみ	地域の整	にお	けるとも	見守に、	りや成年	支え 後見	あいの 制度を	体活	制を相 用でき	単築す	る。	また	. I	待(の判	断・対	す応	を的研	かつ
			と 背 景うして)						事等は をかつ																		あい	の体制	りや、
	目	対	受益者						D介護:		9 .	地域	にお	ける	見守	りや	法・制	度	面での)支援	を必	要と	する	5. 1	5齢	者及(ゾそ	の家族	等の
P	_	象	対象(直接働きかける)	介證	者				タキや、 ;																				
	的	(どん	意 図な状態にしたいか)	ると	: とも	IZ.	課題。	となる	5事態(の発生	を未	然に	防ぐ	•															
L A				催す所、	-る。 消防	また 等と	、地域の情報	或のり 最共々	かの各 見守り 与や、 目の助	や支え 効果的	あ な 連	を構	築す	るた	め、	住民	自治組	織	や民生	E児童	委員	、ポ	ラン	ノテ -	ィア	団体、	警	察、伊	健
			行政活動の紀	結果:	からこ	つくり	けだす	もの	は何?	指	1	標	名	称	単	位	算出	方法	去・計	力算式	・目	標値	設定	定の:	考え	.方な	: ځ	最終目	標値
N	評	活動	地域包括支	漫セ	ンター	-1=4	る相	談・	支援	高齢談件		待に	関す	る相		件	高齢		利擁	護に	関する	相	談を	受け	たん	‡数			10
	価指	+15	成年後見制	隻の	申立3	支援				成年 用件		支援	事業	の利		件	市長 件数			より	或年 額	見	制度	を申	して	にてた	:		2
	標の		-t P		**	B	1+	<i>1</i> =7	0	41		 ===	A	1/ -	224	14	答しい	+ >-	+ - =	L 答 →		+== <i>l</i> =±	==n=	= ~.	<u> </u>	++	L ^o	旦幼口	抽 /走
	作 成	成果指	成 果 高齢者虐待	・ ナー		果アンドラ (アンダイ) アンファイン (アンダイ) アンファイン (アンダイ) アンファイン アンファン アンファ アンファン アンファイン アンファン アンファイン アンファイン アンファイン アンファイン アンファン アンファン アンファン アンファ アンファ	は 向け	何 支援	? できる	虐待数			名 <mark>スの</mark>	称 <mark>解決</mark>	+-	. 位 件	相談	件数	に対	して								最終目	10
		1 285	高齢者虐待	を早	期発見	見しか	入で	きる		地域件数	から	の連	絡·	相談		件	地域	から	の相	談に					期角	军决等			15

					•			
	項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
		(a)	円		619, 000	599, 000		599, 000
財	国庫支出	金	円					
実 源	県 支 出	金	円					
内	地方	債	円					
訳	その他特定財	源	円		619, 000	599, 000		599, 000
44-	一般財	源	H					
施職	正規職	員	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	
員	嘱託 職 職 職	員	人					
数	臨 時 職 合	員計	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	
44	<u>同</u> 対 象 (者)	数	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	
		<u></u> (b)						
		(b)	円	_	_	_	_	
	<u> </u>	額	円					
	<u> </u>		円	_	11, 00	11, 00	_	11, 00
		目標		10	10	10	10	10
	高齢者虐待に関する相 談件数	実績	件	5	16	3	4	10
活	設計或	達成率	%	50.00	160.00	30. 00	40.00	100.00
動	成年後見支援事業の利	目標	件	2	2	2	2	2
指	用件数	実績		0	1	0	0	2
D 標	7011 50	達成率	%	0. 00	50. 00	0.00	0.00	100.00
IN		目標	_					
	_	実績達成率	%	_	_	_	_	_
0		目標		5	8	3	3	10
成	虐待相談ケースの解決	実績	件	5	8	3	3	10
果	数	達成率	%	100.00	100, 00	100, 00	100, 00	100, 00
し指		目標		4	5	5	5	15
標	地域からの連絡・相談	実績	件	4	5	5	5	15
.,,,	件数	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
備	市民プラン政策体系番号	010	10202、	01040304 の横断的]な事務事業です。			
ν π								

		業名 地域		成年後									期間平		~	年	度 整理番号	04020233
担	当 部	署健康	福祉部		高調	怜者・保	険課	高	岭者福祉 6	<u> </u>		作成技	旦当者名	伊	藤	浩 志	連絡先	334
	期			目 標					5	実 絹	責					調	₹題	
四	第 1 期	高齢者虐 速に対応	待や成年 する。	後見制度	更に関す	ナる相談	に迅	・施設におけ 応する。 ・成年後見						特に無	≸ し。			
半期	2	・「高齢者 き、虐待へ を行う。	•障害者虐 冷権利擁護	待対応 の相談	マニュ <u>:</u> •事例(アル」に こ 迅速 な	基づ 対応	・施設におけ 応する。 ・成年後見制						特に無	ŧ L。			
ני	3期	き、虐待か を行う。		の相談	•事例(こ迅速な	対応	施設におけのケースが成年後見報	3件あり、	対応す	る。			特に無	ŧ L。			
٤	4	・「高齢者 き、虐待か を行う。	・障害者虐 や権利擁護	待対応 の相談	マニュ <u>:</u> •事例(アル」に こ迅速な	基づ 対応	・施設におけ 応する。 ・成年後見報						特に無	ŧL。			
o,								1		平	価							
V.			後、約6ヶ	-月が経	過し、	新たに	生じが	た問題点や理	上今	成	拡	充		2		5	7	
	特に	無し。							後	▮果	現状終	佐持		(3	9	⑥ レ	9	
管											の方						1	
										の	向	縮	小		4)	8	10
理	/rc =r							革・改善策 立費用と後		方	性	休 廃	止	1				
		するため							心人報酬で	向			/	皆	減	宿 小	現状維持	拡大
										性		/		⊐	ス	ト投	入の方	向 性
										-								
		評価年度		当年度														
	裑		妥	当	1	性		有	効 !	生		効	琗	<u> </u>	生	総	合評価	判定
評	評価	面の観点	1 2	3	4	判定	1	2 3	3 4	判员	Ē	1 2	3	4	判定		С	
	-	ェック	V			2		l l		3	Щ	V			2			
								。虐待につり することが							記	: 計画どおり事 とが適当	業を進めるこ	
価	課	待対応能	力の向上	が求めら	れま	t.	1 MU C	7 OCC 27	11103	JE 12	110 × 12 C	. 20 5- 2	/ I ⊂ ₹ 496.	良いた		: 事業の進め方		
	pp.1.															の C 定	: 事業規模・内 の見直しが必	
^	日本															義D	: 事業の統合、 討が必要	休・廃止の検
С	題															前年度	<u> </u>	È C
																前年度評	価シート整理番	号 03010449
Н	415		_	施	策		泙	価	前			細	施	:	策	評	価	後
Е	総							し、その福 待は高齢者の			女年1	後見制度(の利用	が必要な 事業な	者の権	利を擁護	ؤし、その福祉 ∤待は高齢者の	止の向上を図
_	合	るもので	あり、自:	立およて	『社会	多加にと	って	重要です。」	虐待につい	ハてる	5 も (のであり、	自立	および社	会参加	にとって	重要です。肩	■待について
С		は、相談の事務が	件数等増加	加してお	sり、。 mp mp c	より迅速	に適	切な対応が 力の向上が	必要です。	市	ま、	相談件数等	等増加	しており	、より	迅速に通	i切な対応が必 力の向上がオ	必要です。市
	評	か異務がす。	未たせる。	ように、	収員で	り虐付か	I ML> FIE.)] () [H] <u></u> //	水のりつれる	7	t.	労が来に	204	ノに、相	貝の店		*\V\T[h]\T\\\	たのられる
K	価																	
		前年	度 改 革	· 改	善第	きの身	€ 施	状 況 -	- 部 実	施	前年	度細施	策 評	価にお	ける	今後の	方向性	
改	今	希		施	策	ī	Ŧ	価	前			細	施		策	評	価	後
革		成	拡 充			2		⑤	7		成	拡	充					
改	後	果 ******	現状維持			3	レ	6	9		果	現状終	推			دا		
善	の	¥				ļ <u>.</u>					の 方							
の方	方	向	縮小			4		8	10		向	縮	小					
力向	向	性	休廃止	1							性	休 廃	止					
性	性			皆	減	縮	小	現状維持		大						宿 小	現状維持	拡大
A		成年終日	制度の利息	■大化液量	コス			しの方し その福	向 性 业の向上を	<u> </u>	t #= 1	多目411年/	力制田・	が必要力		ト 投 <mark> 利を擁護</mark>		向 性 Lの向上を図
C	改革	るために	、引き続き	き、事業	きを継続	売します	⁻。虐:	待は高齢者の	の尊厳を	身す る	るたと	めに、引き	き続き、	、事業を	継続し	、ます。虐	待は高齢者の	の尊厳を害す
Т	平.		あり、自: 法に基づ!					重要です。・	今後も高齢							Iにとって 対応を行	重要です。	き後も高齢者
I	改	恒时附近	広に巻 ノ	· C 11112	- 12 Y	かい (み 入) 利	ነ ፈ 1 ነ	v·		"	≡ ।च ।	7.11上/五1〜2	æ J∪'	く地域に	- JEE 193 /d	トハルで17	10.430	
O N	~ ,																	
\Box	Table Ta																	
最終	冬評	価年月日	五 박3	0年5月1	8日	最 終	評 佔	西 責 任 者				高齢者・	保险課.	Ę			平澤	精一
-1A 1	- HI		1 7940	- 1 -71		7/ 1/4	1	_ ~ i	-			ar = 1					· •	***

事	事務事業名 地域支援事業 介護用品支給事業 担当 部署 健康福祉部 高齢者・保険課 高齢															事業期間	平成	12	~		年度	整理番号	04020228
担	当 部	署	健康福	祉部			Ţ,	齢者	• 保隊	課		高齢者	肾福祉	係	1	作成担当	者名	伊	藤	浩	志	連絡先	334
			プラ:		有	11.	策体	<u> </u>	政施	策	01 01	第1章 第1章				ヽ、その。 スプラン					づくり		
	お	ける	位置	づけ	"	ш, з	<i>የ</i> ሩ የተ	, K	細 施事務	5 策 事業	05 01			活支援健福祉	•								
計	予	算	事業	名	地均	支援	事業	費 1	 護用	品支統	事業	t					会計:	コード	001	款	03	項 01 目	10 事業 10
画	事:	務事	:業の _{わかりや}	概 要 ^{す ()}																、介	護用品	を支給する	5.
			と 背 うし ⁻													軽減が必			•				
	目	対	受益	(s) (k)	して	<u> こいる</u>	世帯	の市局	見税が	非課稅	の者。					れた者で れた者の							を在宅で介護
P		象	対 (直接働き	象(かける)																			
	的	(どん	意	义 たいか)												ることに							_
L A			・カヤっ		介記		は、	以下位	り項目	うち、	必要	と認め	られる		が、支給	た費用相 の対象と 清拭剤	なる。			-	込によ	:り助成す	3 .
			行政活	動の	結果	からこ	つくり	だす	ものは	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目標	票値設	定の≉	きえ方など	最終目標値
Ν	評		在宅介 負担の			いるま	 課税	世帯	の経済	的な	助成を	受けた	た人数	Ż.	人	介護用	品が支	合され	た実	人数	(実績))	
	価指標	指標																					
J	の作	成	成	果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	• 目标	票値設	定の孝	きえ方など	最終目標値
	成	果指	支給さ	れた	世帯	で在写	≧介護	が継	続され	る	在宅籍	継続率			%	助成を	受けた:	者が右	宅生	活を輸	売けて	いる割合	100
		標																					

_									
	Į	頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	ļ.	事業費等	(a)	円	1, 879, 018	1, 532, 283	1, 403, 410	1, 664, 023	2, 028, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円	1, 879, 018	1, 532, 283	1, 403, 410	1, 664, 023	2, 028, 000
	訳	一 般 財	源	円					
施	職	正規職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	
		嘱 託 職	員	人					
	員	臨 時 職	員	人	0. 03	0. 04	0. 04	0. 04	
状	数	合	計	人	0. 04	0. 05	0. 05	0. 05	
11	2	対象 (者)	数		56	43	38	48	
		延利用(者)数	(b)		304	317	214	268	
	<u>Í</u>		(b)	円	6, 181	4, 834	6, 558	6, 209	-
況	5	受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス	7	円	33. 00	27. 00	25. 00	30.00	37. 00
			目標	۲					
		助成を受けた人数	実績	^	56	43	38	48	
•	活		達成率	%	-	_	•	_	_
	動		目標						
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	-	_	-	_	_
	尓		目標						
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0	_15		目標	%	100	100	100	100	100
	成	在宅継続率	実績		90	98	97	98	100
	果		達成率	%	90. 00	98. 00	97. 00	98. 00	100.00
(指		目標	_					
	標	-	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
		市民プラン政策体系番号	- 010°	10202	の横断的な事業です	•_			

備 市民プラン政策体系番号 01010202 の横断的な事業です。 平成22年度まで「ふれあい保健福祉事業」として評価しましたが、事業個々に違いがあり、総体としての評価が難しく平成23年度から細分化しての評価としました。

			支援事業	介護用								事業期						整理番			20228	
担	当部	署に健康	福祉部		高幅	齢者福	祉係			作成担	当者名	伊	藤	淮	志	連絡	先	33	34			
	期			目標						実	績							課	題			
四	笙		専門員に 効な活用	本事業を		てもらい	`↑ 🏲 い	4月の介記 で連絡す 4月~6月	る。	門員知	連絡 :			業につ	特にな	îL.		Poly	<u> </u>			
半期	第 2 期		に係る費			とで、重度	度の	7月~9月	:支給丿	人数27	人	延件数	枚65件		特にな	ìL.						
ž	第 3 期		に係る費			とで、重度	度の	10月~1	2月:支	給人数	25.	人延	件数61	件	特にな	ìL.						
٤	第 4 期		に係る費 の在宅生			とで、重度	隻の	1月~3月							特にな	ìl.						
_O									-	中	評	Ø	6									
			後、約6人					変化			広	充		(2		5	(7	· <u></u>		
	非誤	税世帯の)在宅介護	支援に	さいて1	要な事	業。		, :	果	見状維	持		(3		6 L	,	9			
管											,											
									(方 	宿	小		(4		8		10		
理	W -		度の実施 上半期まで				(改革	・改善第	7	方 1	性 化	木 廃	止	1								
	T/9	(29千)支.	上十州より	の夫頼	_ _ ~	•			Γ	句				皆	減	縮	小	現状維	持	拡	大	
										1	生				⊐	ス	۲	投 力	、の :	方	向(性
											_	_										
	_	评価年度		当年度																		
		点	妥	当		性		有	効	性			効	率		性		総	合 評	価	判	定
評		師の観点	1 2	3	4	判定	1		3 4	_	定	1	2	3	4	判员	Ē	В				
		ェック			レ	3	<u> </u>		レ		3	<u> </u>			<u> </u>	4						
			!帯にとっ 'ネージャ					っている	。对象:	者が事	栗を	利用"	できる。	ように	.、引き	続き、		記	計画どおり とが適当	り事ま	きを進	めるこ
価	課	,,,,	T 21	471-7	1,711 0	C V - C &	7 0												事業の進む			
																		定	事業規模 の見直し <i>ז</i>	が必要	Ę	
	題																		事業の統領 討が必要	合、位	▶ ● 廃.	止の検
С	KZ.																	前年度	総合評価	判定		В
																		前年度評価	面シート整:	理番号	030	10440
Н	4//			施	策	割		価	前			#	_	施		策		評	価	_	後	
E	祁芯		利用者や :め、事業				で利用	しなくな	った方	が多					∓度の₹ は減っ で			等で利	用しなく	なっ	た方は	が多
	合	在宅介護	をする上	で、特に	こ非課制	脱世帯に					在	2介護	をする	上で、	特にま	課税	世帯		て介護用			
С	=		負担になれ、在宅																哈するこ ると考え			
K	評	OTENS C	400 11-6	ノトは文明工作				-9/10	4007	•	**	- 100 C	., v., 1E	U / I	>< 445 45£ ∧	- 493			J C 77 /L	940	J 7 0	
K	価																					
)		前 年	度 改 革	・改	善角	もの 実	施り	∵ 況 📗	一部写	実 施	前	年 度	細施	策 評	価にす	うける	今	後のフ	5 向性			
改	今	i	細	施	策	評	Ę.	価	前			ŕ	8	施		策		評	価		後	
革		成	拡 充			2	Œ		7		月	t.										
改	後	果	現状維持			3	(9		牙	į	現状維									
善	の	÷									σ. ナ.	, -							<u> </u>			
6	方	力 向	縮小			4	(8	3)	10		戸		縮	小								
方向性	向性 休廃止 ①										性	Ė	休廃	止								
性性性 皆 滅 縮 小 現状維持 拡												_			皆	減	縮	小	現状維持		拡	大
		- IL 200 411 11	40-1-	A =#-	コフ			の方	向 性		_		44			ス	<u>ا</u>		、の フ		性	
A	改		ŀ帯にとっ ·の費用を		日品の見ることで	購入費用 で経済的			になっ [・] ていま						个護用品 合するこ				斉的な負 が軽減さ			
Т	革	引き続き	、「サー	ビス提供	は事業 きょうしん	首(実務	者) •	介護支援	専門員	連絡会	引	き続き	、「サ	ーピス	ス提供導	業者	(実	務者)	 介護支 	援専	門員道	連絡会
i 議」等において、ケアマネージャーに周知し、対象となる方が事業を 改 利用できるように支援します。															アマネ- 愛します		-15	.周知し.	対象と	なる	万が	事業を
0	善善			~	~ / 0						197		J. J.	~1		٠						
Z)	策																					
,B 4		压左口:	रार लो•	00ÆFE	10 🗖	旦幼	=₩ /==	生 / -	⊭			, , 10	冷者·保					1	W SEE	*		
1 11支 着	≳評"	価年月E	1 平成	30年5月	10日	最 終	部 1曲	貝 1士 7	31			- 18 B	17 19 19 17	使珠	文			1	平澤	#	-	

事務	事業	名	地域支援事	ŧ	配食+	ナーヒ	ス事	業	-		-				事業期	間 平成	12	~		年度	整理番号	04020234
担当	当部	署	健康福祉部			7	齢者	・傷	保険課		高齢	者福祉	上係		作成担	当者名	伊	藤	浩	志	連絡先	334
			プランに 位置づけ	有	政策	策体	系		策 策 施 策 務事業	01 05	第1地域	節 和自立生	■祉 2 ೬活支	に支えあ 1 ピーナ 援 祉事業						づくり		
計	予	算	事 業 名	地均	支援	事業	費	配食	サービ	ス事業	費					会計	コート	00	款	03	項 01 目	10 事業 16
画	事務	第 事	· 業の概要 ph かりゃすく)	事業を研	は社会認し	会福	祉協を認	議会 めた	に委託 時は関	してい 係機関	るが、に連綿	市内	業者が		・弁当作	り及び	記達を	すると	∶Łŧ	IC. 4	その際当該	利用者の安否
			と 背 景うして)							増加、 安否確					関わり	も少なり	ハ傾向	があり)、配	食サ-	-ビスを実	施することで
	目	対	受益者 (誰のために)																		し世帯等。	
P		象	対象 (直接働きかける)	UU	KW.T.	wu	C 9:	* 'O	CW4	्राञ्च ह्या	1900年	י און כטיק	一で 反	t ∓ TF♥A	で四無る	日 及 ひき	₹/C C	907	יטיע	' ⊘ ∠ <i>)</i>	、世市寺。	
	的	(どん	意図	食事	作り	が困	難な	高齢	者や身	体障害	者等に	二栄養	のバラ	ンスがと	れた食	事を提	共する	ととも	ic.	配達的	寺に安否確	認を行う。
L A			・ 方 法 やって)	実施		。事																格等を365日 養会へ提出し
			行政活動の約	洁果	から:	つくり	けだす	-ŧσ	は何?	? 指	標	名	称	単位	算出ス	方法・言	†算式	・目标	票値設	定の	考え方など	最終目標値
N	評	活動	配食サービ	スが	提供さ	きれる	5			配食	数			食	配食物	ナービス	が提信	はされ	た延1	食数		22, 000
	価	指標	配食サービ	スが	提供さ	きれる	6			利用	者数			.	配食	ナービス	が提信	はされ	た実。	人数		
)	の 作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	i 標	名	称	単位	算出力	方法・言	十算式	• 目 相	票値設	定の	考え方など	最終目標値
	成	果指	継続利用して	c ŧ	らう					継続	利用革	<u> </u>		%		用者実人 - 利用者				止とな	なった利用	100
		標																				

		頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	1		(a)	円	7, 698, 743	9, 020, 957	9, 618, 431	10, 013, 172	10, 836, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円	7, 698, 743	9, 020, 957	9, 618, 431	10, 013, 172	10, 836, 000
	訳	一 般 財	源	円					
施	職	正 規 職	員	人	0. 02	0. 04	0. 04	0. 04	
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 02	0. 04	0. 04	0. 04	
*		対象 (者)	数						
			(b)		31, 529	37, 660			
			(b)	円	244	240	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	137. 00	161.00	172. 00	180. 00	196. 00
			目標	食	22, 000	22, 000	22, 000	22, 000	22, 000
		配食数	実績		31, 529	37, 660	42, 053	41, 447	40, 000
\sim	活		達成率	%	143. 31	171. 18	191. 15	188. 40	181. 82
	動		目標	人					
	動指	利用者数	実績		265	284	298	280	
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
	尓		目標						
		_	実績						
			達成率	%				_	
0			目標	%	100	100	100	100	100
	戍	継続利用率	実績		62	72	95	100	100
	果指		達成率	%	61.51	72. 18	94. 97	100.00	100.00
\cup	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%			_	_	_
	備老	市民プランの施策体験番 平成23年度からの評価で	号 0 あり、	101020 平成2	2、01020202 との材 2年度の成果指標であ	衝断的な事務事業です る継続利用率につい	。 ては不明です。		

		業名 地			配食サ																		
担	当 部	署健	康福祉	部		高調	帝者・1	呆険課		高齢者	福祉係			竹	F成担:	当者名	伊	藤	Ä	吉 志	連絡先	334	
	期			E	標						美		ŧ		特に無し。 特に無し。 特に無し。 特に無し。 特に無し。 特に無し。 現状維持 ③ レ ⑥ ⑨ ⑨ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・								
四	第	新たに	「やわら	らか食」(を図る	•			6月 延i ら「やわ							特に無	₹ し。					
半期	2期	者に11 供する	31 食 0		安否確	認の	サービ	スを提	•7月~9	9月 延	記食数	10,4	24;	食			特に無	∦ し。					
ני	3	65歳以 者に11 供する	32食の	とり暮らり配食と	らし等、 :安否研	食事作 望認の ⁻	Fりが困 サービ:	難な スを提	•10月~	~12月	延配食	数	10,	763食			特に無	ቘし。					
٤	4	65歳以 者に11 供する	33食の	とり暮らり配食と	らし等、 :安否確	食事作 経認の・	Fりが <mark>歴</mark> サービ	難な スを提	•1月~	3月 延							特に無	∦ し。					
Ø										事	中	ā	Ŧ	価									
•			台後、	約6ヶ月	月が経	過し、	新たに	こ生じ	た問題点	や環境	の変化	今	月		7	充		(2		⑤	7	
	特に	無し。										後	身		1 大維	持			3	レ	6)	(9)	
管													<i>O.</i>										
												の		, 引	<u> </u>	小			4)		8)	W W	
理	₩ =)実施計 明まで の				負(改	革・改	善策)		方	性	t 休	廃	止($\mathfrak D$						
	+ N	(294)	是 上十9	ME CO	ノ夫頼い	- 本 ノ	•					向					皆	減	縮	小	現状維持	拡	大
												性					⊐	ス	۲	投	人の方	向 性	
														_									
	Ī	评価年	隻		4年度																		
	裶	•		妥	当	ı	性		有	効	性						1	性		総	合評 個	1 判 5	Ē
評	評価	師の観点	₹ 1	2	3	4	判定	<u> </u>	2	3	4	判定	?	1	2	3	4		Ē		C		
	_	ェック		レ			2			レ		3										= AW -1- M-11	7 _
		食事のサービ	催保や スを提	安合催! 供でき	認等、 るよう	事業(の目的! 事業の:	は達成 対象者	されてし	いますか	、利用	者が 製し	増て	加して いきま	います	す。今 今後も	後も羅 対急者	続して		記		美を進め	る ∟
価	課			を行い				, 1 SN E	· HUDES	V -12 - 27 - 17				•		, <u>m</u> c	/1 ST E	` +-		- 10 .			
																				定	の見直しが必	必要	
~	題																			義 D:		休・廃止	の検
С	起																			前年度		定 C	;
																				前年度評	価シート整理都	5号 03010)447
Н			細	施	į	策		評	価	į	it			細		施		策		評	価	後	
_	総	独居や	高齢者	のみ世	帯等に	食事	を提供	すると	ともに、	安否確	認にも	つ	炉	や高	命者の	み世帯	等に食	事を	提供	すると	ともに、安	否確認に	もつ
E	슴	なかる 内容等	ため争の検証	果の必	要性は	に向いる	と考え	られま	9. 712	とも 対象	石、争	果ば	なって	いつにの	の手来	の必要	さない です。	6612	考え	しりれま	9。写像も	对家石、	事 来
С												ľ											
	評																						
K	価																						
<u> </u>	ш	前年	度。	改 革	· 改	善角	き の	実施	状 況	一 音	写	i i	前:	年度系	細施的	策 評 任	西にま	こける	5 今	・後の:	方 向 性 🔔		
改	^		細	施	į	策		評	価	Í	ή			細		施		策		評	価	後	
革	今	成	-12 拡	<u>充</u>			2		<u></u>	7		1	成			. 1							
改	後	果					į		ļ <u>.</u>				果	I									
善善	の	6 +	- 現状	維持			3		6	9			の士		元1人往:	1न							
の方	方	方 向	縮	小			4		8	(1))		方向	新	音 .	小							
方向	向	性	休月	落 止	1								性		ト廃.	止	••••••						
向性		_		_	皆	減	縮	小	現状維	推持 拮	広 ナ	ŧ					皆	減	縮	小	現状維持	拡	大
~	性					コス					性		_										
A	改	利用者行いま		に増加	してい	ます。	今後	も対象	者、事業	下内容等	の検証	を 末	押	者がフ ヽます。	に幅に	増加し	ていま	す。	今後	も対象	者、事業内	容等の検	証を
T	卑	איייויין.	7 0									[]	, v	· o - y o									
I	• ⊐h-																						
0	改善																						
Z)	苦策																						
最紀	佟評	価年月	日	平成30:	年5月1	8日	最 終	評(西 責 臼	E 者				高齢	者·保	険課長	ŧ _				平澤	精一	

事系	务事		地域支援事	業	住宅	牧良ア	ドバ	イザー	-派遣	事業					事業期間	平成	12	~		年度	整理番号	04020	235
担	当部	署	健康福祉部			漕	齢者	• 保隆	課		高齢者	5福祉	.係		作成担当	者名	伊	藤	浩	志	連絡先	334	4
計画	お事	する	プランに 位置づけ 事業名 要の概()	介記	載支援 養を必		サる 記	制者	事業 良ア 等の要	更援護	第1章 第1章 地域 い い が が で が で が で が で が で が で が り で り た り で り で り で り で り で り で り で り で	章 お 福 す 立 生 あ 遺 事 改 作	注 (五いに 注 (注 2 1 注 (注 支援 注 (健 福祉 集 費	ビーナ: 援 止事業	い、その, スプラン 合に、住	会計	冨祉)(の推進 001	款	03	項 01 目 で相談・		
			と 背 景うして)	在与すし	で介 V環境	護を行設定が	テう! ができ	こあた きるよ	り家屋 う、	を 専門職	造や要 のアド	援護 ^を パイン	者の身(スが必)	体状況、 要とされ	各種サー るため。	ビスの	活用	犬況を	勘案	し、揺	護者に合	う、介護	しや
P	目的	対 象 (どん	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける) 意図 な状態にしたいか)	介割	関職の	要とで	するii	高齢者	等の勇	更援護 更援護	者及び	そのまったま	家族、 環境設∶	要援護者	と同居し	ている	者。						
L A			・ 方 法 やって)	ア I ①#	・バイ ・健師	ザー。 i ②!	として	で派遣 療法士	する。 ③f	F業療	法士	④ ソ-	ーシャ	ルワーカ	って、登覧 一 ⑤ホ 改築相談	ームへ					けた以下0 :) 専門職等	,
		· -	行政活動の	結果	からつ	つくり	だす	ものに	は何?	指	1, 1,7,	名	称	単位	算出方:						考え方など	最終目	標値
N	評価指標の	活動指標	住宅改良ア	ドバ	イザ-	一の派	遣			派遣	回数			0	續)	× / ۱۳/	·1 9		M(VE)	ン/こ四	₩ \ ★		
	の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位							考え方なと	最終目	標値
	成	果指標	在宅での生	舌が	継続る	される	1			在宅	継続率			%	アドバー行った				利用し	して住	宅改修を		100

	Į	Į.	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	-	事業費等	(a)	円		28, 000	28, 000	6, 000	42, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円		28, 000	28, 000	6, 000	42, 000
	訳	一 般 財	源	円					
施	職	正規職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	
		嘱 託 職	員	人					
	員	臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	
1	>	対象 (者)	数						
	3	延利用(者)数	(b)						
		単位 コスト (a)/	(b)	円	_	_	_	_	_
況	5	受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	_	1. 00	1. 00	0.00	1.00
			目標						
		派遣回数	実績	1	0	0	0	0	
(活		達成率	%	_	_	-	-	-
	動		目標						
	指	_	実績						
D	押標		達成率	%	-	_	-	_	_
	悰		目標						
		_	実績						
			達成率	%	-	_	_	_	_
0			目標	%					
	成	在宅継続率	実績	70					
	果		達成率	%	-	_	-	_	_
)	指		目標			·			·
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	
	備	市民プランの施策体系番 平成25年度から評価対象	号 0 になり	101020 ました	2 と横断的な事務事 こ。	業です。			

事務	事	業名	也域支	援事	ŧ '	住宅	良ア	ドバイ	ザー	派遣事	業						事	業期間	平	成	12	~		年月	度 整	理番号	0402	20235
担旨	当部	图署 🖁	建康福	祉部			高	給者・	保険	課	7	高齢者	福祉	係			作用	戓担当	者名	传	#	藤	浩	志	ì	車絡先	3	34
	期				E	基本								実	績									課	題			
四	第 1 期						こつい ^っ を図る		しても	いて	連絡	護支 する。 月:利				会に	こて、オ	事業	につ	業の	利用	が減	ってし	いると	と思わ	てきて(れる。) パイス:	大規模	な改修
	第 2 期	環境.	上の支 継続さ	障を	或らし	し、在	員等 宅での 対良ア	生活及	び介	78	~9月	アド	バイサ	ў— ;	派遣	件数	女 0件	ŧ								等に服施する		できな
期ご	第 3 期	環境.	上の支 継続さ	障を	或らし	し、在	員等 	生活及	び介	・12 つし	月のが	2月 介護支 絡する らのア	援専	門員	連新	会	こて、		とに	今後 く。	、本	事業(の利用	用が	あった	場合、	対応し ⁻	てい
ے	第 4 期	環境.	上の支 継続さ	障を	或らし	し、在 ^s	員等 	生活及	び介	4 =	~3月	アド	バイサ	ゲー え	派遣	件数	女 0件	ŧ		今後 く。	、本	事業(の利用	用がる	あった	場合、	対応し [・]	てい
Ø												事	中		評		価											
							過し、									成	拡	弁	_			2			⑤		7	
	わオ	いる。イ	ト護保	険のも	E宅i	改修に	きてい おいて	るため も、介	、手茅 護支	その村) 援専門	书が洞 員と第	いてい を者、す	\ると k k k	思		果の		犬維持				3			6	レ	9	•••••
管	相談	炎し、改	修内	容を決	めて	こいる。	•									方	縮	/	`			4			(8)		(10)	
-		亲	折年度	の実	施計	一画・	予算要	東求事	項(i	改革・	改善	策)		_		向 性				D					•			
		令者等·	住宅畫	備費	助成	事業	ふれる	が保	建福祉	上事業)	には、		イザー	- 1	向	<u>ΙΤ</u> -	N) , 11	—) 	ن ون		ds	TEL	L 6# ++	+++	
	のホ	引用(電	姓2回	1)が必	/要/	なため	、最低	の回奏	切り	算要才	ξ.							/		皆 -	減っ			小		犬維持 、 ★	拡	大
															性	_	_				ス	. ト	· łż	ž /	\ 0.) 方	向	1生
ſ	į	評価年	F度		71	4年度		1																				
	礼	見点		끃	<u>;</u>	当		性			1	効		性			交	<u></u>	率		性		糸	総 ・	合 i	評 価	判	定
評	評値	5の観	点	1	2	3	4	判》	定	1	2	3	4	#	定		1	2	3	4	1	判定				С		
"	チ	エック				レ		3		レ					2			レ				2			=1		- WL. 1/4	
		う事	業者・	保健	富祉	+-1	りほと ごスセ	ンター	- 等で:	相談し	て改	医内容	を決	定し	.TL	いる	ため.	事業	の利	用字網	書がフ	ない	記	A :	計画 d とがii	どおり事 適当	* 美を進	めるこ
価	課	状況:	です。	ただ	高	齢者は	主宅整	備事業	のよ	うに改	修規	関が大	きく	なる	場台	16	は、末	用者	• 介	護者(カ日	常生	号の			の進め方 見模・内		
		活動1	作寺と	合わ	Ē,	建物の	の構造	や建物	の周	囲を言	めた	明言は	里安	~ a	ර 7	:8).	、争习	その軽	続か	必要	CF.	•	定		の見	直しが必	要	
(題																						義	υ:	事業は討がい	D統合、 必要	1个。発	正の快
С																										平価判別		C
н			細		施	:	策		評		価	-	ij				細		施		策		評		価シー fi	ト整理番	後	710446
••	総	今年		績は				必要な						職種	今	年度		續はあ		せん		必要				u こ行う(多職種
E	_						りであ																			集を継続		
С	合																											
	評																											
K	価																											
)	Щ	前	年 度	改	革	• 改	善多	乗 の	実力	拖 状	況	— 音	事	施	前	「年	度 細	施策	評値	西に	おけ	l る :	今 後	のフ	方向	性		
改	_		細		施	i	策		評		価	1	前				細		施		策		評	i	ſī	6	後	
革	今	成	拡	: 3	Ť			2		5		7)	レ	E	式	拡	充	5								:	ν V
改	後	果		大維打				3		6		9			Ē	果		大維持										
善	の	の方			- 							j				か 方												
の方	方	向	縮		\ 			4		8		U	V		Ī	句 .	縮	小										
向	向	性	休 	廃」	Ė,	1									1	生 _	休	廃止										
性	性			_		皆	減 	縮	小	· · · 入 ·	状維持のよう		広 性	大				_		皆.	減っ			小元。			拡向燃	大
Â	改	事業	を利用	する	ح _	で 適 t	コ のな住							り自	1	業を	·利用·	するこ	とで		□ . な住					ァーク 京者の	向 性 生活が。	
С	以革	立した	たもの	になっ	るよ	5 .	き続	き、事	業の	利用を	介護:	支援専	門員	等に	: 立	した	:もの	になる	らよう	、引	き続	き、	事業	の利	用を	个護支持	爰専門	員等に
T	·	同知	します	•											周	ᄴ	ます。	•										
0	改																											
	善																											
	策	<u> </u>			_									_	<u>_</u>	_												
最終	>評	価年	月日	平原	克30 :	年5月	18日	最	冬 評	価量	任	者					高齢者	-保障	課長	ŧ .					平	澤	精	_

事系	务事業	業名	地域支援事	集	生活。	を援体	制整	備事業	ŧ					3	事業期間	平成	28	~		年度	整理	番号	04020238
担	当部	署	健康福祉部			į	齢者	・保険	課		高齢者	5福祉	條	1	作成担当	者名	伊	藤	浩	志	連絡	各先	334
計	おり	ける	プランに位置づけ	有		策体	-	施 細 施 事務	事業		-	万 福	祉21	支えあい ビーナス に向けた	マプラン	(地域社の支援 の支援	福祉)	の推済	E		TE 01	Tel	10 + 4 00
AI	予	算	事業名		支援					整備事		#A =#	L (186 den -	+ z +	Esta A	会計:					項 01		10 事業 23
画			業の概要 _{わかりやすく)}											P る中、 Lの支援									活支援サーる。
			と背景うして)	様な	主体	が生	舌支扎	そ・介	護予防	iサー t	ゴスを	提供	すること		である。	また、	高齢:	者のが	護予	防が求			企業等の多 るが、心身
	目	対	受益者	高調地場	令者 成住民																		
Р		象	対象(直接働きかける)	多样	な生	活支	₩ • 1	下譜子	防サー	-ビス#	水利用 ·	できる	るような	は地域を	つくる。								
	的	(どん	意図													the above			ade 12	+ 4- 5	· Falle	7 → 1 10	
L A			・ 方 法 やって)	ネー	-ター	」を	记置?	する。	「生活	支援	コーデ	ィネー	ーター」	の地域質がは社会内な情報	福祉協議	会に委	託す	る。					コーディ
			行政活動の	洁果	からつ	つくり	だす	ものは	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目标	票値設	定の	考え方	など	最終目標値
N	評価	活動指	協議体の開	崔数						協議体	の開作	崔数		ヶ所	協議体	の開催す	数(写	ミ績)					10
	価指標の	標																					
	作	成	成果		効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目	票値設	定の	考え方	など	最終目標値
	成	果指標	協議体の開	崔数						協議体	の開作	崔数		0	協議体	の開催	数(写	足績)					10
		7不																					

項	李業計画 (予算) 24,000,000 24,000,000 22 24,000,000 22 24,000,000 24,000,000 24,000,000
The state of t	24, 000, 000 02 02 02 02 00 433.00
実施 県 支 出 金 円 地 方 債 円 円 セ の他特定財源 円 24,000,000 正 規 職 員 人 0.02 臨 時 職 員 人 0.02 対象(者)数 0.02 ガ 象 (者)数 0.02 カ (カ) 数 0.02 エ 利 用 (者)数 (b) 単位コスト(a)/(b) 円 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	00 433.00
実施 県東支出金 円 地方 (長円) 円 その他特定財源円 24,000,000 北 (記) 田職 正規 職員人人 職 正規 職員人人 0.02 臨時職員人人 対象(者)数(b) 延利用(者)数(b) 円 現 (1) (1) (24,000,000)	02
The	02
To	02
施 職 正 規 職 員 人	00 433.00
Table Ta	00 433.00
大	
大数 品 時 順 員 人 対象(者)数(b) 計 人 延利用(者)数(b) 単位コスト(a)/(b) 円 ー ー ー 受益者負担額円 円 ー ー ー 430.00 432.0 応議体の開催数 目標 実績 ケ所 の	
対象 (者)数 対象 (
双	00 433.00
単位コスト(a)/(b) 円 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	00 433.00
記 受益者負担額円 市民一人当たりのコスト円 ー ー 430.00 432.0 協議体の開催数 実績 ケ所	00 433.00
市民一人当たりのコスト 円	
目標 10 10 10 10 10 10 10 1	
協議体の開催数 実績 ケ州 0	10
協議体の開催数 夫根 り	1 10
活	
4	100.00
指	
D 標	_
達成率 %	_
日垣 10	0 10
成協議体の開催数 実績 回 0	1 10
果	
指	
標 一 実績 実績	
達成率 %	_
#	
備	
考	

	• •		也域支援 建康福祉		生活支			事業 保険課		高齢	者福祉保	Ę.			業期 成担					年 告 志	-	理番号 絡先	04020 33	
	期				目標						9	実 絹	Ę							調	見			
四	第 1 期	せ、地	10地区に 8区ごとの	0=-7	くを把握	量する。			おいて		属された5 区の地域 。						断シ-	ートを 協議	もと	コーディ: こ、9月 が い、本事	から10月	にかけ	て、各	地区
*	第 2 期	ティセ	生活支援 ンター、 者による いただけ	保健福	祉サー	ビスセ	ンター	、担当	による	打合せ	10月中旬 を行い、 取り決め	地区こ					各地區検討る			そめた協 ヽ 。	議体の	立ち上	げのた	හ්ග
期ご	第 3 期	各地間となり	区で本事 得る地域	業を進	めてい との協議	くにあた 養を行う	たり、ti j。	協議体			豊平、北 員と協議る			おいて	、区長	や地				変わる。 会を重ね			、い区 長	等
٤	第 4 期	各地間となり	区で本事 得る地域	業を進 なの方と	めてい との協議	くにあり 養を行う	たり、ti i。	協議体	10地区	⊻での †	協議を進む	めるこ	とが	できた	•		各地區	区の3	起情(こ応じて	、この	事業を追	色めてい	١٧.
o,										事		ā	_	価										
											境の変化 い、地区		成果			充			2		⑤		7	
445	こと	:に協力	」、参加し	ハただい	ナる団体	本を取り	ノ決め かんしょうしょう	た。今後	は、各	地区で	取り決め	後	まの		状維:	持			3		6	レ	9	
Ħ	た協	品議体(の立ち上	げのた	:めの検	討を始	めたし	, \ _0				の	力			小			4		8		10	
		親	新年度の	実施記	汁画・	予算要	求事	項(改	革・改	(養養)	方	向性		廃.	ı ı. (1)							
											を進めて	. I	1-1		<i>15</i> C -		<u>)</u> 皆	減	縮	小	現状	· 4/# +±	拡	大
	たし		' ∔ බං †	成30年	及にの	υ C O :	現状の	T#C	し、 本	・ 来で、	進めている	性	_	/	_			ス	/пн 	-	入の		向性	
	_	評価年			当年度		het.			_	L 4	ıL.			+ .L			.keL		41X	A =:	T. /TT	skil	_
		児 点 画の観		妥 l 2	当 3	1 4	性判別	2 1	有 2	· 🕏		生 判定	,	1 1	効 2	率	1 4	性割	史	総	台音	平価	判	定
評		エック			-	7	4 4	<u>- </u>		-	7	4	-	-		- 0	7		Æ.			Α		
	Ť	· 生	舌支援コ								市域に			区 に10	人配置	しま	した。	この	· 事	記 A	: 計画と		業を進め	めるこ
価(課題	• 生》		制整備	事業に	こついて	て、部	内プロ			を行いる 対しまし			也域福	祉計画	事の	関係性	の整	理	号 の 定 義 D	とが業業 ・事業見業が ・事業が ・事業が ・事業が ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので	進め方 模・内 しが必 統合、要	容・実が要 (休・廃」	拖主体
С																					「価シート			
н			細	拼	Ē	策		評	価		前			細		施		策		評	価		後	
E	合	地区:会福祉	コミュニ	ティセ	2ンター	-や保修	建福祉ハ、連	サービ	スセン 事業を	ター等 進めて	の各課	社社会	福	コミコ社協議	ニテ	ィセン	/ターヤ 接等を	5保健	建福社	止サービ 車携して	スセン事業を	·ター等 :進めて	の各調いく。	₹・社
K	評価																							
<u> </u>		前	年 度 7	改 革	· 改	善第	きの	実 施	状 況			Ī	前右	∓度糹	田施多	ŧ 評 ′	西にま	らけ	るぐ	き後の	方向!	生		
改	今		細	挤	E	策		評	価		前			細		施		策		評	価		後	
革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後	成	拡	充			2		⑤		7		成	拉	. 3	充				_				
改	の	果の	現状	維持			3	••••	6	V	9		果の	瑪	状維持	寺					l	<u>ا</u>		
善の		方	縮	小			4		8		10		方	縮	,	<u>ا</u>								
方	方	向 性	休月		(1)		~		~				向性											
向	向	1_	NV 15	<u> </u>	皆	減	縮	小	現状	維彗	拡	大	-	1/1))		皆	減	縮	/\ <u>\</u>	担仆	維持	拡	大
性(性				白	ルスコス		-	現状 入の			^						ルス		·投				
A	改					-や保保	建福祉	サービ	スセン	ター等	の各課						ターヤ	5保保	植福花	Lサービ	スセン	ター等	の各調	・
C	革	会福祉	业協議会	と情報	校交換等	きを行し	ハ、連	房して	事業を	進めて	いく。	£	福	祉協調	会と	情報さ	換等を	行し	۱. j	重携して	事業を	進めて	いく。	
I	•																							
0	改美																							
Z)	善策																							
	ж						T																	
_		価年月			年5月1					任 者						険課長					平	澤		

平成29年度事務事業評価シート(一般事務事業用)

一般会計【茅野市】

			長野犯罪		支援も	ミンタ	一貝	担金							事 業期間	平成	20	~		牛皮	整埋番号	040	10105
担:	当 部	署	健康福祉	部		地	域福	祉課			福祉総	務係			作成担当	者名	竹	村	紀	彦	連絡先	3	03
	市 おり	民 : ける	プラン 位置づ	にけ	政分	策 体	系	政 施 細 が 事務		01 05	第 1 章 第 1 節 地域自 地域生	· 福 立生	祉 2 1 活支援	ピーナ: も	ハ、その. スプラン					()			
計	予	算	事業名	ž												会計	コード	001	款	03 I	頁 01 目	01 事	6 業 03
画	事	務事 潔にす	· 業 の 概 ^{わかりゃすく}	で指 要 0 7	記え持 事業を 5円の	つ悩a 行い、 負 担s	りの もっ 全をす	解決や って地 を出し	心の 域社会 ていま	アなる の安全 きす。	ピに当 <i>た</i> ≧及びノ	とると	ととも D 擁護	こ、法廷 こ 寄 与す	等への付 ることを	添いた目的と	・犯罪 ∶して	被害者 いる団	等給作体です	寸 金受 ナ。こ	または面 給申請の の団体に	補助な 茅野市:	どの支 から 1
			と背景	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	や経済	面ある	るいは	は精神	面なと	経済的	りにも押 けた被害	手を	を受け(B.速か)	いた被害 つ 適切 に	者の方々 回復でき	に、れるよう	ないの 支援 ・ 支援・	手を差 する必	し伸′ 要がa	く、公 ありま	正な 処遇 す。	を受け、	、医療
	目	対	受益 (誰のため)	=)				髪セン															
Р		象	対象	-శ్ర)																			
	的	(どん	意図 な状態にしたい	.tv)	下被害	者への	の支張	そ を 充	実する	0.													
L				犯罪	『被害	者への	の支持	とを充	実する	.													
A			・ 方 ½ やって																				
			行政活動	の結果	からこ	こくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	・目標	値設2	定の考	え方など	最終	目標値
N	評	活動指	補助金交	付						回数				•	開催数								1
	価指標	標																					
)	の作	成	成り	₽ ·	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目標	値設:	定の考	え方など	最終	目標値
	成	果指	電話相談	受理件	数(県	(内)				件数				0	電話受	理件数	(県内	4)					151
		標																					

:	項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	事業費等	(a)	円	100, 000	100, 000	100, 000	100, 000	100, 000
財	国庫支出	金	円					
実 源	県 支 出	金	円					
内	地方	債	円					
	その他特定財	源	円	100.000	100		100	100.000
訳	一般財	源	円	100, 000	100, 000	100, 000	100,000	100,000
龍職	正規職	員	ᄉ	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
員	嘱 託 職	員	-					
数	臨 時 職	員	<u> </u>	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
-	合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	<u>対 象 (者)</u> 延 利 用 (者) 数	数 (b)						
		(b)	円	_	_	_	_	_
	<u>単 124 コース・ト (a) /</u> 受 益 者 負 担	額	円	_		_	_	
	ス 並 名 貝 担 市民一人当たりのコス		円	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	3. 00
	<u> </u>	目標		1	1	1	1	1
	回数	実績		<u> </u>	1	i	1	- i
~ . <u>.</u>		達成率	%	100.00	100, 00	100.00	100.00	100.00
活		目標	,,,	100.00	100.00		100100	
動 指	_	実績	_					
指		達成率	%	_	-	_	_	_
P 標		目標						
	_	実績	_					
		達成率	%	_	-	-	_	_
0 .		目標						
成果	件数	実績		151	232	182		
果		達成率	%	_	_	_	_	_
」 指		目標	_					
標	_	実績						
		達成率	%					_
備	自治体では19市他約3	大の終	付が負	担金を交付していま 負担金と合わせて連	す。市町村人口1人 終あり	.当たり2円を目安に	負担しています。	

成果指標の実績は、6月末の総会後に負担金と合わせて連絡あり。

担当的	· ~ ·	名長野	心非拟古乍			F 12.							尹木 🌣	閒│平	1-20	0 ~		T 13	2 罡垤留万	04010100
	部署	習 健康	福祉部		地地	ず福祉	課		福祉	総務係			作成担	当者名	竹	村	③ ⑥ レ ⑨ ⑩ 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加			
期	ī			目 標							編							課	題	
第 _四 1 期	; ii	青求に対	する速やか					補助金	請求な		12				請求	こ対す	⁻ る速-			
第 2 期	請	青求に対	する速やか	な予算	[執行			請求に	基づき	負担金を	執行	をする。	,		次年	度予算	要求	に向け [・]	て金額の検討	₦.
第 3 期	次	次年度予	算要求に向	けて金	食額の相	食討。		次年度·	予算要	球に向け	て金	額の検	ið.		次年	度予算	要求	に向け [・]	て金額の検討	Ħ .
第 4 期	次	火年度予	算要求に向	りけて金	食額の植	食討。		次年度	予算額	の検討の	結果	同額と	なった	•	次年	度予算	要求	に向け [・]	て金額の検討	₹.
D _									事		ř	į (西							
当	年	度開始復	後、約6ヶ	月が経	過し、	新たり	こ生じ	た問題点	や環	境の変化	今		拡	充			2		⑤	7
管											後	果 […] の	現状約	推持			3		⑥ レ	9
											の	方	縮	小			4		8	10
		新年	度の実施	計画・	予算要	求事	項(改	革・改	善策)		方	向 性	休 廃	止(D					
里 —											向	·			<u> </u>	減	縮	ıls	現状維持	拡大
											性		/			<i>"</i> ス		-		
<u> </u>											1-	_					•			
_		価年度		当年度																
	視	点の知点	妥	当		性	5 1	有	<u>対</u> 13			1	効	率 3		性	_	総 1	合評 価	判定
ii .		の観点	1 2	3	4	判5	<u> </u>	2	3	4	判定 4	+-	2	3	4	+ 11			Α	
			活用状況を	・確認す	上る。	•	<u> </u>	l l			•				1			_ A :	計画どおり事	業を進める
価 課	Ę																5	B: C:	事業の進めた 事業規模・内]容・実施主
つ 題 C	Ī																事	퉟 D∶ 前年度	<u>討が必要</u> 総合評価判別	ŧ A
нЬ	+	4	aa t		策		評	価		前			細	施		策				
総 E 合 C	֝֞֞֞֞֞֞֞֞֞֞֞֞֞֞֞֞֞֜֞֞֞֞֜֞֞֞֞֞֜֞֞֞֞֞֞֞֞֞	助金を]体から		の状況			献助金		用補に	助金を	交付し		から					
K 一 一		前年	度 改 革	• 改	善多	もの	実施	状 況			Î	1 年 度	E 細 施	策 評 任	西にす	3 け	る今	後のブ	5 向性	
価			度改革					状況		前	前				西にま					净
改一	,	â	en t	· 改 他	善 策		実 施 評	価		前⑦			細	施	西にす	うけ 策				後
は な 単・ 後		成 果	細 			2		⑤	i	7		成 果	抽拡	施 充	西にも					後
は 一	,	成果の主	田 方 拡 充 現状維持			2		価 ⑤	V	7 9		成 果 の	細 拡 現状約	施 充 维持	西にす					後
一 な革・改善の 一 今 後 の 方		成果の方向	組 が 拡 充 現状維持 縮 小	包		2		⑤	V	7		成果の方向	細 拡 現状系 縮	施 充 註持	西 に a					後
一 改革・改善の方向 一 今 後 の 方 向	· ·	成果の方向	田 方 拡 充 現状維持	f	策	② ③ ④	評	価 ⑤ ⑥ ⑧	V	⑦ ⑨ ⑩		成果の方	細 拡 現状約	施 充 註持		策		Ŧ	価レ	
一 改革・改善の方向 一 今後の方向		成果の方向	組 が 拡 充 現状維持 縮 小	包	策	② ③ ④ 縮	評	価 ⑤ ⑥ ⑧	レ	⑦ ⑨ ⑩ 拡		成果の方向	細 拡 現状系 縮	施 充 註持	皆	策	縮	评	個レフリスの表現である。	拡大
の は の 方 向性 の 方 向 性 の 方 向 性	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	成果の方向性・助金を	班 方 現状維持 縮 小 休 廃 止	も	策 減 コ フ	② ③ ④ 縮	評	価 ⑤ ⑥ ⑧ 現状組入	レ 掛方 向	⑦ ⑨ ⑩ 拡 ⁷ 钶 性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	成果の方向性 助金	細 拡 現状線	充発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	皆 =	策 減 」 ス	縮ト	評 小 投 <i>ノ</i>	価 レ 現状維持 の 方	拡大向性
) 改革・改善の方向性(AC) 今後の方向性 改革		成果の方向性・助金を	班 方	も	策 減 コ フ	② ③ ④ 縮	評	価 ⑤ ⑥ ⑧ 現状組入	レ 掛方 向	⑦ ⑨ ⑩ 拡 ⁷ 钶 性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	成果の方向性 助金	細 拡 現状線	充サルル	皆 =	策 減 」 ス	縮ト	評 小 投 <i>ノ</i>	価 レ 現状維持 の 方	拡大向性
) 改革・改善の方向性(ACTI価	神に	成果の方向性・助金を	班 方 現状維持 縮 小 休 廃 止	も	策 減 コ フ	② ③ ④ 縮	評	価 ⑤ ⑥ ⑧ 現状組入	レ 掛方 向	⑦ ⑨ ⑩ 拡 ⁷ 钶 性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	成果の方向性 助金	細 拡 現状線	充発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	皆 =	策 減 」 ス	縮ト	評 小 投 <i>ノ</i>	価 レ 現状維持 の 方	拡大向性
改革・改善の方向性(ACTIO 今後の方向性 改革・改善		成果の方向性・助金を	班 方 現状維持 縮 小 休 廃 止	も	策 減 コ フ	② ③ ④ 縮	評	価 ⑤ ⑥ ⑧ 現状組入	レ 掛方 向	⑦ ⑨ ⑩ 拡 ⁷ 钶 性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	成果の方向性 助金	細 拡 現状線	充発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	皆 =	策 減 」 ス	縮ト	評 小 投 <i>ノ</i>	価 レ 現状維持 の 方	拡大向性
一		成果の方向性・助金を	班 方 現状維持 縮 小 休 廃 止	も	策 減 コ フ	② ③ ④ 縮	評	価 ⑤ ⑥ ⑧ 現状組入	レ 掛方 向	⑦ ⑨ ⑩ 拡 ⁷ 钶 性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	成果の方向性 助金	細 拡 現状線	充発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	皆 =	策 減 」 ス	縮ト	評 小 投 <i>ノ</i>	価 レ 現状維持 の 方	拡大向性
→ 女 値・女 巻 の 方 向 性 改革・改善策	神 に	成果の方向性・助金を	掘 方 拡 充 現状維持 縮 小 休 廃 止 交付したに 確認をする	も	策 減 コラシ事業の	② ③ ④ 縮 ト か状況	か投入報告を	価 ⑤ ⑥ ⑧ 現状組入	上 持方 「	⑦ ⑨ ⑩ 拡 ⁷ 钶 性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	成果の方向性 助つ	細 拡 現状網 体 交確認 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	充発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	皆 =	策 減 」 ス	縮ト	評 小 投 <i>ノ</i>	価 レ 現状維持 の 方	拡 ブ 向 性 金の有効活

事務	務事業名 福祉21 茅野 生活困窮支援ネットワーク ∂							-ク部	会事務	務局					事業期間 平成 29				~ 年度 3			04010305	
担	当部	署	健康福祉	上部		į	也域福	祉課			生活福	祉係			作成担当	省名	立	石	武	彦	連	絡先	318
	市おり	民 ナる	プラン 位置づ	に i け	〕 政	策体	系	政 施 細 が 事務		01 08	第1節 第2次	福祉	社2 21	1ピーナ	い、その スプラン プランの プラン指	/(地域)推進	福祉)			づくり			
計	予	算	事 業	名						1				-		会計	コード	·	款		項	目	事業
画	事	務事	ま業の概 わかりゃす	要	ワー	ク部会	:J (= 8	おいて	検討を	き進める	6.												窮支援ネ、
			と 背: うして	京計	画及	び都道	府県地	也域福	祉計画	画の策力	こにつし	ハて」	(平.	成26年3		援発03	27第1						村地域福祉 長通知)に
	皿	女	受益 (誰のため 対 刻	[) 生	民 活困!	寫支援	ネッ	トワー	ク部会	員													
P	的	象	(直接働きか)	(†る)	政とi	市民の	協働(こより	第3岁	々福祉 2	2 1 년-	ーナス	スプラ	ンを策定	≧し推進	してい	〈体制	を構象	楽する	•			
L	手	段	・ 方: やって	法						置された してまと			寫支援	ネットワ	アーク部	会にて、	生活	困窮	者支援	体制を	中心)に課題	「の抽出、ラ
			行政活動	かの結り	具から	つく	りだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出プ	法・記	†算式	目標	標値部	定の	考え	方など	最終目標個
N	評価	活動指	生活困窮	支援ス	トット	ワー	か部会	の開作	ŧ	部会開	催回勢	ţ		•	実際に	部会か	く 開催さ	きれた	:回数				6
)	指標	標																					
	の作	成	成	果・	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出プ	法・言	†算式	· 目	標値割	定の	考え	方など	最終目標個
	成	果指	部会の報	は告書が	作成	される	5			報告書	作成革	K		%	報告書	が作成	された	とか否	か				100
		標																					

	J	頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	1		(a)	円					
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	田					
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円					
施	職	正 規 職	員	人				0. 28	0. 05
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人				0. 28	0. 05
11		対 象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	_	_	_	_	7. 00
			目標						
		部会開催回数	実績					6	
	活動指		達成率	%	_	_	_	_	_
	動		目標	_					
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
	יזגו		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0	-	400 44	目標	%				100	
	戍	報告書作成率	実績					100	
	果		達成率	%	<u>-</u>	-	-	-	-
)	指		目標	_					
	標		実績	0/					
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
	考								
	7								

旦当音		福祉21	茅野 生	活困窮支	援ネット	ソーツ	部会事務	局				事業期間	間 平原	戈 29	~		年度	整理番号	040103	
	部署	建康福	扯部		地域福祉	課		生活福祉	业係			作成担当	当者名	立	石	武	彦	連絡先	318	
期			E	目 標					実	編	Ī						課	題		
第 1 期		困窮支	援ネットワ	フーク部会	会の開催		会(6/9)	の開催。 第者自立	支援制	度の		5/11)、第4[军、生活困窮		生活困窮者自立支援制度は新しく、部会における 検討事項の方向性を明確にする必要がある。						
第 2 期	生活	困窮支	援ネット「	フーク部会	会の開催		第5回部 現状の相 の検討を 報告書の	目談支援 行った。	体制の	課題	会(8 を整	3/24)のを開 選理し、支援	保健福祉サービスセンターの機能について部会 の枠を検討が必要。							
第 3 期	生活	困窮支 書の作		フーク部会	会の開催		第7回(10 報告書業 完成に至	を作成		ハて	修正検討を	生活困窮者自立支援制度支援制度の理念の実現のため相談支援のネットワークを中心とした検討であり、部会の具体的活動事項の検討ができなかった。								
第 4 期	生活	困窮支	援ネットワ	フーク部会	会の開催									第3次福祉21ビーナスプラン策定後の部会の活 の必要性の検討。						
D								事	中	ř	F	価								
当	年度開	開始後、	約6ヶ.	月が経過	し、新た	に生じ	た問題点						成 拡 充		Ç	2	(5	7	
音										後	果の	現状維持	诗		C	3) L	• (6	9	
										の	方	縮	ıļ١		(4)	(8	3	10	
					算要求事					方	向性	休廃」	Ŀ (D						
生流	活困窮	支援ネ	ットワーク	か部会が行	テラ予算事	業の予	定はない。	•		向					減	縮	小 :	現状維持	拡	
										性		/		_ ,			. 入		向 性	
										1-										
	評価名	 		当年度																
	視点		妥	当	性	5 1	有	効	性		_	効	率	性		総	合	評価	判	
*	価の街 - ェッ <i>-</i>		2	3	4 判2	<u> </u>	2	3	4	判定 4	╁	1 2	3	4 با	判定 3	-		C		
証 課	部会体に	で検討 実施責	を進めて 任があり	さたが、 各事業を	生活保護 実施して 建福祉サー	制度は いるた ビスセ	福祉事務 め、相談 ンターの	所、生》 支援体制	舌困窮 制(包	者自 括的	立支 支援	、生活困難 援制度は福 体制)の認 超えた議論	祖事 題提	多所設置 起と目指	置自治 旨す支	記号の	と B:事	·画どおり が で で が が が が は が は り り り り り り り り り り り り り	に改善が 容・実施	
題	ナス	プラン	策定後は	、部会力	可性を再	検討か	必要。			X 07	1+ @			, ,,,,		義前金	D:事 討 丰度総	業の統合、 が必要 合評価判定	休・廃止	
	ナス	プラン:	策定後 は	、部会方	で 同性を再				Ī	- E	1+ œ		施		6	定義 前 ^在	D:事 討 丰度総	業の統合、 が必要 合評価判定 シート整理番	休・廃止	
H 総	ナス	プラン: 細 困窮者	策定後は 施 自立支援	、部会方	策	評念の実	通のため	削棚談支	爰のネ	ツ 生	活团	細	施支援制		100	定義 前年 前年 評	D:事計 年度総 度評価:	業の統合、 が必要 合評価判定 シート整理番 価 のため相談	休・廃止 号 後 後	
C H 総	ナス生活ワ	プラン: 細 紹 育を	策定後は 放 自立支援 中心とし	は、部会力	策 暖制度の理 を援につい	評 念の実 て検討	価 現のため した。第	前 相談支援 3次福祉	爰のネ 21ビ-	ッ ッ ー ト	活り	細 B窮者自立 -クを中心	支援制とした	度支援包括支	制度の	定義前年が理念のいた。	D:事計 度 度 実計	業の統合、 が必要 合評価判算 シート整理番 価 のため相談 た。第3次	休・廃止 号 後 後 概支援の 福祉21日	
C 総合	ナ生トナ討ち	プラン 細扇者・プラン	策定後は 放 自立支援 中心とし	を 動度支援 た包括す からにおり	策 暖制度の理 を援につい	評 念の実 て検討	価 現のため した。第 が検討さ	前 相談支援 3次福祉	爰のネ 21ビ- 会での	ッ - 検 ナ	活りつ	細 困窮者自立 - クを中心 プラン策定:	支援制と委員を	度支援 包括す におい プラン	制援で策に	定義前年アンスのである。	D:事計 度 度 実計	業の統合、 が必要 合い要 合いで シート整理番 のため相談 た。第3次 検討され、	休・廃止 号 後 後 概支援の 福祉21日	
H 総 合 評	ナ生トナ討ち	プラン 細扇者・プラン	策 定後 立心定 支と委 が が 振	を 動度支援 た包括す からにおり	策 暖制度の理 を援につい	評 念の実 て検討	価 現のため した。第 が検討さ	前 相談支担 3次福祉 れ、部 れた設置 制度の名	援 のネー 21 で 会 の 台 き も も 本 と も 本 と も な と り と り り り り り り り り り り り り り り り り	ツー検えにを	活りつ	細 困窮者自立心 ラランカ 司様の 記話困事あり ほ話氏が	支と委性策の制た会のつ活	度包にプい保 支括おうて護制	制援て策、度にも定福や	定義前年のでは、京都のいは、京都のいはいいは、京都のいいは、京都のいは、京都のいは、京都のいは、京都のいは、京都のいは、京都のいは、京都のいは、京都のいは、京都のいは、京都のいは、京都のいは、京都のいはいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	D 程度 実計援成や者 事討総価現しが果福自	業が合う の必評ト価では、計算を のた検は社立で、 のた検は社立で、 では、対理を のた検は社立で、 では、対理を のた検は社立で、 では、対理を のた検は社立で、 では、対理を がでは、対理を がでは がでは、対理を がでも がでは、対理を がでも がでも がでも がでも がでも がでも がでも がでも がでも がでも	休・廃止 号 後 変を記される。 と を を を を を を を を を を を と を と を と	
H 総 合 評	ナ 生トナ討る 実実	プラン 細扇者・プラン	策 自中策方窮あると 立心定向施りた 被援し員でに生、	を 動度支援 た包括す からにおり	策 暖制度の理 を援につい	評 念の実 て検討	価 現のため した。第 が検討さ	前 相談支抗 3次福祉 れ、部	援 のネー 21 で 会 の 台 き も も 本 と も 本 と も な と り と り り り り り り り り り り り り り り り り	ツー検えにを助生している。	活ワスと。施施	細 和 相 相 相 自 自 力 は は は は は は し に は し に は し に は し に は し に は し に は し に は し に に が し に に が に に が に に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に に に に に に に に に に に に に	支と委性策。め要援し員でに生、。	度包にプい保友 支括おうて護ビー 3次	:制援で策、度・大度にも定福やス	定義 前年 評念で括り、京風	D 程度 実計援成や者 事討総価現しが果福自	業の統合、 が必要 合い要 合いで シート整理番 のため相談 た。第3次 検討され、	休・廃止 号 後 変を できる を を を を を を を を を を を を を を を を と の と の	
と 総 合 評	ナ 生トナ討る 実実	プ 田一プ同生責し 対 の 田一プ同生責し	策 自中策方窮あるが改定 立心定向施りた必及後 支援性策。め要革	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	策 緩制度の理 と援につい で策定は、 になきに事 は、 ではまるでする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	評の検支、所窮を 実討援成や者気 施	価 現のため した。第 が検討さ	前 相談支担 3次福祉 れ、部 れた設置 制度の名	援 のネー 21 で 会 の 台 き も も 本 と も 本 と も な と り と り り り り り り り り り り り り り り り り	ツー検えにを助生トナ討る実実内	活ワスと。施施	細 国際者を 一プラ様の 一プラ様の は活任がい がして にして を にして を は にして に に に に に に に に に に に に に	支と委性策。め要を制た会のつ活第一個	登 度包にプい保護 (3次 に お) に お に お に か に お に か に お に か に か に か に か	は制援で策、度ナーける。	定義 前年 評念で括り、京風	D 東度の食を所谓策事討総価。現しが果福自能	業が合う の必評ト価では、計算を のた検は社立で、 のた検は社立で、 では、対理を のた検は社立で、 では、対理を のた検は社立で、 では、対理を のた検は社立で、 では、対理を がでは、対理を がでは がでは、対理を がでも がでは、対理を がでも がでも がでも がでも がでも がでも がでも がでも がでも がでも	休 産 号 後 優和 21 に とと で とと を 値 名 を に と と で とと を 値 名 本 で と と で と と で と と で と と で と と で と と で き と で さ と で き と で さ と で さ と で き と で さ と で と と で さ と で さ と と さ と で さ と と で さ と と さ と と さ と と で さ と で さ と と さ と と と と	
総合評価	ナ生トナ討る実実内前	プ	策 自中策方窮あるができる。めを後 支と委性策。めを後し 放授し員でに生、。	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	策をを受ける。 を表して、 をまして、 を表して、 をまして、 を表して、 をまして、 を表して、 をまして、	字の検支、所窮困ラ 実計援成や者別	価がります。 おります の の の かい の かい の の かい の の の の の の の の の	前報表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	爰21でと治事活 の対する のがある の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ツー検えにを助生トナ討る実実内	活ワスと。施施容の	細 和 和 和 自 自 中 策 方 京 は 活 に で を は た な を を は た な を を は た な を は を を は を を を は を を を を を を を を を を を を を	支と委性策。め要援し員でに生、。	登 度包にプい保護 (3次 に お) に お に お に か に お に か に お に か に か に か に か	:制援で策、度・大度にも定福やス	定義 前年 評念で括り、京風	D 東度 実計援成や者定の事計総価・現しが果福自定方	業が合シーのた検は社立をのいた検は社立をのいた検は社立をのいた検は社立をのいた。対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、	休・廃止 号 後 変を できる を を を を を を を を を を を を を を を を と の と の	
総合評価今後	ナ 生トナ討る実実内前 成	プ 細 素 を ン の 細 者 を ン の 困 が い 計 度	策 自中策方窮あるが改定 立心定向施りた必及後 支援性策。め要革	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	策 緩制度の理 と援につい で策定は、 になきに事 は、 ではまるでする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	評の検支、所窮を 実討援成や者気 施	価が 現のた。 かり が果は は が は は は は は は は は は は は は は は は は	前支担 相談支担 3.れたもの 3.れた対理 で 4. 大方向性 -	爰21でと治事活 の対する のがある の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ツー検えにを助せた。	活ワスとは11年 成の一方のでは、11年の一方のでは、11年の11年の11年の11年の11年の11年の11年の11年の11年の11年	細 国育者自立心 の の の の の の の は に は の に は の に は の に は の に は の に は に は は に は に は は に は は は は は は は は は は は は は	支と委性策。め要を制た会のつ活第一個	登 度包にプい保護 (3次 に お) に お に お に か に お に か に お に か に か に か に か	は制援で策、度ナーける。	定義前の年間のではまず、今ででは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一	D 東度 実計援成や者定の事計総価・現しが果福自定方	業が合シーのた検は祉立を向いた。計得事を担い、ため、対策を回り、は、対策を受ける。対策を対して、ののに検は社立をの性がある。対策を受ける。対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	休 産 号 後 優和社会のと治事に対している。	
総合評価今後	ナ 生トナ討る実実内前 成果の	プ	策 自中策方窮あるが改 立心定向施りた必改 放援し員でに生、。 旅	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	策をを受ける。 を表して、 をまして、 を表して、 をまして、 を表して、 をまして、 を表して、 をまして、	評の検支、所窮を 実討援成や者気 施	価がります。 おります の の の かい の かい の の かい の の の の の の の の の	前報表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	爰21でと治事活 の対する のがある の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ツー検えにを助生トナ計る実実内育	活っては、一般に変なり、一般では、一般では、一般では、一般では、一般である。	細 和 和 和 自 自 中 策 方 京 は 活 に で を は た な を を は た な を を は た な を は を を は を を を は を を を を を を を を を を を を を	支と委性策の対要を行う。対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	登 度包にプい保護 (3次 に お) に お に お に か に お に か に お に か に か に か に か	は制援で策、度ナーける。	定義前の年間のではまず、今ででは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一	D 東度 実計援成や者定の事計総価・現しが果福自定方	業が合シーのた検は祉立を向いた。計得事を担い、ため、対策を回り、は、対策を受ける。対策を対して、ののに検は社立をの性がある。対策を受ける。対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	休 産 号 後 優和社会のと治事に対している。	
2 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	ナ 生トナ討る実実内前 成果の方	プ	策 自中策方窮あるが改 立心定向施りた必な 充 一	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	策とでは、大学を表現である。 「では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学	評の検支、所窮を 実討援成や者気 施	現のため第さら務接をは、 (5)	前数支払 13次 14 13次 14 13次 14 13 14 15 15 16 16 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	爰21でと治事活 の対する のがある の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ツー検えにを助生トナ計る実実内育	活つ大との施施2000年 成果の方	細 日本 立心定 内 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	支と委性策の対要を行う。対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	登 度包にプい保護 (3次 に お) に お に お に か に お に か に お に か に か に か に か	は制援で策、度ナーける。	定義前の年間のではまず、今ででは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一	D 東度 実計援成や者定の事計総価・現しが果福自定方	業が合シーのた検は祉立を向いた。計得事を担い、ため、対策を回り、は、対策を受ける。対策を対して、ののに検は社立をの性がある。対策を受ける。対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、は、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対して、対策を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	休 産 号 後 優和社会のと治事に対している。	
総合評価 今後の方	ナ 生トナ討る実実内 成果の方向性	プ 困ープ同生責しの 年 ラ 細 者をンの困がい討度 細 拡 現 縮	策 自中策方窮あるが改 状 で	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	策 髪制度の理 を接ていて、 を指して、 をででででででである。 でででは、 でででは、 でででは、 ででできる。 でででは、 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でできる。 でできる。 ででできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 ・ できる。	評の検支、所窮を 実討援成や者気 施	価のかります。 一切のた。計得事支部 ・大は祖立のの況価 ・「気」のでは、「しまり、「しまり、「しまり、「しまり、「しまり、「しまり、「しまり、「しまり	前数を担ける 前 3 れれ 所制会	爰21でと治事活 の対する のがある の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ツ 検えにを助	活っては、一般に変なり、一般では、一般では、一般では、一般では、一般である。	細 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	支と委性策の対象を行うできた。評価を持た会のつ活第一位	登 度包にプい保護 (3次 に お) に お に お に か に お に か に お に か に か に か に か	は制援で策、度ナーける。	定義前の年間のではまず、今ででは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一	D 東度 実計援成や者定の事計総価・現しが果福自定方	業が合 シ	休 産 号 後 優和社会のと治事に対している。	
C 1	ナ 生トナ討る実実内前 成果の方向性	プ 困ープ同生責しの 年 ラ 細 者をンの困がい討度 細 拡 現 縮	策 自中策方窮あるが改 状 か で	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	策 髪制度の理 を接ていて、 を指して、 をででででででである。 でででは、 でででは、 でででは、 ででできる。 でででは、 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でできる。 でできる。 ででできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 ・ できる。	ではいる 実 評 の検支、所窮な 施 小	価のた。計得事支部 沢 価 (5) (6) (8) 現状維	前数を担ける。 おおり おおり おり おり おり おり おり かり かり かり かり かり かり かり かり かり かり かり かり かり	優のネース (2010年) (2010年	ツ 検えにを助	活ったとの施施の年成果の方向	細 国際者自立立 できません は できません は できまる は できまる が 施 できまる が 施 現	支と委性策の効果を行う、中に上げ、特に会のつ活第一位	寮 を	制援て策、度ナ け を	定義が年にあるでは、一直では、一直では、一直では、一直では、一直では、一直では、一直では、一直	D 度評 実計援がも の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業が合うのた検は祉立を向向のた検は社立を向り、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では	休 産 号 後 優和社会のと治事に対している。	
○ H 〓 C く) 枚章・枚巻の方向生で 総合評価 一 今後の方向性	ナ 生トナ討る実実内前 成果の方向性	プロープ同生費しの年 田本 「本語」の一プロ生費しの年 田本 「本語」の一プロープロー 「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の	策 自中策方窮あるが改 伏 廃 立心定向施りた必改 充 持 小 止 と	 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 	策 数制度の理いを接近ででは、1000 ででででででででいる。 1000 ででででででできます。 1000 でででできませる。 1000 ででできませる。 1000 ででできませる。 1000 でできませる。 1000 できません。 1000 	評の検支、所窮策 施 投	価のた。計得事支部 沢価 (6) (8) 現の ・ 関しが果福自を 状 (5) (6) (8) 現 の 大 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 和 (4)	制設を担づる。 相次に設度向 前では、た設度の性 前の性 前の性 前の性 前の性 前の性 前の性 前の性 前	優のネース (2010年) (2010年	ッ 検えにを助	活ウストの施施の年の方向性	細 自立心定向を	支と委性策。め要版 た。 寺、 ト、 上 し 制た会のつ活第 ()	き 接 を を を を を を を を を を	制援で策、度ナーけーを	定義が年にあるである。これでは、一定表の前のでは、一定表の前のでは、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定	D 東 東 フラ 東東 フラ 東東 東 フラ 東東 東 フラ 東東 下 東 下 東 東 フラ 東 東 東 フラ ト エ ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	業が合 シ のた検は祉立を 向 の必評 ト 価 た。討得事支部 性 価 レ	休かに号後で福都も置める性、後後では一つ。とは一つ。とは一つ。とは一つ。とは「ない」をは、「ない、「ない」をは、「ない、「ない」をは、「ない、「ない、「ない」をは、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない	
C T II C く) 枚草・枚達の方向生(A) 総合評価 今後の方向性 改	ナ 生トナ討る実実内前 成果の方向性	プロープ同生費しの年 田本 「本語」の一プロ生費しの年 田本 「本語」の一プロープロー 「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の	策 自中策方窮あるが改 伏 廃 立心定向施りた必改 充 持 小 止 と	 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 	策 数 数 数 数 数 数 数 数	評の検支、所窮策 施 投	価のた。計得事支部 沢 価 (5) (6) (8) 現状維	制設を担づる。 相次に設度向 前では、た設度の性 前の性 前の性 前の性 前の性 前の性 前の性 前の性 前	優のネース (2010年) (2010年	ッ 検えにを助	活ウストの施施の年の方向性	細 国際者自立立 できません は できません は できまる は できまる が 施 できまる が 施 現	支と委性策。め要版 た。 寺、 ト、 上 し 制た会のつ活第 ()	き 接 を を を を を を を を を を	制援で策、度ナーけーを	定義が年にあるである。これでは、一定表の前のでは、一定表の前のでは、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定	D 東 東 フラ 東東 フラ 東東 東 フラ 東東 東 フラ 東東 下 東 下 東 東 フラ 東 東 東 フラ ト エ ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	業が合うのた検は祉立を向向のた検は社立を向り、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では	休かに号後で福都も置める性、後後では一つ。とは一つ。とは一つ。とは一つ。とは「ない」をは、「ない、「ない」をは、「ない、「ない」をは、「ない、「ない、「ない」をは、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない	
C T II C く) 枚草・枚箸の方句生(ACCT) 総 合 評 価 一今後の方向性 改革・	ナ 生トナ討る実実内前 成果の方向性	プロープ同生費しの年 田本 「本語」の一プロ生費しの年 田本 「本語」の一プロープロー 「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の	策 自中策方窮あるが改 伏 廃 立心定向施りた必改 充 持 小 止 と	 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 	策 数制度の理いを接近ででは、1000 ででででででででいる。 1000 ででででででできます。 1000 でででできませる。 1000 ででできませる。 1000 ででできませる。 1000 でできませる。 1000 できません。 1000 	評の検支、所窮策 施 投	価のた。計得事支部 沢価 (6) (8) 現の ・ 関しが果福自を 状 (5) (6) (8) 現 の 大 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 和 (4)	制設を担づる。 相次に設度向 前の性 前 ⑦ ⑨ ⑩ 拡	優のネース (2010年) (2010年	ッ 検えにを助	活ウストの施施の年の方向性	細 自立心定向を	支と委性策。め要版 た。 寺、 ト、 上 し 制た会のつ活第 ()	き 接 を を を を を を を を を を	制援で策、度ナーけーを	定義が年にあるである。これでは、一定表の前のでは、一定表の前のでは、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定	D 東 東 フラ 東東 フラ 東東 東 フラ 東東 東 フラ 東東 下 東 下 東 東 フラ 東 東 東 フラ ト エ ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	業が合 シ のた検は祉立を 向 の必評 ト 価 た。討得事支部 性 価 レ	休かに号後で福都も置める性、後後では一つ。とは一つ。とは一つ。とは一つ。とは「ない」をは、「ない、「ない」をは、「ない、「ない」をは、「ない、「ない、「ない」をは、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない	
C T E C く ご 枚草・枚善の方向生(ACTI) 総 合 評 価 │ 今後の方向性 改革・改善	ナ 生トナ討る実実内前 成果の方向性 第3分	プロープ同生費しの年 田本 「本語」の一プロ生費しの年 田本 「本語」の一プロープロー 「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の	策 自中策方窮あるが改 伏 廃 立心定向施りた必改 充 持 小 止 と	 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 	策 数制度の理いを接近ででは、1000 ででででででででいる。 1000 ででででででできます。 1000 でででできませる。 1000 ででできませる。 1000 ででできませる。 1000 でできませる。 1000 できません。 1000 	評の検支、所窮策 施 投	価のた。計得事支部 沢価 (6) (8) 現の ・ 関しが果福自を 状 (5) (6) (8) 現 の 大 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 和 (4)	制設を担づる。 相次に設度向 前の性 前 ⑦ ⑨ ⑩ 拡	優のネース (2010年) (2010年	ッ 検えにを助	活ウストの施施の年の方向性	細 自立心定向を	支と委性策。め要版 た。 寺、 ト、 上 し 制た会のつ活第 ()	き 接 を を を を を を を を を を	制援で策、度ナーけーを	定義が年にあるである。これでは、一定表の前のでは、一定表の前のでは、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定	D 東 東 フラ 東東 フラ 東東 東 フラ 東東 東 フラ 東東 下 東 下 東 東 フラ 東 東 東 フラ ト エ ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	業が合 シ のた検は祉立を 向 の必評 ト 価 た。討得事支部 性 価 レ	休かに号後で福都も置める性、後後では一つ。とは一つ。とは一つ。とは一つ。とは「ない」をは、「ない、「ない」をは、「ない、「ない」をは、「ない、「ない、「ない」をは、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない	
C T II C く) 女革・女達の方向生(ACTION) 総 合 評 価 │ 今後の方向性 改革・改善	ナ 生トナ討る実実内前 成果の方向性 第3	プロープ同生費しの年 田本 「本語」の一プロ生費しの年 田本 「本語」の一プロープロー 「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の	策 自中策方窮あるが改 伏 廃 立心定向施りた必改 充 持 小 止 と	 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 	策 数制度の理いを接近ででは、1000 ででででででででいる。 1000 ででででででできます。 1000 でででできませる。 1000 ででできませる。 1000 ででできませる。 1000 でできませる。 1000 できません。 1000 	評の検支、所窮策 施 投	価のた。計得事支部 沢価 (6) (8) 現の ・ 関しが果福自を 状 (5) (6) (8) 現 の 大 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 和 (4)	制設を担づる。 相次に設度向 前の性 前 ⑦ ⑨ ⑩ 拡	優のネース (2010年) (2010年	ッ 検えにを助	活ウストの施施の年の方向性	細 自立心定向を	支と委性策。め要版 た。 寺、 ト、 上 し 制た会のつ活第 ()	き 接 を を を を を を を を を を	制援で策、度ナーけーを	定義が年にあるである。これでは、一定表の前のでは、一定表の前のでは、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定	D 東 東 フラ 東東 フラ 東東 東 フラ 東東 東 フラ 東東 下 東 下 東 東 フラ 東 東 東 フラ ト エ ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	業が合 シ のた検は祉立を 向 の必評 ト 価 た。討得事支部 性 価 レ	休かに号後で福都も置める性、後後では一つ。とは一つ。とは一つ。とは一つ。とは「ない」をは、「ない、「ない」をは、「ない、「ない」をは、「ない、「ない、「ない」をは、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない	
おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお	ナ 生トナ討る実実内前 成果の方向性 第3	プロープ同生費しの年 田本 「本語」の一プロ生費しの年 田本 「本語」の一プロープロー 「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の「本語」の	策 自中策方窮あるが改 伏 廃 立心定向施りた必改 充 持 小 止 と	 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 ・ を表示 	策 数制度の理いを接近ででは、1000 ででででででででいる。 1000 ででででででできます。 1000 でででできませる。 1000 ででできませる。 1000 ででできませる。 1000 でできませる。 1000 できません。 1000 	評の検支、所窮策 施 投	価のた。計得事支部 沢価 (6) (8) 現の ・ 関しが果福自を 状 (5) (6) (8) 現 の 大 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 和 (4) 表 (4) 和 (4)	制設を担づる。 相次に設度向 前の性 前 ⑦ ⑨ ⑩ 拡	優のネース (2015) (ッ 検えにを助	活ウストの施施の年の方向性	細 自立心定向を	支と委性策。め要版 た。 寺、 ト、 上 し 制た会のつ活第 ()	き 接 を を を を を を を を を を	制援で策、度ナーけーを	定義が年にあるである。これでは、一定表の前のでは、一定表の前のでは、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定	D 東 東 フラ 東東 フラ 東東 東 フラ 東東 東 フラ 東東 下 東 下 東 東 フラ 東 東 東 フラ ト エ ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	業が合 シ のた検は祉立を 向 の必評 ト 価 た。討得事支部 性 価 レ	休かに号後で福都も置める性、後後では一つ。とは一つ。とは一つ。とは一つ。とは「ない」をは、「ない、「ない」をは、「ない、「ない」をは、「ない、「ない、「ない」をは、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない	

平成29年度事務事業評価シート(一般事務事業用)

事務	務事業名 温泉施設管理運営事業												=											野号	040101	19
担	当部	署	健康礼	国祉部			볏	域福	祉課			福祉	総務	係		作月		者名	竹	村	紀	彦	連絡	·先	302	
			プラ 位 置		有	政分	策 体	系		策 策 施 策 3事 業	01 01 10 01	第 1 福祉	節・コ	福祉 2	に支える 1ビー: ティ温! 営事 業	ナスフ	プラン					づくり				
計	予	算	事業	1 名							1							会計	コート	00	款	03	項 01	目	08 事業	01
画	事務	務事 深にす	業 の	概要	を持られ	うった してい	快適 る。	な温! また、	泉施彭	となっ	っている	る。涯	温泉を	F活用す	ること	で、	疲労回	復や身	体を	リフレ	ノツシ	ュし、	利用者	の健	ぞれが特 康増進が ミュニィ	く図
			と 潰うし	京	暇か	(増え	る中	、健!	麦增进	と地域	或のふ	れあし	いの場	として	の福祉	施設	として	建設さ	された	。地ブ	7自治	法の改	正によ	り施	。市民の 設の管理)余 [運
(P	世帯																									
	的	(どん	意な状態に	図 したいか)										と図る。												
L A			・カヤつ												改善工			る 。								
			行政流	舌動の網	结果:	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単	位	車出方	去・計	算式	・目标	票値部	定の参	きえ方が	など	最終目標	票値
N	評	活動	快適な利用環境の整備									佳持・	改修	工事費	P.										21, 000, 0	000
	価指	指標	施設管	理の	委託						管理	長託料	1		F.										60, 000, 0	000
)	標の										指														- 15 - I	
	作成	成	成		100 111 12 11								名	称	単							–		-	最終目標	
	八	果指	温施記	2利用	用者数の増延し						延べ利用者数人					人 H25年実績 655,133人、H26年 663,283人、 H27年 657,863人、 664,						664, 0	000			
		標																								

	Į	頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度事業計画(予算)
	-	事業費等	(a)	円	108, 283, 392	110, 242, 790	108, 673, 000	107, 684, 000	113, 139, 000
	_	芦 米 貝 寸 国 庫 支 出	<u>(a)</u>	円	100, 200, 392	110, 242, 790	100, 073, 000	107, 004, 000	113, 139, 000
-	財	<u></u>	金	円					
実	源		債	円					
	内	その他特定財		円					
	訳		源	円	108, 283, 392	110, 242, 790	108, 673, 000	107, 684, 000	113, 139, 000
施	職	正規職	員	·	0. 62	0. 62	0, 62	1.00	110, 100, 000
		属託職	員	Ĵ	0.02	0.02	<u> </u>	1.00	
	員	臨 時 職	員	Ĵ					
	数	合	計	入	0. 62	0. 62	0. 62	1.00	
状	-	対象 (者)	数	Ĵ	0.02	0.02	0.02	1.00	
			(b)	美	601, 464				
			(b)	円	180	_	_	_	_
況	5	受益者負担	額	円					
1,00		市民一人当たりのコス		円	1, 929. 00	1, 969. 00	1, 948. 00	1, 940. 00	2, 042. 00
			目標	H	21, 000, 000	21, 000, 000	21, 000, 000	21, 000, 000	21, 207, 000
		施設維持・改修工事費	実績	н	19, 891, 441	22, 676, 803	11, 820, 746	19, 425, 815	21, 207, 000
$\overline{}$	活		達成率	%	94. 72	107. 98	56. 29	92. 50	100.00
	動		目標	H	61, 035, 000	60, 737, 000	60, 000, 000	60, 000, 000	66, 000, 000
	指	管理委託料	実績		61, 443, 274	61, 536, 540	57, 429, 404	60, 149, 040	66, 000, 000
D	標		達成率	%	100. 67	101. 32	95. 72	100. 25	100.00
	悰		目標						
		-	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0	_15		目標	人	664, 000	664, 000	664, 000	664, 000	664, 000
	成	延べ利用者数	実績		611, 779	605, 800	577, 534	600, 000	600, 000
	果指		達成率	%	92. 14	91. 23	86. 98	90. 36	90. 36
J	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%	— — — — — — — — — — — — — — — — — — —	_		-	—
	備	平成24年度予算から実	施計画	を作用	又し規模の大きな工事	の改修工事を計画的	に行っています。	収修工事費や管理委託	料は施設の劣化に伴
	考	い増加するため、活動指	標、電	校日和	※個は年度の予算額と	します。			
	4								

事務事業名 温泉施設管理運営事業																	事業期間 平成 18 ~ 年度 整理番号 04010119								
担	担当部署 健康福祉部 地域福祉課									福祉総務係						当者名	3	竹木	† †	记 彦	彦 連絡先 302				
	期			F	標							実	績							1	課	Į.			
四			長期的	合管理	計画の	た施設	十画の策 设改 修 の する。		維持修和改修工程		の実施	i.													
半期	2	指定管: 施設改(予定工	多計画	の庁内	協議を	行う。	て、長期	o	維持修和改修工具				2.												
11	第 施設改修の必要箇所についての長期計画を策 定する。 男 予定工事の80%の発注を行う。 維持修繕工事の実施。 改修工事(金鶏の湯天井改														主準備	i.									
٤	第 4 期	4 次年度の施設改修工事個所について、指定官 理者と協議する。 現 選 は は は は は は は は は は は は は は は は は は																							
o,	事中														i										
0)	当年	F度開始	後、絲	り6 ケノ	月が経	過し、	新たに	生じナ	と問題点	や環境	竟の変化	化	今月	龙 打		充			2		(5)		7		
													<u>,</u>	果	11十3#	坅			3		6	レ	9		
管													- -	÷	見状維				ļ			ν			
												0	,,	方 句	音	小			4		8		10		
理		新年	₹度の	実施計	∤画・-	予算要	求事項	(改.	革・改善	善策)		_ 7		-	ト 廃	止	1								
												Г	句				皆	減	縮	小	現	状維持	拡大		
												4	生					コス		-	入		向性		
												1	_	_				- /\		12		0) /1	1-7 1-1		
	į	评価年月	ŧ]																		
	裑	点		妥	当	i	生		有	効		効	卒	<u> </u>	性		総	合	評 佃	1 判定					
-	評価	面の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判	定	1	2	3	4	半	定						
評		ェック					4								4			В							
価 (C	₽ ↑	額で利用画による 平成2 状況と	用でき る 修繕 4 年度 なって	るなり ないない ないなり ないない	にして 事等を 年同額 随時計	います 効果的 の 修 綱	ト。施設 りに実施 善改修 工	の経事で	出していた 年 と が 必 の 予 を 行 い し た。	(進ん) 要で して(でおり。 す。 います:	、サ が、	ービ 計画	ス低下	となり	らなし を行う	いよう うこと	に長期 が必要	計な	記号の定義 前年	と事事の事討 総が業業見業が 合	適当 の進め方 規模・内 直しが必	休・廃止の検		
н			細	施	i	策	P	į	価		前			紐	R .	施		策		評		価	後		
	総	施設維持			-		-		的に実施			民	施計						を適用		見的に		より市民		
Е		サービ	スの向	上に努	めたい	。施討	との老朽 かんりょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	化が	進んでま	39、	緊急度:	重要	サー										緊急度重要		
С	合	度の判し	sTか難 立の検	しくな 討が必	っしい 要です	ますな	い、女心	• 女:	全な利用	で削	定とし	<i>i</i> =,		り判断が と順位の					か、 3	ズル・3	ズ王な	利用を	前提とした、		
к	評価						この 実	施	状 況	Ι									る <	き後の	方向	性			
改	_		細	施	1	策	P		価		前			斜	1	施		策		評		価	後		
革	今		拡	<u>充</u>			: _		5		<u> </u>		成			充				レ					
改	後	成 果 ^{····}											果												
英善	の	の	現状	維持			3		6		9		<i>σ</i> ,	, ‡	見状維	拧			ļ						
の方	方	方 向	縮	小			4		8	(10		方向		宿	小									
方	向	性	休 虏	₹止	1								性		木 廃 .	止									
向性	皆 減 縮 小						小	現状維	持	拡	大	1	_			皆	減	縮	小	現	状維持	拡大			
$\widehat{}$	1±	_				コス			し の		性		_					= 2		ト 投 入 の 方 向 性					
ACTION)	単· 改善策	い、安 なお、	きに施き殊建	設利用 築物 定	検討すができ	る状況	: もに、 記を維持 D縮小が	直近のする。見込	まれてい	i画のf	、施設・ 策定を	の存 行	続ない、	安全(6、特	た施設・株建築	物定	検討すができ	る状況	ともに 兄を終	こ、直込 <mark>佳持する</mark>	近の改 る。 込まれ	修計画 の ている。			
取礼	ペ 評	価年月	-	平成30:	平4月2	/ 二	取 終	部 10	晒 責 任	: 百		地域福祉課長 井 出 弘													